

(様式第 10)

東北病医 第 208 号
平成 29 年 1

厚生労働大臣 殿

東北大学病院
八重樫 伸

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号
氏 名	国立大学法人 東北大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東北大学病院

3 所在の場所

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号	電話(022)717-7000
----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科	②消化器内科
⑤神経内科	⑥血液内科
⑨感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
	③循環器内科
	7内分泌内科
	4腎臓内科
	8代謝内科
	⑧リウマチ科
診療実績	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。



(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
(1)呼吸器外科 2消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 (6)心臓血管外科 7内分泌外科 (8)小児外科	
診療実績	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科 (2)小児科 (3)整形外科 (4)脳神経外科 (5)皮膚科 (6)泌尿器科 (7)産婦人科 8産科 9婦人科 (10)眼科 (11)耳鼻咽喉科 (12)放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 (15)麻酔科 (16)救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
(1)小児歯科 (2)矯正歯科 (3)口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 腎臓・内分泌内科 2 糖尿病・代謝内科 3 漢方内科 4 老年内科 5 心療内科 6 腫瘍内科 7 肝臓・胆のう・膵臓外科 8 胃腸外科 9 移植・食道・血管外科 10 乳腺・内分泌外科 11 形成外科 12 小児腫瘍外科 13 頭頸部外科 14 リハビリテーション科 15 病理診断科 16 17 18 19 20 21
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40 床	床	床	床	1185 床	1225 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	374人	184人	547.5人	看護補助者	120人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	92人	70人	154.2人	理学療法士	26人	臨床検査技師	119人
薬 剤 師	81人	0人	81人	作業療法士	8人	衛生検査技師	3人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	14人	その他	0人
助 産 師	51人	3人	52.5人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1185人	30人	1206.7人	臨床工学士	27人	医療社会事業従事者	25人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	171人
歯科衛生士	6人	19人	24.5人	歯科技工士	9人	事務職員	414人
管理栄養士	14人	0人	14人	診療放射線技師	67人	その他の職員	171人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	81人	眼科専門医	13人
外科専門医	91人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精神科専門医	10人	放射線科専門医	26人
小児科専門医	31人	脳神経外科専門医	12人
皮膚科専門医	13人	整形外科専門医	18人
泌尿器科専門医	13人	麻酔科専門医	17人
産婦人科専門医	28人	救急科専門医	13人
		合 計	381人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (八重樫 伸生) 任命年月日 平成27年 4月 1日

医療安全担当の副病院長を平成22年4月1日から平成24年3月31日まで担当し、医療安全推進室長も兼務しており、医療安全推進室会議の議長、医療安全推進委員会の委員としても、医療に係る安全管理の業務に従事している。
 また、現在も病院長として、医療安全推進委員会の委員長を担っており、医療に係る安全管理の業務に従事している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	964.1人	27.3人	991.4人
1日当たり平均外来患者数	2,244.2人	615.5人	2,859.7人
1日当たり平均調剤数			1293.5剤
必要医師数			233人
必要歯科医師数			23人
必要薬剤師数			34人
必要(准)看護師数			597人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備		概要	
集中治療室	621.39m ²	鉄筋コンクリート	病床数	30床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	366m ²	病床数	25	床
	[移動式の場合]	台数	0台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	82m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	705m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学、免疫検査装置			
細菌検査室	342m ²	〃	(主な設備) クリーンベンチ			
病理検査室	348m ²	〃	(主な設備) 安全キャビネット			
病理解剖室	60m ²	〃	(主な設備) 解剖台			
研究室	6,916m ²	〃	(主な設備) 顕微鏡			
講義室	526m ²	〃	室数	3室	収容定員	460人
図書室	4,476m ²	〃	室数	4室	蔵書数	41万冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	99.1%	逆紹介率	45.5%
算出根拠	A: 紹介患者の数		25,862人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,520人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,384人
	D: 初診の患者の数		27,478人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三浦 誠	東北医科薬科大学	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ 無	1
嶋森 好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ 無	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・ 無	1
原 忠篤	秋田大学		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・ 無	2
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法	
東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	4人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	2人
LDLアフェレシス療法	1人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	3人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植	0人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有すくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピュータ断層撮影による不明熱の診断(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る)	2人
初発中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する照射前大量メトレキサート療法後のテモゾロミド併用放射線治療+テモゾロミド維持療法	0人
リツキシマブ点滴静注後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る)	3人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る)	0人
自己心膜及び弁形成リングを用いた僧房弁置換術 僧帽弁閉鎖不全症(感染性心内膜炎により僧帽弁両尖が破壊されているもの又は僧帽弁形成術を実施した日から起算して六ヶ月以上経過した患者(再手術の適応が認められる患者に限る。)に係るものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	381人
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	42人
当該医療技術の概要			
乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは20%程度で、残りの80%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHおよびPCRによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。さらに遺伝子異常(転座)の証明が適応の有無を左右する抗がん剤も出てきており、診断のみでなく治療方針の点でも重要になってきている。また脳腫瘍に関しては、新WHO分類においてグリオーマなどの診断に遺伝子学的な情報が必須とたわれており、遺伝子検査を行わないと診断が確定できない状況となっている。診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	221人
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膀胱石粉碎術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
ESWLを用いて膀胱石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	175人
当該医療技術の概要			
早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィー	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	114人
当該医療技術の概要			
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	取扱患者数	37人
当該医療技術の概要			
新しい方法による医療で、外国で開発され、医学的効果が認められているが、日本では普遍化されていない医療。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要			
G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			

医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法 (IMRT)	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	遠隔病理診断 (テレパソロジー)	取扱患者数	102人
当該医療技術の概要 テレパソロジー (遠隔病理診断) は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	放射免疫療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 抗CD20モノクローナル抗体に、放射性同位元素 ⁹⁰ Yを結合。抗体の体内分布が適切な患者に投与する。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 同種、血縁、非血縁の骨髓幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術 (採取・調整・保存)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	腹式広汎性子宮頸部摘出術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 浸潤子宮頸癌症例に対する子宮温存術式。ハイレベルの総合医療技術及び資源 (人的、物的) の集積を必要とするもの。			
医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 高度難聴者の聴覚再獲得のために、人工内耳埋め込み術と聴覚のリハビリテーションを行っている。			
医療技術名	血液型不適合骨髓移植 (赤血球除去)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髓移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髓からアフエレーン装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術 (胃の縮小を伴う手術) が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			
医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法 (IMRT)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性膵壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性膵壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			

医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	46人
当該医療技術の概要 食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	46人
当該医療技術の概要 胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式ははまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	摂食嚥下発音リハビリテーション	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要 口腔・咽頭部を外科的に治療および放射線療法した場合、組織欠損や瘢痕形成、疼痛、乾燥、味覚障害等により、摂食・嚥下・発音障害が生じる。これら術後患者に対する歯科補綴的アプローチ、すなわち口腔内に歯科補綴装置(PAP,PLP,顎義歯)を用いた摂食・嚥下・発音リハビリテーションをおこなっている。			
医療技術名	成人症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	170人
当該医療技術の概要 従来の矯正歯科治療と比較し、インプラントアンカーを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	成長期症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、インプラントアンカーを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リンガルブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装着することにより、矯正装置が全く見えなく治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、インプラントアンカーを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	98人
当該医療技術の概要 歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	475人
当該医療技術の概要 頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、感染原の除去(拔牙等)、開口訓練を行い、手術創部の感染や、術後の誤嚥性肺炎を予防し、さらに口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	63人
当該医療技術の概要 大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	切除可能胆管癌に対する術前化学放射線療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 切除可能胆管癌に対して、手術前に化学放射線療法を施行した後、根治切除を行うことで、根治切除率を向上させることができる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			

医療技術名	切除不能膵癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 切除不能と診断される膵癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度抑えられる利点がある。歯科では顎の骨を放射線から守るために、マウスピースを作製、装着してもらい、放射線潰瘍や下顎骨壊死の予防を行っている。			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	71人
当該医療技術の概要 甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御の治療としては数少ない手段である。			
医療技術名	産後出血による経皮的塞栓術	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 出産後の予期せぬ出血に対し開腹することなく低侵襲で経皮的、経カテーテル的に出血減となる血管を同定し塞栓する治療。			
医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	224人
当該医療技術の概要 急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	61人
当該医療技術の概要 血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)、神経免疫疾患などが適応となる。			
医療技術名	エンドトキシン吸着	取扱患者数	51人
当該医療技術の概要 エンドトキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドトキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS)	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。			
医療技術名	体外膜型酸素化装置	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。			
医療技術名	院外心肺停止患者の蘇生後脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 院外心肺停止で搬送される患者さんが蘇生に成功した際、ただちに体温を34度まで下げて24時間維持するもの。低酸素に暴露された脳のダメージを最小限にできることが期待され、心肺蘇生の国際的ガイドラインでもそのエビデンスが支持されている。			
医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一期的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。			
医療技術名	一酸化炭素中毒患者に対する高圧酸素療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 第2種高圧酸素治療装置を用いて、一酸化炭素中毒発症後24時間で3回以内の治療を行うことで、遅発性脳症の発症抑制が期待される。			

医療技術名	エピテーゼによる顔面部欠損の補綴	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 顔面形成術では回復困難な顔面部に生じた欠損に対して、エピテーゼを適応することによって欠損部の修復を行い、審美・機能回復を図る。			
医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			
医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下胆道再建術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 顕微鏡下手術（マイクロサージャリー）は微小血管再建に極めて有用な機器である。これを生体部分肝移植における微小胆管再建に導入することで、胆道合併症軽減（リーク、狭窄軽減）に寄与すると考えられる。			
医療技術名	前立腺癌に対するI-125密封小線源治療	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 低リスク前立腺癌に対して、I-125密封小線源を前立腺局所に挿入、留置する治療を行っている。手術に比べ機能温存に優れ、有害事象が軽度抑えられる。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 脳に存在する機能野（言語野、運動野）を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	44人
当該医療技術の概要 食道癌手術の合併症のひとつに反回神経麻痺があり、術後の嘔声、誤嚥の原因となる胸腔鏡下食道切除術において術中リアルタイムに反回神経を刺激装置NIMで同定し、確実な温存と麻痺を回避するもの。			
医療技術名	高度肝障害患者に対する完全腹腔鏡下肝切除	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 高度肝障害患者及び肝硬変患者の開腹手術は術後の腹水増加・コントロールに難渋するケースがしばしばある。完全腹腔鏡下肝切除は腹腔内圧を解放せずに手術が可能ため、術後早期回復に有用である。			
医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手している。			
医療技術名	アルドステロン産生副腎腺腫に対するCTガイド下経皮的ラジオ波焼灼術（RFA）	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 CTガイド下に、RF（ラジオ波）アブレーション針にて副腎のアルドステロン産生腺腫を焼灼し、高アルドステロン血症と高血圧の低侵襲的根治療を行う。			
医療技術名	心臓大血管の仮性動脈瘤に対する経カテーテル的塞栓術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 心大血管に生じた仮性動脈瘤に対し、カテーテルを用いて選択的にコイル塞栓術を行い、低侵襲的根治療を行う。			
医療技術名	ドナーリンパ球輸注（採取・調整・保存）	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 同種造血幹細胞移植患者の再発やウイルス感染に対し、移植ドナーの血液を連続的に体外循環してリンパ球分画を採取する（骨髄バンクでは100ml/ドナー体重（kg）を処理量上限と定めている）。漸増投与を行う場合は、CD3陽性Tリンパ球をカウントして患者体重あたりの細胞数で分割し、同日投与分以外は凍結保存する。			
医療技術名	Convection-enhanced delivery (CED)による悪性脳腫瘍の治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 再発悪性脳腫瘍および外科的治療が困難な脳幹部悪性脳腫瘍に対して、定量的に挿入したカテーテルから抗癌剤を持続陽圧下に脳細胞間隙に局所注入し、高濃度かつ広範囲の薬剤分布を得る新規薬剤投与方法。高度の医療技術を要し、開発途上にある医療である。			
医療技術名	難治てんかんに対する集学的外科治療	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 乳幼児から成人までてんかん科医師、小児科医、高次脳機能障害科医師、放射線診断科医、精神科医、生理検査技師、臨床心理士と協働で、外科治療の適応判断と治療を行い、長期予後とQOLの改善を図る。東北地方においては本学のみが提供している医療である。乳幼児については、遠隔医療システムによる連携で北海道地域の医師と協働で治療を提供している。			

医療技術名	経静脈的患者自己調節鎮痛法(PCA)による術後疼痛管理	取扱患者数	320人
当該医療技術の概要 電動式PCAポンプを用いて、術後痛を感じたときに患者自身が鎮痛薬を安全に投与する方法。			
医療技術名	血液吸着(エンドトキシン以外)	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 血液を吸着カラムに通し、病気の活動性の元となる液性成分(エンドトキシンやビリルビン)を除去する。これは主に急性期の生命の危機がある状況を改善すべく行われる。また、病因が必ずしもはっきりしていない慢性かつ難治性の疾患において、疾患活動性を発揮するリンパ球や好中球、あるいは自己抗体を除去するカラムで血液を浄化する治療法である。			
医療技術名	二重濾過プラスマフェレーシス(血漿製剤で置換)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 血漿分離器で血漿成分を分離後、原因物質を含む血漿分画を廃棄して、アルブミン製剤等で置き換える治療法。新鮮凍結血漿を用いる場合は輸血に関連する感染事故のリスクやフィブリノーゲンの減少などが生じるなど、総合的な治療管理の資源を要する治療である。対象は神経疾患、天疱瘡、膠原病の難治性病態を呈する各種の内科疾患、および外科系では肝不全が対象となっている。			
医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	59人
当該医療技術の概要 がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル(3-7L程度)体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。			
医療技術名	悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	27人
当該医療技術の概要 腫瘍周囲の皮下に tracer を投与し、リンパ流によって移動した tracer で標識されたリンパ節を同定して転移の検索を行う。リンパ行性微小転移の同定に有用な方法で有り、病期判定と治療方針の決定に有用である。地域では東北大学が主たる技術提供施設である。			
医療技術名	経静脈的ステロイドパルス療法による円形脱毛症治療	取扱患者数	97人
当該医療技術の概要 自己免疫性・炎症性反応に起因する脱毛性疾患に対する治療法である。特に急速進行の多発型、全頭型、全身型の脱毛症に適応となる。ステロイドパルス療法が脱毛性疾患に対して医学的効果を有することが海外を含めて報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	正常眼圧緑内障に対する鍼治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 正常眼圧緑内障の治療は眼圧の低下や視神経保護、眼底血流低下の改善などが行われるが、従来の点眼薬や内服薬治療を行っていても視野障害が悪化する症例もあり、鍼治療が眼底血流改善の効果を有することが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療法である。			
医療技術名	多系統萎縮症に対する鍼治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 多系統萎縮症は進行性であり、従来の治療を行っていても自律神経系、歩行障害、嚥下障害などが徐々に進行する。鍼治療は自律神経系、歩行障害、嚥下障害に効果があることが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療方法である。			
医療技術名	クローン病に対する鍼治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 クローン病は慢性の炎症性腸疾患であり、従来の治療を行い採血上炎症反応がコントロールされていても排便障害や腹痛、血便などがコントロールされない症例もある。鍼治療は海外の報告でこれらの症状のコントロールに効果があることが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療方法である。			
医療技術名	肝門部領域胆管癌手術	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 肝門部領域に発生した癌の切除には、局所の解剖の熟知や肝機能、残肝容積などから最適な術式を選択する必要がある。また、肝動脈、門脈などの再建が必要となる事も多く、術前、術中、術後ともに、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除境界膵癌に対する手術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 膵臓癌は局所進行の程度により門脈や動脈に浸潤し、切除の可能性が五分五分となるような、切除境界例が多く存在する。このような症例に対して切除が可能かどうかは術前の念入な画像診断と、術中の局所の所見により判断され、安全に、かつ根治的に切除を行い、術後合併症の低減のためにはハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。			

医療技術名	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術 (POEM)	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要			
食道アカラシアは、下部食道括約筋の弛緩不全が原因であるが、この部分の筋層を切開することが治療となる。POEMは経口軟性内視鏡で、食道粘膜下層に入り、筋層切開を行う手技で、体表に創がつかず、回復も早い。高度な手技であるが、有用性は高く、今後の標準治療になるものと思われる。			
医療技術名	意識下気胸手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
呼吸不全を伴う難治性気胸に対し、全身麻酔を回避した意識下による気胸手術で、海外では報告例があるが、本邦では一般化されていない。東北大学では以前から意識下気胸手術を行っており、呼吸不全を有し内科治療無効で、全身麻酔手術不能といわれた症例に対し本手術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	顆粒球採取	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
造血幹細胞移植など高度な血球減少時期に細菌感染を併発し、抗生剤等の既存の対応では血球回復まで持ちこたえるのが困難な場合、健常な第三者にG-CSFを投与しアフエーレンス機器にて顆粒球を採取し、放射線照射を行ったのち患者に投与する。			
医療技術名	ガスクロマトグラフによる口内気体分析	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要			
センサタイプガスクロマトグラフ、FPD方式ガスクロマトグラフをそれぞれ使用することで、高度な口臭症の診断・治療を行う。			
医療技術名	内視鏡を用いた口内アプローチによる低侵襲手術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
顎口腔外科の疾患の中には、病変の位置によって皮膚切開を併用する必要があるが、顔面神経障害や顔面醜形の問題がある。特に異所性埋伏歯、良性腫瘍、唾石症、外傷において、それらの問題を改善するため、内視鏡を併用した口内アプローチを用いることにより、手術の低侵襲化が期待される治療である。			
医療技術名	子宮癌に対するロボット支援下手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
子宮頸癌または子宮体癌に対して、内視鏡手術ロボット「da Vinci」を用いて手術を行うもの。当院で高難度新規医療として申請、認可済み。			
医療技術名	腹腔鏡補助下臍頭十二指腸切除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
腹部手術の中で最も侵襲の高い手術の一つである臍頭十二指腸切除を腹腔鏡補助下に行うことで手術侵襲を軽減し、術後早期回復が期待できる治療である。			
医療技術名	腹腔鏡下袖状胃切除術＋十二指腸空腸バイパス術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
病的肥満症に対して我が国では腹腔鏡下袖状胃切除術が保険承認されているが、我々の研究では十二指腸空腸をバイパスし食事が通らなくすることで肥満のみならず糖尿病の改善効果があることが示されており、糖尿病を合併した病的肥満患者に対する体重減少＋糖尿病改善効果を認める有望な治療法である。			
医療技術名	High Resolution Manometry (HMR) による食道運動機能評価	取扱患者数	49人
当該医療技術の概要			
多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に食道内に挿入留置し、全食道の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびに食道バリウム透視では検出されない食道運動異常を検出する検査である。食道アカラシア、食道運動機能異常、ジャックハンマー食道の診断および治療評価を行う。			
医療技術名	小腸内圧検査	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に空腸内に挿入留置し、小腸の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびにバリウム透視では検出されない小腸運動異常を検出する検査である。慢性偽性腸閉塞症などの指定難病の診断に必須の検査である。			
医療技術名	大腸内圧・パロスタット検査	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
下部消化管内視鏡下に内圧カテーテルおよびパロスタットバックを下行結腸およびS状結腸内に挿入留置し、ネオスチグミン刺激および大腸拡張伸展刺激に対する運動変化および内臓知覚閾値を計測し、内視鏡ならびに大腸バリウム透視では検出されない大腸運動ならびに知覚異常を検出する検査である。慢性偽性腸閉塞症、大腸無力症、巨大結腸症などの診断を行う。			
医療技術名	慢性血栓塞栓性肺高血圧症にに対するカテーテル治療	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
慢性血栓塞栓性肺高血圧症は予後不良疾患であるが、カテーテルによる肺動脈形成術を当院では行っている。また、良好な成績を収めている。			

医療技術名	大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植え込み術	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、コメディカルスタッフによるハートチームを結成し、高齢者を中心とした重症大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	3次元マッピングシステムを用いたカテーテルアブレーション	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要 心房細動などの詳細な解剖の把握が必要となる不整脈治療において、CARTO, Navxなどの3次元マッピングシステムを用いて良好な成績を収めている。			
医療技術名	多元的情報ソースを活用して早期診断を目指した認知症診断	取扱患者数	250人
当該医療技術の概要 以下の手法を用いた高度な人的物的資源による認知症診断:①脳脊髄液中のバイオマーカー(アミロイドβ蛋白、リン酸化タウ蛋白)の定量、②脳MRIによる形態画像解析(VSRAD advance)および脳血流シンチによる脳機能画像解析(3D-SSP)と読影専門医による総合評価、③専任臨床心理士による精神心理検査。			
医療技術名	胃癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 胃癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し0, 1+, 2+, 3+の4段階に分類。このうち0, 1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは30%強で、残りの70%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の胃癌診療ガイドラインなどで推奨されている手法である。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	7	56	ベーチェット病	159
2	筋萎縮性側索硬化症	110	57	特発性拡張型心筋症	204
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	27
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	23	60	再生不良性貧血	55
6	パーキンソン病	207	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7	大脳皮質基底核変性症	16	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	99
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	65	原発性免疫不全症候群	18
11	重症筋無力症	75	66	IgA 腎症	23
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	32
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	307	68	黄色靱帯骨化症	4
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	30	69	後縦靱帯骨化症	59
15	封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	10
16	クロウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	67
17	多系統萎縮症	42	72	下垂体性ADH分泌異常症	11
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	101	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	18	74	下垂体性PRL分泌亢進症	9
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	12
21	ミトコンドリア病	14	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	194	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	22
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	175
24	亜急性硬化性全脳炎	2	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	7	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	6
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	4	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	327
30	遠位型ミオパチー	9	85	特発性間質性肺炎	75
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	94
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	86
34	神経線維腫症	44	89	リンパ管筋腫症	33
35	天疱瘡	35	90	網膜色素変性症	62
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	10	92	特発性門脈圧亢進症	4
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	5	93	原発性胆汁性肝硬変	92
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	7
40	高安動脈炎	96	95	自己免疫性肝炎	5
41	巨細胞性動脈炎	2	96	クローン病	357
42	結節性多発動脈炎	52	97	潰瘍性大腸炎	453
43	顕微鏡的多発血管炎	20	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	24	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	8
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	11	101	腸管神経節細胞減少症	4
47	バーシャー病	28	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	7	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	507	104	コステロ症候群	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	220	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	73	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	63	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	52	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	22	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	0

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
0	先天性ミオパチー	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
0	マリネスコ・シェーグレン症候群	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	18
6	筋ジストロフィー	163	特発性後天性全身性無汗症	3
0	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	164	眼皮膚白皮症	0
0	遺伝性周期性四肢麻痺	165	肥厚性皮膚骨膜炎	1
0	アトピー性脊髄炎	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
1	脊髄空洞症	167	マルファン症候群	4
0	脊髄髄膜瘤	168	エーラス・ダンロス症候群	4
2	アイザックス症候群	169	メンケス病	0
0	遺伝性ジストニア	170	オキシピタル・ホーン症候群	0
0	神経フェリチン症	171	ウィルソン病	5
0	脳表ヘモジドリン沈着症	172	低ホスファターゼ症	0
0	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	173	VATER症候群	0
0	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	174	那須・ハコラ病	0
0	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	175	ウィーバー症候群	0
0	ペリー症候群	176	コフィン・ローリー症候群	0
1	前頭側頭葉変性症	177	有馬症候群	0
0	ピッカースタッフ脳幹脳炎	178	モワット・ウィルソン症候群	0
0	痙攣重積型(二相性)急性脳症	179	ウィリアムズ症候群	0
0	先天性無痛無汗症	180	ATR-X症候群	0
0	アレキサンダー病	181	クルーゾン症候群	0
0	先天性核上性球麻痺	182	アペール症候群	0
0	メビウス症候群	183	ファイファー症候群	0
0	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
0	アイカルティ症候群	185	コフィン・シリズ症候群	0
0	片側巨脳症	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
0	限局性皮質異形成	187	歌舞伎症候群	0
0	神経細胞移動異常症	188	多脾症候群	0
0	先天性大脳白質形成不全症	189	無脾症候群	0
0	ドラベ症候群	190	鰓耳腎症候群	0
0	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	191	ウェルナー症候群	1
0	ミオクロニー欠伸てんかん	192	コケイン症候群	0
0	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	193	ブラダー・ウィリ症候群	2
1	レノックス・ガストー症候群	194	ソトス症候群	0
0	ウエスト症候群	195	ヌーナン症候群	0
0	大田原症候群	196	ヤング・シンプソン症候群	0
0	早期ミオクロニー脳症	197	1p36欠失症候群	0
0	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	198	4p欠失症候群	0
0	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	199	5p欠失症候群	0
0	環状20番染色体症候群	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
1	ラスムッセン脳炎	201	アンジェルマン症候群	0
0	PCDH19関連症候群	202	スミス・マジニス症候群	0
1	難治類回部分発作重積型急性脳炎	203	22q11.2欠失症候群	0
0	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	204	エマヌエル症候群	0
0	ランドウ・クレフナー症候群	205	脆弱X症候群関連疾患	0
1	レット症候群	206	脆弱X症候群	0
0	スタージ・ウェーバー症候群	207	総動脈幹遺残症	0
3	結節性硬化症	208	修正大血管転位症	4
0	色素性乾皮症	209	完全大血管転位症	6
0	先天性魚鱗癬	210	単心室症	4

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2	262	原発性高カイトロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	8	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	3	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	3	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	25	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	7
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	5	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	6	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	2
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	5	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	1	292	総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	2	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	12
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	2
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	6
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	2
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	1
256	筋型糖原病	2	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・歯科外来診療環境体制加算	・データ提出加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・退院支援加算2、3
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)(精神病棟13対1)	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算1	・救命救急入院料3、4
・医師事務作業補助体制加算1(50対1)	・特定集中治療室管理料1
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・看護職員夜間配置加算(16対1)	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)(新生児集中治療室管理料)
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・小児入院医療管理料2
・無菌治療室管理加算1、2	・緩和ケア病棟入院料
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・総合評価加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・糖尿病合併症管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料1、2、3	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・外来緩和ケア管理料	・脳波検査判断料1
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)(造血幹細胞移植後)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・外来放射線照射診療料	・ロービジョン検査判断料
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・開放型病院共同指導料(Ⅰ)	・有床義歯咀嚼機能検査
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算1、2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・歯科画像診断管理加算1、2
・排尿自立指導料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・薬剤管理指導料	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料1、2	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・外傷全身CT加算
・在宅患者歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・心臓MRI撮影加算
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・乳房MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遺伝学的検査	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・国際標準検査管理加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝カウンセリング加算	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・胎児心エコー法	・がん患者リハビリテーション料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科口腔リハビリテーション料2	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・児童思春期精神科専門管理加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・認知療法・認知行動療法1	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・医療保護入院等診療料	・同種死体肺移植術
・硬膜外自家血注入	・生体部分肺移植術
・エタノールの局所注入(甲状腺)(副甲状腺)	・内視鏡下筋層切開術
・透析液水質確保加算2	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・手術用顕微鏡加算	・経カテーテル大動脈弁置換術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・磁気ナビゲーション加算
・CAD/CAM冠	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・手術時歯根面レーザー応用加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・歯科技工加算1及び2	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・補助人工心臓
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・同種心移植術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種心肺移植術
・羊膜移植術	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・網膜再建術	
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下肝切除術	・歯根端切除手術の注3
・生体部分肝移植術	・麻酔管理料(Ⅰ)(Ⅱ)
・同種死体肝移植術	・放射線治療専任加算
・体外衝撃波膵石破碎術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・1回線量増加加算
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・定位放射線治療
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・画像誘導密封小線源治療加算
・生体腎移植術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・膀胱水圧拡張術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算2
・人工尿道括約筋植込・置換術	・口腔病理診断管理加算2
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・歯科矯正診断料
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・輸血管理料Ⅰ	・入院時食事療養(Ⅰ)
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・
・自己生体組織接着剤作成術	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	291回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 32 例 / 剖検率 5.4 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
超音波画像による頸部リンパ節転移診断のためのボリュームレジストレーション法の開発	阪本 真弥	口腔診断科	2,100,000	補 委	日本学術振興会
心身症患者の自己評価—神経機構の解明と認知行動療法介入の効果—	佐藤 康弘	心療内科	600,000	補 委	日本学術振興会
乳癌biomarkerとしての3テスラMRI拡散強調画像の撮像法、評価法の確立	森 菜緒子	放射線診断科	500,000	補 委	日本学術振興会
造影高周波超音波画像による口腔癌微小転移リンパ節の検出およびマッピング法の開発	森 士朗	歯科顎口腔外科	3,300,000	補 委	日本学術振興会
乳癌術前化学療法後の転移リンパ節での乳癌幹細胞の量・機能の高感度蛍光ナノ解析	多田 寛	乳腺・内分泌外科	800,000	補 委	日本学術振興会
正常眼圧緑内障患者における漢方薬内服による眼底血流改善効果の検討	高山 真	総合地域医療教育支援部	1,000,000	補 委	日本学術振興会
アルコール性膵炎患者の網羅的エクソーム解析による遺伝的要因の解明	桑 潔	消化器内科	400,000	補 委	日本学術振興会
抗血管新生及び抗リンパ管新生療法による抗腫瘍免疫療法の効果増強作用の検討	岡崎 達馬	呼吸器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
小胞輸送異常に着目したパーキンソン病の分子病態解析	長谷川 隆文	神経内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
パーキンソン病における脳内 α -シヌクレイン凝集体の画像化とその臨床応用	菊池 昭夫	神経内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
肝臓—膵 β 細胞間神経ネットワークの生理的意義の解明	今井 淳太	糖尿病代謝科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
膠原病性肺高血圧症の病態解明—骨髄由来免疫抑制細胞の分化とGATA-2の関与—	城田 祐子	血液・免疫科	800,000	補 委	日本学術振興会
骨形成不全症の分子生物学的病態解明とWntシグナル経路を介する新しい分子標的治療	菅野 潤子	小児科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
成育限界期の胎児・早産児におけるコーチゾル分泌不全の病態解析	北西 龍太	小児科(周産母子センター)	1,300,000	補 委	日本学術振興会
Subplate neuronの損傷が胎生期の脳皮質形成に与える影響の解析	埴田 卓志	小児科(周産母子センター)	1,300,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
皮膚疾患におけるマクロファージ亜集団の解析	渡部 晶子	皮膚科	600,000	補	日本学術振興会
選択的遺伝子欠損マウスを用いた表皮ヘムオキシゲナーゼ1の機能解析	水芦 政人	皮膚科	1,300,000	補	日本学術振興会
小児白血病長期生存者の認知機能障害とMRI機能的画像の関係:照射群VS非照射群	麦倉 俊司	放射線科(放射線部)	700,000	補	日本学術振興会
Metabolic surgeryによるNAFLD改善効果 腸内細菌から検証する	田中 直樹	胃腸外科	300,000	補	日本学術振興会
末期肝不全に対する肝過小グラフト移植を基盤とした多能性幹細胞融合肝再生法の開発	宮城 重人	移植・再建・内視鏡外科	400,000	補	日本学術振興会
膵島移植成否評価と膵神経内分泌腫瘍早期発見を可能にする新規超音波造影剤の開発	坂田 直昭	肝・胆・膵外科	600,000	補	日本学術振興会
肩関節前方脱臼モデルの開発一病態解明と手術術式の検証のために一	山本 宣幸	整形外科	500,000	補	日本学術振興会
加齢卵母細胞における核小体構造の解析とSUMO化の生理的意義の検討	井原 基公	婦人科	900,000	補	日本学術振興会
がん患者の血栓症予防を目的としたMET-PAI1経路阻害による分子標的治療開発	豊島 将文	産科・婦人科(周産母子センター)	1,100,000	補	日本学術振興会
質量分析計を用いた新規頭頸部癌唾液、血液マーカーの検出	小川 武則	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補	日本学術振興会
高度視野狭窄患者の視野障害が自動車運転能力に与える危険性の評価と運転支援	国松 志保	眼科	400,000	補	日本学術振興会
口腔粘膜のびらん・潰瘍病変における抗原提示能とオートファジー解析による治療創生	菅原 由美子	口腔診断科	800,000	補	日本学術振興会
カテコール系接着ポリマー含有シリコンの義歯床粘膜面応用に関する研究	佐藤 奈央子	顎顔面口腔再建治療部	1,000,000	補	日本学術振興会
パーソナルFEAシミュレーションによるインプラント設計的最適化システムの開発	重光 竜二	咬合回復科	800,000	補	日本学術振興会
胎児心電図装置を活用した胎児用薬品評価システムの開発	佐藤 尚明	産科	1,100,000	補	日本学術振興会
脊髄虚血に対するナノバブル発生技術を応用した脊髄液酸素化による脊髄保護法の開発	秋山 正年	心臓血管外科	200,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
司法における証拠としてのゲノム研究と脳科学研究：各国の比較研究を基軸として	戸田 聡一郎	臨床研究推進センター	800,000	補	日本学術振興会
ニオイ記憶検査法による認知症発症予測精度の向上に向けた研究	馬場 徹	高次脳機能障害科	900,000	補	日本学術振興会
樹状細胞分化におけるGATA2の機能同定－MonoMac症候群の病態解明－	大西 康	血液・免疫科	800,000	補	日本学術振興会
緑内障の客観的早期診断法の開発に向けて～脳MRIはバイオマーカーとなり得るか？	館脇 康子	加齢核医学科	200,000	補	日本学術振興会
Luminex法を用いた臓器移植後抗HLA抗体の慢性拒絶反応における役割の解明	戸子台 和哲	移植・再建・内視鏡外科(高度救命救急センター)	500,000	補	日本学術振興会
月経関連疾患に対する遺伝・環境・生活習慣の関連および妊娠分娩経過による影響	渡邊 善	婦人科	1,000,000	補	日本学術振興会
生体埋入型細菌アチャンパーを用いた歯性感染症に対する免疫応答評価	松井 有恒	歯科顎口腔外科	300,000	補	日本学術振興会
アクチン結合蛋白フィラミン-Aによる歯根形成メカニズムの解明	日野 綾子(宮本綾子)	小児歯科	800,000	補	日本学術振興会
レジンモノマーの安全性を評価する先進的なセルベースアッセイ系の構築	折本 愛	保存修復科	1,000,000	補	日本学術振興会
高精度日本人ゲノム参照パネルに基づいた日本人炎症性腸疾患感受性遺伝子の高密度解析	角田 洋一	消化器内科	400,000	補	日本学術振興会
日本人標準ゲノムとジャポニカアレイを用いた子宮内膜症発症の遺伝要因解明	八重樫 伸生	産婦人科	4,200,000	補	日本学術振興会
歯を用いた内部被曝量のスクリーニング	高橋 温	障害者歯科治療部	1,600,000	補	日本学術振興会
遺伝的背景を揃えたコントロールiPS細胞を用いたALSの細胞種特異的な病態の解明	鈴木 直輝	神経内科	6,300,000	補	日本学術振興会
慢性腎臓病、自己免疫疾患における(プロ)レニン受容体の臨床的意義の解明	鳴海 かほり	腎・高血圧・内分泌科	1,100,000	補	日本学術振興会
患者皮膚由来シュワン細胞を用いた難治性神経障害性疼痛の治療戦略	村上 徹	麻酔科	1,100,000	補	日本学術振興会
ポリフェノールと過酸化水素光分解殺菌法を併用した新たな義歯性潰瘍治療法の提案	倉内 美智子	咬合修復科	1,000,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
グルタミン酸輸送タンパク質 PICK1を標的とした顎骨吸収抑制技術の開発	鎌野 優弥	咬合修復科	1,000,000	補委	日本学術振興会
歯周病菌による動脈瘤形成に関する研究	玉原 亨	予防歯科	1,000,000	補委	日本学術振興会
腱板断裂術後における肩関節運動量及び筋活動量を指標とした評価法の開発	村木 孝行	肢体不自由リハビリテーション科(リハビリテーション部)	600,000	補委	日本学術振興会
心臓と骨の連関から考える運動療法による慢性心不全・骨粗鬆症の革新的治療戦略	松本 泰治	循環器内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
乳歯および永久歯における必須微量元素の分布と子どもの健康背景	猪狩 和子	障害者歯科治療部	1,000,000	補委	日本学術振興会
腎周皮細胞と腎臓病コホートサンプルを用いた腎線維化抑制治療の探索	山本 多恵	腎・高血圧・内分泌科	1,500,000	補委	日本学術振興会
ミトコンドリア品質管理機構から見た薬物の副作用・ミトコンドリア機能障害分子機構	野村 亮介	高度救命救急センター	1,100,000	補委	日本学術振興会
長期的な前向きリンパ腫コホート研究の確立に基づく難治性リンパ腫の臨床病理学的研究	一迫 玲	造血器病理学寄附研究部門	1,100,000	補委	日本学術振興会
アシネトバクター属におけるオーダーメイド治療戦略の新規確立に関する研究	遠藤 史郎	総合感染症科・検査部(感染管理室)	1,200,000	補委	日本学術振興会
地域医療における円皮鍼を用いた誤嚥性肺炎の予防効果に関する研究	金子 聡一郎	総合地域医療教育支援部	700,000	補委	日本学術振興会
B型肝炎ウイルスの生活環に利用される小胞輸送経路の解明とその治療応用	井上 淳	消化器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
非手術適応慢性血栓性肺高血圧症に対する新しい診断・治療・評価法の確立	杉村 宏一郎	循環器内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
活性化内皮特異的エクソソーム解析によるCOPD病態マーカーの開発	山田 充啓	呼吸器内科	1,000,000	補委	日本学術振興会
気道粘液線毛輸送の攪乱因子となる肺microbiome由来抗原の同定とその制御	玉田 勉	呼吸器内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
肝臓でのmTOR制御シグナルのメタボリックシンドロームに及ぼす役割の解明	宇野 健司	糖尿病代謝科	1,100,000	補委	日本学術振興会
乾癬患者におけるTNF α アンタゴニスト二次無効のメカニズム解析	木村 裕	皮膚科	1,300,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
乳房拡散強調画像推奨プロトコール作成とADC値標準化に関する研究	前川 由依	放射線診断科	400,000	補	日本学術振興会
5-FUによる効果・有害事象を規定する薬理遺伝学的バイオマーカーの同定と機能解析	大沼 忍	胃腸外科	1,500,000	補	日本学術振興会
膵・消化管神経内分泌腫瘍の転移機構の解明	水間 正道	肝・胆・膵外科	900,000	補	日本学術振興会
新規インドール化合物の心臓血管外科領域における臓器保護への応用	安達 理	心臓血管外科	1,300,000	補	日本学術振興会
低弾性チタン人工股関節モデルでの応力遮蔽抑制効果の検討	森 優	整形外科	2,100,000	補	日本学術振興会
高周波超音波および光音響特性を利用した軟部肉腫の術中イメージング法の確立	綿貫 宗則	整形外科	1,000,000	補	日本学術振興会
日本人前立腺癌患者に対するホルモン療法の有害事象の検証と対策	三塚 浩二	泌尿器科	800,000	補	日本学術振興会
新規パルスジェットメスによる無阻血腎部分切除術の開発	山下 慎一	泌尿器科	1,200,000	補	日本学術振興会
子宮内膜癌における筋層浸潤と局所免疫反応の解析	徳永 英樹	婦人科	1,000,000	補	日本学術振興会
酸化ストレス応答と脳内環境に着目した間欠型一酸化炭素中毒の病態解析	黒田 宙	神経内科	1,100,000	補	日本学術振興会
オーダーメイド歯髄選択血流計を試作し、血流検出に基づく新しい歯髄診断法を確立する	井川 資英	歯周病科	500,000	補	日本学術振興会
義歯床用材料に着目した顎堤吸収の分子機構探索	奥山 弥生	咬合修復科	1,400,000	補	日本学術振興会
歯列接触癖を有する患者の表情筋活動、咀嚼筋活動および顔貌との関連に関する検討	塙 総司	咬合回復科	700,000	補	日本学術振興会
解剖学的標準化と統計画像を応用した咀嚼筋局所活動の3次元解析	山口 哲史	高齢者歯科治療部	1,200,000	補	日本学術振興会
TRPV4を介した術後痛のメカニズム 何が痛みトリガーとなるか	城戸 幹太	歯科麻酔疼痛管理科	500,000	補	日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症における骨吸収メカニズムの解明に向けたRunx2の機能解析	福永 智広	矯正歯科	1,100,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
13番染色体異常による硬組織への影響	齋藤 幹	小児歯科	1,200,000	補	日本学術振興会
食道癌発現促進因子としての口腔細菌叢機能の網羅的解析	丹田 奈緒子	予防歯科	700,000	補	日本学術振興会
炎症性腸疾患患者の免疫系と腸内細菌叢を移植したヒト化マウスで腸炎は再現できるか?	角田 洋一	消化器内科	1,400,000	補	日本学術振興会
Perfusion CTを用いた食道癌手術再建臓器の血行動態の検討	丸山 祥太	移植・再建・内視鏡外科	700,000	補	日本学術振興会
地域における食道アカラシア患者潜在に関する実態調査研究	石井 正	総合地域医療教育支援部	700,000	補	日本学術振興会
ARDSにおける内皮微小粒子の役割	齋藤 浩二	麻酔科(集中治療部)	1,100,000	補	日本学術振興会
前転移状態リンパ節のニッチ形成をとらえた高周波超音波画像診断システムの開発	阪本 真弥	口腔診断科	900,000	補	日本学術振興会
唾液由来鎮痛物質による新たな慢性疼痛制御理論の確立	庄司 憲明	口腔診断科	800,000	補	日本学術振興会
振動性脳刺激を用いた他者間脳シンクロによる教育学習とリハビリ効果促進法の開発	竹内 直行	肢体不自由リハビリテーション科	1,700,000	補	日本学術振興会
末梢動脈疾患患者における歩容変化の機序解明と新たな治療介入への応用	柿花 隆昭	リハビリテーション部	900,000	補	日本学術振興会
呼吸・循環障害を合併した高度肥満症への包括的リハビリテーションの有効性の確立	高橋 珠緒	内部障害リハビリテーション科	500,000	補	日本学術振興会
弾性力を利用した剛性調整型足関節装具と股関節装具による片麻痺患者の歩行再建	関口 雄介	肢体不自由リハビリテーション科(リハビリテーション部)	1,100,000	補	日本学術振興会
補綴歯科的技術を応用した乳房エピテーゼの新たな製作方法の開発	貴田岡 亜希	咬合回復科	1,300,000	補	日本学術振興会
統合失調症に対する認知行動療法の実践的指導體制の確立と日本での実施可能性の検討	砂川 恵美	精神科	800,000	補	日本学術振興会
悪性末梢神経鞘腫に対する新規治療薬(デブシペプチド類縁体)の開発	西條 憲	腫瘍内科	1,400,000	補	日本学術振興会
遠隔ネットワークを用いた医学生に対する症例報告執筆プログラムの確立	柿坂 庸介	てんかん科	400,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
定量的磁化率マッピングを用いた高精度線量計算システムの開発	伊藤 謙吾	放射線治療科(放射線部)	2,000,000	補	日本学術振興会
子宮頸がんに対する外部照射と腔内照射の高精度な積算線量評価システムの開発	角谷 倫之	放射線治療科	600,000	補	日本学術振興会
光干渉断層法を用いた肺高血圧症の新規組織診断方法の確立	青木 竜男	循環器内科	1,500,000	補	日本学術振興会
M-CSF誘発性リンパ管新生刺激因子VEGF-C,Dの細胞内シグナル解析	小林 誠	呼吸器内科	1,800,000	補	日本学術振興会
アストロサイト障害に起因する髄鞘脱落機序の解明	高井 良樹	神経内科	1,200,000	補	日本学術振興会
先天性大脳白質形成不全症の新規発症機序:ミトコンドリアへの低分子RNA輸送障害	菊池 敦生	小児科	1,300,000	補	日本学術振興会
食品由来化合物によるCharcot-Marie-Toothの病態改善	植松 有里佳	小児科	1,500,000	補	日本学術振興会
白斑症治療を目的とした幹細胞からの色素細胞誘導とメラニン産生・蓄積制御機構の検討	土山 健一郎	皮膚科	1,600,000	補	日本学術振興会
体幹部定位放射線治療における視認下能動的呼吸停止システム基盤の開発研究	石川 陽二郎	放射線治療科	900,000	補	日本学術振興会
CSF-1受容体陽性マクロファージ制御による、小腸移植後免疫抑制療法の確立	工藤 博典	小児外科	900,000	補	日本学術振興会
大腸癌に対するCripto-1標的療法の実現に向けて	唐澤 秀明	胃腸外科	1,200,000	補	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎術後の回腸囊炎における内因性抗菌タンパクの病態関与と治療応用の研究	渡辺 和宏	胃腸外科	1,100,000	補	日本学術振興会
膵内分泌腫瘍におけるDAXX遺伝子の作用解明と薬物治療効果への関係	青木 豪	胃腸外科	1,200,000	補	日本学術振興会
マウス受精卵における受精卵呼吸量測定装置を用いた呼吸量測定の安全性の検討	志賀 尚美	婦人科	900,000	補	日本学術振興会
次世代シーケンサー、マイクロアレイを用いた頭頸部多段階発がん機構の解明	中目 亜矢子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補	日本学術振興会
ヒト歯髄細胞におけるベルベリンを用いた新規硬組織再生法の開発研究	須藤 瑞樹	歯周病科	1,500,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
バイオフィルム代謝活性評価と表面腐食評価によるチタンの生物学的腐食モデルの構築	福島 梓	咬合回復科	1,100,000	補委	日本学術振興会
外側性骨造成術を用いたアパタイトコートヒアルロン酸による骨補填材の開発	田中 謙光	歯科顎口腔外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
IGF-I長期発現プラスミドを用いた顎骨再生治療法の開発とその臨床応用	熊坂 晃	口腔診断科	1,000,000	補委	日本学術振興会
歯根膜におけるScleraxisのメカトランスダクション機構の解明	川津 正慶	矯正歯科	1,500,000	補委	日本学術振興会
IGF-Iによる再生歯胚の形態制御機構に関する研究	吉田 倫子	矯正歯科	1,200,000	補委	日本学術振興会
咀嚼機能の向上は代謝性疾患治療の基盤となる	土谷 忍	顎口腔機能治療部	700,000	補委	日本学術振興会
精神疾患を有する妊産婦に対する産後早期精神科デイプログラムに関する予備的研究	菊地 紗耶	精神科	1,100,000	補委	日本学術振興会
妊婦および小児におけるインフルエンザワクチンの有効性・安全性評価	小原 拓	薬剤部	1,000,000	補委	日本学術振興会
MST法による卵細胞質機能低下克服への挑戦:次世代への安全性の担保も目指して	立花 眞仁	産科・婦人科	8,600,000	補委	日本学術振興会
Pannexin3を応用した歯周炎における抗炎症薬および新骨再生療法の開発	石河 真幸	保存修復科	6,500,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病における代謝性アシドーシスの治療介入がもたらす腎保護機序の解明	阿部 倫明	総合地域医療教育支援部	1,900,000	補委	日本学術振興会
β -ヒドロキシ酪酸が過敏性腸症候群の大腸機能、自律神経、内分泌に及ぼす効果の検討	町田 貴胤	心療内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
胃において自然免疫が粘膜の老化・発癌を制御する機序の解明	浅野 直喜	消化器内科	1,700,000	補委	日本学術振興会
難治性冠攣縮性狭心症患者における冠微小循環障害バイオマーカーに関する検討	高橋 潤	循環器内科	900,000	補委	日本学術振興会
マルチバイオマーカーによる慢性循環不全患者の多臓器障害連関の病態解明	建部 俊介	循環器内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
血管機能検査による内腸骨動脈塞栓に伴う腎筋跛行の予測	赤松 大二朗	移植・再建・内視鏡外科	900,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
COPD病態における自然リンパ球の関与およびその制御機構の解明	小荒井 晃	呼吸器内科	1,100,000	補	日本学術振興会
ミネラルコルチコイド受容体コリプレッサーを標的にした糖尿病性腎症治療薬の創薬	工藤 正孝	腎・高血圧・内分泌科	1,100,000	補	日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝疾患の肝臓におけるインスリンシグナル関連遺伝子発現の解析	澤田 正二郎	糖尿病代謝科	1,300,000	補	日本学術振興会
ミトコンドリア関連新規髄鞘化障害遺伝子の機能解析	植松 貢	小児科	1,800,000	補	日本学術振興会
毛様細胞性星細胞腫微小残存病変の検出と臨床応用	渡辺 祐子	小児科	700,000	補	日本学術振興会
ヒツジ胎仔の長期哺育によるポンプレス人工胎盤システムの安全性評価	渡邊 真平	小児科(周産母子センター)	1,200,000	補	日本学術振興会
妊娠中期に動脈管の血管リモデリングを促進させる因子の解明	齋藤 昌利	産科・婦人科	1,200,000	補	日本学術振興会
簡便な認知機能評価による早期精神病の転帰予測研究	大室 則幸	精神科	1,500,000	補	日本学術振興会
形態・機能画像と数値流体力学による慢性血栓塞栓性肺高血圧症の肺血流解析	大田 英揮	放射線診断科	2,600,000	補	日本学術振興会
副腎静脈サンプリング技術を応用した原発性アルドステロン症の低侵襲的治療法の開発	清治 和将	放射線診断科	1,200,000	補	日本学術振興会
マージナルドナー肝移植に対する親生体素材シートを用いた肝細胞移植ブースト法の開発	宮澤 恒持	移植・再建・内視鏡外科	500,000	補	日本学術振興会
肺移植後慢性拒絶反応の病態解明とIL-17を介した新規治療法の開発	松田 安史	呼吸器外科	1,200,000	補	日本学術振興会
スタンフォードB型解離の大動脈径拡大のメカニズムの解析と予測方法の開発	吉岡 一朗	心臓血管外科	1,700,000	補	日本学術振興会
音響性リボソームと超音波による血管新生療法の開発と最適な治療部位の解明	高地 崇	形成外科	1,400,000	補	日本学術振興会
整形外科術後感染症早期診断に向けた手術侵襲による全身性炎症反応の病態解明	小塚 知明	整形外科	1,500,000	補	日本学術振興会
DNAメチル化を介した軟骨基質破壊機構の解明	橋本 功	整形外科	2,400,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
嘔吐するモデル動物スnekスのトランスクリプトーム解析によるPONVの機序解明	杉野 繁一	手術部	1,400,000	補委	日本学術振興会
胎児心電図装置を応用した胎児脳機能発達異常検出法の開発	西郡 秀和	産科・婦人科	1,200,000	補委	日本学術振興会
パルスジェットメスによる精度の高い腹腔鏡下神経温存広汎子宮全摘出術の開発	岡本 聡	産科・婦人科	1,300,000	補委	日本学術振興会
神経線維腫症Ⅱ型に対する蝸牛温存型低侵襲水中内視鏡下経迷路法の確立に関する研究	山内 大輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による頭頸部非扁平上皮癌の新規ターゲット分子解析	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
遠隔転移モデルマウスによる遠隔転移に関与するmicroRNAの解明	嗟峨井 俊	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
ウェアラブル機器を用いた妊婦の身体活動の可視化による活動パターンと評価指標の検討	伊藤 直子	東6階病棟	1,400,000	補委	日本学術振興会
新しいドナー肺保存法CVLPの開発	野田 雅史	呼吸器外科	500,000	補委	日本学術振興会
Liquid Biopsy臨床応用に向けた循環腫瘍細胞と循環腫瘍DNAの統合解析	八重樫 伸生	産科・婦人科	1,200,000	補委	日本学術振興会
口腔癌リンパ節転移に対する抗瘍剤封入ナノ粒子のリンパ行性投与による治療法の開発	森 士朗	歯学研究科内 医工学研究科腫瘍医工学分野 小玉研究室(歯科顎口腔外科)	1,300,000	補委	日本学術振興会
歯を用いた環境放射能汚染評価	高橋 温	障害者歯科治療部	2,600,000	補委	日本学術振興会
高齢者のための新たな体格指標の開発	黒田 仁	総合地域医療教育支援部	1,600,000	補委	日本学術振興会
精神病発症リスク状態に対するメタ認知トレーニングの実施可能性と有効性の検討	濱家 由美子	精神科	1,300,000	補委	日本学術振興会
日本人の散発性大腸癌発生におけるMUTYH遺伝子変異の意義の解明と臨床応用	小峰 啓吾	腫瘍内科	1,700,000	補委	日本学術振興会
NOを介さない内皮依存性弛緩反応による新しい心血管病治療戦略の開発	神戸 茂雄	循環器内科	1,000,000	補委	日本学術振興会
12誘導心電図伝送システムが急性心筋梗塞診療に及ぼす影響に関する研究	羽尾 清貴	循環器内科	800,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
炎症性中枢神経疾患の病態に基づいた脳脊髄液中診断・予後推測因子の確立	西山 修平	神経内科	1,400,000	補委	日本学術振興会
アポクリン系腫瘍における免疫寛容誘導メカニズムの解明	神林 由美	皮膚科	1,400,000	補委	日本学術振興会
膵癌神経周囲浸潤におけるFbxw7/Notch1/ケモカインによる制御機構の解明	益田 邦洋	肝・胆・膵外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
膵癌新規予後規定因子SLP-2の機能解析-抗癌剤感受性予測因子としての検証-	有明 恭平	肝・胆・膵外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
二次性大動脈食道瘻の病因解明と早期診断システムの構築	早津 幸弘	心臓血管外科	500,000	補委	日本学術振興会
敗血症性急性腎不全が慢性透析へ進行する病態でのCaチャンネルの関与と予防療法の検討	齋藤 和智	麻酔科	700,000	補委	日本学術振興会
卵母細胞発育における新規細胞膜エストロゲン受容体GPERの機能解析	坂本 雅弘	産科・婦人科	1,200,000	補委	日本学術振興会
Nrf2誘導剤による放射線粘膜炎の緩和効果の検討	大越 明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
酸化ストレスからアプローチした緑内障治療	檜森 紀子	眼科	1,800,000	補委	日本学術振興会
緑内障臨床応用を見据えた網膜・眼表面におけるRho kinase阻害薬の作用解明	横山 悠	眼科	1,000,000	補委	日本学術振興会
血管新生を誘導する新しい高骨親和性生分解マグネシウム合金の開発	梅山 広勝	形成外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
浮遊培養による純化間葉系幹細胞スフェアを用いた顎骨組織再生技術の確立	新部 邦透	咬合修復科	1,400,000	補委	日本学術振興会
フルカントウア・ジルコニア歯冠補綴装置の低温劣化の防止・抑制法の探索	原田 章生	咬合修復科	1,000,000	補委	日本学術振興会
OCP/CollagenとMSCの複合体による顎骨再建法の確立	川井 忠	歯科顎口腔外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
歯科用インプラントのチタン表面処理による骨形成促進と機能安定性に関する基礎研究	井田 裕人	矯正歯科	1,500,000	補委	日本学術振興会
歯原性上皮細胞におけるNGF-p75シグナルによる細胞増殖制御機構の解明	小野 真理子	小児歯科	1,100,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
機械的刺激下の骨リモデリングにおける骨細胞のアポトーシスとp53,CCN2の関与	高野 郁子	矯正歯科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
体液中脂質プロファイルの効率的解析に基づくニーマンピック病C型新規診断法の構築	前川 正充	薬剤部	1,700,000	補 委	日本学術振興会
薬物動態・薬理遺伝学に基づく腎癌分子標的薬の個別化投与設計法の確立	高崎 新也	薬剤部	570,000	補 委	日本学術振興会
新規経口抗凝固薬の適正使用に向けた処方箋鑑査支援システムの構築	石川 直人	薬剤部	340,000	補 委	日本学術振興会
創薬を指向するプロスタグランジンの新規細胞外放出輸送担体の同定と機能解析	田中 伸明	薬剤部	700,000	補 委	日本学術振興会
局所広範囲ドラッグデリバリー技術の安定化と汎用化に向けた研究	齋藤 竜太	脳神経外科	3,300,000	補 委	日本学術振興会
長期的有酸素運動の抗加齢効果とその機序の解明および高齢化社会問題解決策の検討模索	伊藤 大亮	総合地域医療教育支援部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
転写因子GATA-2による造血微小環境の維持機構の解明	沖津 庸子	血液・免疫科	200,000	補 委	日本学術振興会
悪性神経膠腫での非侵襲で繰り返し評価可能なバイオマーカーの開発	金森 政之	脳神経外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
「腸-腎連関」から導く腎臓病の病態解明と新規治療法の開発	三島 英換	腎・高血圧・内分泌科	1,700,000	補 委	日本学術振興会
ミトコンドリア遺伝子発現不全に伴う新たな髄鞘化障害疾患概念の提唱	市野井 那津子	小児科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症の歯の移動遅延解明を目的としたRunx2ストレス応答機構解析	坂東 加南	矯正歯科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
赤血球特異的ノックダウン法による貧血モデルマウスの作製	藤原 亨	血液・免疫科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
新規パルスジェットメスを用いた内視鏡下肝臓手術の開発	中西 史	移植・再建・内視鏡外科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
ヒト食道組織内アセトアルデヒド測定 ー食道組織内還流装置による新たな試みー	八田 和久	消化器内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
大腸癌パネート細胞は有望な治療ターゲットになりうるか？	黒羽 正剛	消化器内科	900,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
乳癌の脳転移における局所エストロゲン合成の仕組みの解明	柴原 裕紀子	病理部	1,600,000	補	日本学術振興会
エクソソーム解析を用いた再生医療等製品の安全性評価方法の確立	沖田 ひとみ	臨床研究推進センター	1,200,000	補	日本学術振興会
アルツハイマー病患者における脳内タウ蛋白蓄積が日常生活動作に及ぼす影響の評価	石木 愛子	老年科	1,200,000	補	日本学術振興会
ヒトiPS細胞に低酸素培養を応用した三次元骨様組織の作製およびその骨組織再生効果	大川 博子	咬合修復科	1,200,000	補	日本学術振興会
支台歯形態とセメントのひずみに着目したCAD/CAM冠脱離のリスクファクター探索	勝田 悠介	咬合修復科	1,200,000	補	日本学術振興会
脂肪酸受容体GPR120の破骨細胞形成および矯正学的歯の移動に対する影響の検討	木村 桂介	矯正歯科	1,800,000	補	日本学術振興会
経口放射性薬剤による乳癌の重症度・胸管損傷部位の非侵襲的診断法の確立	高浪 健太郎	放射線診断科	1,200,000	補	日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いた血球分化におけるGATA2の機能解析	八田 俊介	血液・免疫科	1,100,000	補	日本学術振興会
進行性下顎頭吸収におけるADAMTS4発現に対する高分子量ヒアルロン酸の効果	片岡 良浩	歯科顎口腔外科	1,300,000	補	日本学術振興会
分子状水素を用いた革新的腹膜透析治療法の開発	中山 昌明	血液浄化療法部(慢性腎臓病透析治療共同研究部門)	1,800,000	補	日本学術振興会
尿中落下細胞に含まれる間葉系幹細胞の研究	内田 奈生	小児科	1,800,000	補	日本学術振興会
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患の移行期を包含し診療の質の向上に関する研究	仁尾 正記	小児外科	16,950,000	補	厚生労働省
東日本大震災後に発生した小児への健康被害への対応に関する研究	呉 繁夫	小児科	26,328,000	補	厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木 正志	神経内科	24,946,000	補	厚生労働省
免疫毒性評価試験法Multi-Immuno Toxicity assayの国際validationへ向けての検討	相場 節也	皮膚科	18,460,000	補	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
コンダクター型総合診療医の養成	石井 正	総合地域医療教育支援部	49,896,000	補 委	文部科学省
パーキンソン病患者の非運動症状に関する観察研究(J-FIRST)における統計解析関連業務	山口拓洋	臨床研究推進センター	3,120,000	補 委	協和発酵キリン株式会社
治験実施体制整備支援を通じたARO機能強化に関する調査研究	池田浩治	臨床研究推進センター	3,000,000	補 委	ミズホ株式会社
化学療法前の去勢抵抗性前立腺癌患者に対して新規ホルモン治療薬を用いた適切な治療戦略を探索する研究	荒井陽一	泌尿器科	30,000,000	補 委	アステラス製薬株式会社
初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤および放射線療法併用テモゾロミド、ペバシズマブ療法の有効性・安全性を検討する第II相臨床試験	富永悌二	脳神経外科	5,000,000	補 委	エーザイ株式会社
マウス受精卵を用いた受精卵呼吸測定装置の安全性評価	立花眞仁	婦人科	3,000,000	補 委	パナソニック株式会社
不妊・不育に関する専門的な相談及び生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	立花眞仁	婦人科	1,416,720	補 委	宮城県
子宮癌肉腫に対するdose-dense TC療法とtriweekly TC療法による術後補助化学療法、再発後化学療法を比較するランダム化第II/III相比較試験:JGOG2047試験	山口拓洋	臨床研究推進センター	6,100,000	補 委	特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構
重症心不全患者に対するテイヤーマイド方式心臓サポートネット開発	齋木佳克	心臓血管外科	2,362,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
婦人科悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫伸生	婦人科	5,300,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
泌尿器科腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	荒井陽一	泌尿器科	200,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
抗菌薬 特定使用成績調査-第11回抗菌薬感受性年次別推移の検討-	賀来満夫	検査部	702,000	補 委	第一三共株式会社
筋ジストロフィー関連疾患の基盤的診断・治療開発研究	青木正志	神経内科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
ピペット開発試作機の評価	中澤徹	眼科	650,000	補 委	株式会社アイカムス・ラボ

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	元
臨床分離細菌及び真菌の収集	賀来満夫	検査部	1,000,000	補 ⑤	塩野義製薬株式会社
パーキンソン病患者におけるイストラデフィリンのジスキネジア発現に対する臨床研究(介入研究)	山口拓洋	臨床研究推進センター	19,421,760	補 ⑤	協和発酵キリン株式会社
RAS-MAPKシグナル異常症の症例登録と遺伝子診断に関する研究	青木洋子	遺伝科	350,000	補 ⑤	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
観察研究Loop PsA “Cross-sectional observational study evaluating clinical specialty setting as determinant of management of patients with psoriatic arthritis”(関節症性乾癬患者の治療決定する診療科における横断的観察研究)	山崎研志	皮膚科	1,681,467	補 ⑤	アツヴィ合同会社
新規バイオマーカーの開発・検証	下川宏明	循環器内科	560,000	補 ⑤	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
「難治性炎症性腸疾患を対象としたアドレノメデュリン製剤による医師主導治験の実施」におけるPhase I 試験(反復投与試験)のデータマネジメント及び統計解析	山口拓洋	臨床研究推進センター	4,299,750	補 ⑤	株式会社マイクロン
乳癌患者におけるHER-2 蛋白、ホルモン受容体をはじめとする予後因子に関する検討免疫組織的検討	渡辺みか	病理部	11,196,000	補 ⑤	国家公務員共済組合連合会東北公済病院
婦人科腫瘍登録事業に関する統計処理およびデータマネジメント業務	高橋史朗	臨床研究推進センター	1,400,000	補 ⑤	公益社団法人日本産科婦人科学会
臨床効果データベース整備事業における研究	高橋史朗	臨床研究推進センター	35,000,000	補 ⑤	公益社団法人日本産科婦人科学会
数値流体力学による脳動脈瘤血管内治療リスク判定システムの開発・事業化	富永悌二	脳神経外科	5,027,000	補 ⑤	株式会社根本杏林堂
遠隔病理診断装置の実用化	渡邊みか	病理部	520,769	補 ⑤	気仙沼市立病院
医療機関および薬剤師における副作用等報告制度の認識と実践の実態把握とその推進に関する研究	眞野成康	薬剤部	3,510,000	補 ⑤	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医療機器の材質における薬剤との相互作用に関する研究	藤盛啓成	医療安全推進室	1,500,000	補 ⑤	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	元
COPD合併喘息の新規治療法開発等に関する研究	一ノ瀬正和	呼吸器内科	16,900,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
希少遺伝子難病の原因遺伝子同定・遺伝子解析とその病態解明	青木洋子	遺伝科	31,525,006	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
代謝疾患克服のための臓器間ネットワーク機構の統合的機能解明	片桐秀樹	糖尿病代謝科	48,828,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
心房細動リスクの評価・層別化指標としてのリスクスコアの開発とリスク軽減に資する因子の検討	下川宏明	循環器内科	40,530,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
心房細動症例における抗血栓療法の問題点の解明とその対処法の開発に関する研究	下川宏明	循環器内科	22,360,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
医療機器・難病・希少疾患などに対するアカデミア主導の臨床研究	八重樫伸生	臨床研究推進センター	65,000,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
重症急性膵炎に対する蛋白分解酵素阻害薬・抗菌薬膵局所動注療法の有効性に関する多施設共同ランダム化比較試験	下瀬川 徹	消化器内科	60,500,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
細胞内シグナル伝達異常による先天奇形症候群の病態解明と治療法開発の研究	青木洋子	遺伝科	29,900,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病態解明	青木正志	神経内科	29,770,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
肝細胞増殖因子(HGF)による筋萎縮性側索硬化症の治療法開発	青木正志	神経内科	142,770,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
iPS細胞を用いた家族性筋萎縮性側索硬化症(ALS)の病態解明・新規治療法開発	青木正志	神経内科	9,880,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の2/3相試験	青木正志	神経内科	108,180,280	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発	八重樫伸生	婦人科	19,994,000	補 ⑤	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
若年女性の心身の健康をサポートする包括的な異分野融合研究	八重樫伸生	婦人科	10,000,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究	大内憲明	乳腺内分泌外科	110,000,000	補 ⑤ 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
HBV複製・放出に関与する細胞内小胞輸送経路の解析	井上淳	消化器内科	3,000,000	補 ⑤ 公立大学 法人名古屋 市立大学
次世代シークエンサーを用いたSVR後発癌患者・非B非C肝癌患者におけるmRNA・microRNA発現機能解析	小暮高之	消化器内科	1,000,000	補 ⑤ 公立大学 法人名古屋 市立大学
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	保坂正美	整形外科	360,000	補 ⑤ 独立行政 法人労働 者健康安全 機構九州 労災病院
リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの有効性と安全性の評価	玉田勉	呼吸器内科	500,000	補 ⑤ 国立大学 法人新潟 大学
新生児タンデムマススクリーニング対象疾患の診療ガイドラインの改訂、診療の質を高めるための研究	坂本修	小児科	650,000	補 ⑤ 国立大学 法人岐阜 大学
もやもや病診療の質を高めるためのエビデンス構築を目指した包括的研究	富永悌二	脳神経外科	500,000	補 ⑤ 国立大学 法人北海 道
筋萎縮性側索硬化症の遺伝子解析	青木正志	神経内科	1,900,000	補 ⑤ 国立大学 法人神戸 大学
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	高野忠夫	婦人科	1,000,000	補 ⑤ 茨城県立 中央病院
プリオンド蛋白質の伝播阻害による治療法開発	長谷川隆文	神経内科	3,640,000	補 ⑤ 国立大学 法人大阪 大学
早期子宮頸がんに対する準広汎子宮全摘術の有益性を検証する研究	高野忠夫	婦人科	650,000	補 ⑤ 東京都立 墨東病院
ゲノム解析の実施、同定変異の基礎研究とその臨床実用化	下川宏明	循環器内科	1,000,000	補 ⑤ 国立大学 法人大阪 大学
角膜上皮幹細胞疲弊症に対する自己培養口腔粘膜上皮細胞シート移植の医師主導治験	中澤徹	眼科	1,300,000	補 ⑤ 国立大学 法人大阪 大学

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自己心膜製ステントレス僧帽弁置換術の安全性と効果に関する研究	齋木佳克	心臓血管外科	1,430,000	補 ⑤委 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院
重度嗅覚障害を呈するパーキンソン病を対象としたドネペジルの予後改善効果に関する研究	森悦朗	高次脳機能障害科	600,000	補 ⑤委 独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院
消化器領域の未診断疾患の研究	下瀬川 徹	消化器内科	8,000,000	補 ⑤委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
BIM遺伝子多型に起因するEGFR変異肺癌のEGFR阻害薬耐性をボリノスタット併用で克服する研究	井上彰	緩和医療科	1,300,000	補 ⑤委 国立大学法人金沢大学
原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	笹原洋二	小児科	650,000	補 ⑤委 国立大学法人九州大学
ドナーの循環管理について	齋木佳克	心臓血管外科	300,300	補 ⑤委 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
大量出血を伴う外傷に対する適切な輸血、血液製剤使用法の検討	久志本成樹	救急科	250,000	補 ⑤委 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	川岸直樹	移植・再建・内視鏡外科	200,001	補 ⑤委 国立大学法人九州大学
視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性を検証する第Ⅱ/Ⅲ相多施設共同プラセボ対照無作為化試験	中島一郎	神経内科	1,000,000	補 ⑤委 独立行政法人国立病院機構宇多野病院
中性脂肪蓄積心筋血管症の臨床経過に関する検討	杉村宏一郎	循環器内科	100,000	補 ⑤委 国立大学法人大阪大学
原因不明遺伝子関連疾患の全国横断的症例収集・パンキングと網羅的解析に関する研究	呉繁夫	小児科	54,300,000	補 ⑤委 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
ホルモン受容機構異常症診療ガイドライン作成ためのエビデンス構築に関する研究	片桐秀樹	糖尿病代謝科	650,000	補 ⑤委 公立大学法人和歌山県立医科大学
高齢者多発性骨髄腫患者に対する至適な分子標的療法の確立と治療効果および有害事象を予測するバイオマーカーの探索的研究	福原規子	血液・免疫科	1,500,001	補 ⑤委 国立研究開発法人国立がん研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
MUC4遺伝子多型とEGFR-TKIによるILD発症との相関性を検証するためのコホート内ケースコントロールスタディの施行と症例収集	井上彰	緩和医療科	600,000	補 ⑤ 学校法人自治医科大学
機械的強度と弾性率を部位毎に最適化させた新素材活用による新たな人工股関節システムの開発と事業化	井樋栄二	整形外科	114,048	補 ⑤ 公益財団法人にいがた産業創造機構
希少難治性脳・脊髄疾患の歩行障害に対する生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)	青木正志	神経内科	520,000	補 ⑤ 独立行政法人国立病院機構新潟病院
仙台におけるデータ収集と解析	松本和紀	精神科	1,800,000	補 ⑤ 学校法人東邦大学
難治性神経芽腫に対するIL2、CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	笹原洋二	小児科	2,000,000	補 ⑤ 地方独立行政法人大阪市民病院機構
東北地区治験実施	大河内眞也	呼吸器内科	2,700,000	補 ⑤ 国立大学法人新潟大学
高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究	井上彰	緩和医療科	500,000	補 ⑤ 学校法人慶應義塾
耳鳴診療ガイドラインの開発に関する研究	川瀬哲明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	400,000	補 ⑤ 学校法人慶應義塾
先天性リンパ管疾患の診療指針作成及び病理・細胞生物学的知見の臨床応用へ向けた研究	青木洋子	遺伝科	1,800,000	補 ⑤ 学校法人慶應義塾
IgG4関連疾患の病因病態解明と新規治療法確立に関する研究	下瀬川徹	消化器内科	1,200,000	補 ⑤ 国立大学法人京都大学
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	荒井陽一	泌尿器科	273,000	補 ⑤ 国立大学法人九州大学
全県型医療情報連携ネットワークを用いた農村・離島住民の健康管理サポートの実践	中山雅晴	メディカルITセンター	27,800,000	補 ⑤ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
成人先天性心疾患の遠隔期合併症・問題点の解明とリスク低減への対処法開発に関する研究	建部俊介	循環器内科	10,400,000	補 ⑤ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
チオプリン不耐例を判別するNUDT15 R139C遺伝子多型検査キットの開発を軸とした炎症性腸疾患におけるゲノム医療実用化プラットフォームワークの確立	角田洋一	消化器内科	40,000,000	補 ⑤ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	元
COPD合併喘息の酸化窒素化制御による新規治療剤開発に関する研究	一ノ瀬正和	呼吸器内科	15,600,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	下川宏明	循環器内科	200,000	補 ⑤	国立大学法人九州大学
東北大学病院における利活用基盤への接続に関する研究	中山雅晴	メディカルITセンター	3,300,000	補 ⑤	一般財団法人医療情報システム開発センター
医薬品の安全性評価のための医療情報データベースの処理高速化及び解析高度化	中山雅晴	メディカルITセンター	7,000,000	補 ⑤	独立行政法人医薬品医療機器総合機構
多職種協働による地域包括ロービジョンケアシステム開発に関する研究	鈴嶋よしみ	肢体不自由リハビリテーション科	4,000,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
筋萎縮性側索硬化症の症例収集・遺伝子解析	青木正志	神経内科	1,200,000	補 ⑤	国立大学法人名古屋大学
筋萎縮性側索硬化症患者の疾患登録システムの構築と施設登録体制の整備	青木正志	神経内科	500,000	補 ⑤	国立大学法人名古屋大学
多発性硬化症の予防・病態改善・治療を目指した常在菌叢-免疫系-神経系相互連関の研究	中島一郎	神経内科	1,300,000	補 ⑤	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
研究倫理教育に関するモデル教材・プログラムの開発	高野忠夫	臨床研究推進センター	600,000	補 ⑤	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
研究規制環境の変化に対応した新たな研究倫理支援体制構築に関する研究	高野忠夫	臨床研究推進センター	500,000	補 ⑤	国立研究開発法人 国立がん研究センター
脳神経外科学(てんかん外科)分野に関する学術研究動向	中里信和	てんかん科	1,690,000	補 ⑤	独立行政法人日本学術振興会
セレンディピターを用いた細胞検出技術の確立	富永悌二	脳神経外科	10,115,000	補 ⑤	国立研究開発法人 科学技術振興機構
臨床研究に関する安全性サポート体制の構築および強化	下川宏明	臨床研究推進センター	221,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
医工連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチ拠点形成	下川宏明	臨床研究推進センター	1,282,093,740	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補 委	元
国産医療機器創出促進基盤整備等事業	八重樫伸生	臨床研究推進センター	7,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会スタンダードモデル構築事業	八重樫伸生	臨床研究推進センター	12,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
中央治験審査委員会・中央臨床研究倫理審査委員会基盤整備事業	八重樫伸生	臨床研究推進センター	60,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討一観察研究(JFMC44-1101)	柴田 近	胃腸外科	10,000	補 委	財団法人 がん集学的治療研究財団
StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	海野倫明	肝・胆・膵外科	54,000	補 委	財団法人 がん集学的治療研究財団
思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究	新倉 仁	婦人科	154,000	補 委	財団法人 国際科学振興財団
Borderline resectable膵癌に対する術前治療としてのGemcitabine+S-1(GS)化学放射線療法第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験	山口拓洋	臨床研究推進センター	3,200,000	補 委	膵癌術前治療研究会
リプレガルを投与されたファブリー病患者を対象としたLyso-Gb3の測定(レトロスペクティブ研究)	佐藤博	腎・高血圧・内分泌科	51,840	補 委	学校法人 明治薬科大学
日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究)	高橋潤	循環器内科	43,200	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
医療情報データベースに保存された医療情報の実践的な利活用のためのデータ検証(バリデーション)業務	中山雅晴	メディカルITセンター	14,172,000	補 委	独立行政法人医薬品医療機器総合機構
ITK-1第Ⅲ相プラセボ対照二重盲検比較試験 HLA-A24陽性のテモゾロミド治療抵抗性神経膠芽腫患者を対象としたITK-1投与の有効性と安全性を検証する臨床試験	富永悌二	脳神経外科	500,000	補 委	学校法人 久留米大学
微小血管狭心症に関する多施設共同前向きレジストリ研究	下川宏明	循環器内科	1,248,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
高齢者化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期扁平上皮肺癌に対するnab-Paclitaxel+Carboplatin併用療法とDocetaxel単剤療法のランダム化第Ⅲ相試験	佐藤輝幸	呼吸器内科	216,000	補 委	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
インドにおける先天性貧血の病態及び分子遺伝学特徴に関する共同研究	張替秀郎	血液・免疫科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
治験の実施に関する研究(G-CSF)	菅野晴夫	整形外科	500,000	補 委	公益社団法人日本医師会
多発性筋炎・皮膚筋炎へのTK-98薬事承認に向けた研究	石井智徳	血液・免疫科	512,500	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学
トシリズマブの成人発症ステイル病に対する長期(継続)投与試験	石井智徳	血液・免疫科	200,000	補 委	株式会社MRSプランニング
J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	片桐秀樹	糖尿病代謝科	300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
光音響診断画像を用いた前立腺生検の有用性検証	池田浩治	開発推進部門	2,050,000	補 委	学校法人防衛医科大学校

計320

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Ebina-Shibuya R, Watanabe-Matsui M, Matsumoto M, et al.	呼吸器内科	The double knockout of Bach1 and Bach2 in mice reveals shared compensatory mechanisms in regulating alveolar macrophage function and lung surfactant homeostasis.	J Biochem.2016 Dec;160(6):333-344	Original Article
2	Saiki, Yoshikatsu, Adachi, Osamu, Masaki, Naoki, et al.	心臓血管外科	Long-term results after physiologic repair for congenitally corrected transposition of the great arteries.	Gen Thorac Cardiovasc Surg2016 Dec;64(12):715-721	Original Article
3	Itoi, Eiji, Yahata, Kenichiro, Kanno, Haruo, et al.	整形外科	Low-energy extracorporeal shock wave therapy for promotion of vascular endothelial growth factor expression and angiogenesis and improvement of locomotor and sensory functions after spinal cord injury.	J Neurosurg Spine2016 Dec;25(6):745-755	Original Article
4	Watanabe, Mika, Fujimine-Sato, Ayako, Toyoshima, Masafumi, et al.	病理部	Eccrine porocarcinoma of the vulva: a case report and review of the literature.	J Med Case Rep2016 Nov 10;10(1):319.	Case report
5	Kaiho, Yasuhiro, Kimura, Shingo, Mitsuzuka, Koji, et al.	泌尿器科	Hypoglycemia Caused by Recurrent Renal Cell Carcinoma As Result of Production of High Molecular Weight Insulin-Like Growth Factor 2.	J Clin Oncol2016 May 1;34(13):e120-2	Original Article
6	Miyashita S, Ahmed NE, Murakami M, et al.	矯正歯科	Mechanical forces induce odontoblastic differentiation of mesenchymal stem cells on three-dimensional biomimetic scaffolds	J Tissue Eng Regen Med2017 Feb;11(2):434-446	Original Article
7	K. Takeda, H. Matsushita, T. Ogawa, et al.	放射線治療科	Clinical and volumetric prognostic factors in external beam radiotherapy for head and neck cancer.	Radiother Oncol2016 Apr;119(1):504-505	Original Article
8	Namiki S, Mitsuzuka K, Kaiho Y, et al	泌尿器科	Serum luteinizing hormone concentration is significantly associated with recovery of urinary function after radical prostatectomy.	BJU Int.2016 Mar;117(3):450-5	Original Article
9	Nakazawa T, Akaishi T, Sato DK, et al.	眼科	MRI and retinal abnormalities in isolated optic neuritis with myelin oligodendrocyte glycoprotein and aquaporin-4 antibodies: a comparative study.	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2016 Apr;87(4):446-8	Letter
10	Ichinose M, Sakamoto Y, Sakamoto K, et al.	呼吸器内科	Walking Pattern in COPD Patients.	Rehabilitation Nursing2016 Jul;41(4):211-7	Original Article
11	Itoi, Eiji, Hatta, Taku, Yamamoto, Nobuyuki, et al.	整形外科	Association between acromioclavicular joint pain and capsular bulging in adolescent baseball players.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 2016 Dec;24(12):3750-3755	Original Article

12	Shimosegawa, T, Kakuta, Y, Naito, T, et al.	消化器内科	NUDT15 R139C causes thiopurine-induced early severe hair loss and leukopenia in Japanese patients with IBD.	Pharmacogenomics J 2016 Jun;16(3):280-5	Original Article
13	Morimoto R, Ota H, Seiji K, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Dynamic multidetector CT and non-contrast-enhanced MR for right adrenal vein imaging: comparison with catheter venography in adrenal venous sampling.	Eur Radiol 2016 Mar;26(3):622-30	Original Article
14	Hasegawa M, Adachi T, Takano-Yamamoto T	矯正歯科	Computer simulation of orthodontic tooth movement using CT image-based voxel finite element models with the level set method.	Comput Methods Biomech Biomed Engin 2016;19(5):474-83	Original Article
15	Mitsuzuka K, Nakano O, Takahashi N, et al.	泌尿器科	Identification of factors associated with postoperative febrile urinary tract infection after ureteroscopy for urinary stones.	Urolithiasis. 2016 Jun;44(3):257-62	Original Article
16	Itoi, Eiji, Koakutsu, Tomoaki, Aizawa, Toshimi, et al.	整形外科	Lumbar artery injury from which the Adamkiewicz artery originated associated with lumbar spine injury: successfully treated by transcatheter arterial embolization.	Eur Spine J 2016 May;25 Suppl 1:124-8	Original Article
17	Ito, Sadayoshi, Mishima, Eikan, Kikuchi, Koichi, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Detection of Segmental Renal Ischemia by Diffusion-Weighted Magnetic Resonance Imaging: Clinical Utility for Diagnosis of Renovascular Hypertension.	J Clin Hypertens (Greenwich) 2016 Apr;18(4):364-5	Case report
18	Itoi, Eiji, Mori, Yu, Adams, Douglas, et al.	整形外科	Identification of a progenitor cell population destined to form fracture fibrocartilage callus in Dickkopf-related protein 3-green fluorescent protein reporter mice.	J Bone Miner Metab 2016 Nov;34(6):606-614	Original Article
19	Nakazawa T, Yamazaki M, Omodaka K, et al.	眼科	Estimated retinal ganglion cells counts are a valuable parameter in normal tension glaucoma.	Clin Experiment Ophthalmol 2016 Apr;44(3):207-9	Letter
20	Ishioka, Chikashi, Sugiyama, Shunsuke, Yoshino, Yuki, et al.	腫瘍内科	A Curcumin Analog, GO-Y078, Effectively Inhibits Angiogenesis through Actin Disorganization.	Anticancer Agents Med Chem 2016;16(5):633-47	Original Article
21	Watanabe K, Kimura H, Takahashi K, et al.	胃腸外科	Has widespread use of biologic and immunosuppressant therapy for ulcerative colitis affected surgical trends? Results of a questionnaire survey of surgical institutions in Japan.	Surgery Today 2016 Aug;46(8):930-8	Original Article
22	Mitsuzuka K, Kyan A, Sato T, et al.	泌尿器科	Influence of 1 year of androgen deprivation therapy on lipid and glucose metabolism and fat accumulation in Japanese patients with prostate cancer.	Prostate Cancer Prostatic Dis. 2016 Mar;19(1):57-62	Original Article
23	Yamamoto T, Miyazaki M, Nakayama M, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Impact of hemoglobin levels on renal and non-renal clinical outcomes differs by chronic kidney disease stages: the Gonryo study.	Clin Exp Nephrol. 2016 Aug;20(4):595-602	Original Article
24	Sasano, H, Morimoto, R, Satani, N, et al.	病理部	A case of bilateral aldosterone-producing adenomas differentiated by segmental adrenal venous sampling for bilateral adrenal sparing surgery.	J Hum Hypertens 2016 Jun;30(6):379-85	Original Article

25	Sasano, Hironobu, Okubo, Yosuke, Sato, Yuka, et al.	病理部	Extraordinarily high aldosterone, 901.0 ng/dL, in a patient with primary aldosteronism: an insight into the underlying mechanism.	Endocr J2016;63(2):127-33	Original Article
26	Itoi, E, Kanno, H, Ozawa, H, et al.	整形外科	Increased Facet Fluid Predicts Dynamic Changes in the Dural Sac Size on Axial-Loaded MRI in Patients with Lumbar Spinal Canal Stenosis.	AJNR Am J Neuroradiol2016 Apr;37(4):730-5	Original Article
27	Asano N, Maejima R, Uno K, et al.	消化器内科	Japanese case of lymphocytic esophagitis.	Digestive Endoscopy 2016 May;28(4):476-480	Case report
28	Sasano, Hironobu, Guestini, Fouzia, McNamara, Keely May, et al.	病理部	Triple negative breast cancer chemosensitivity and chemoresistance: current advances in biomarkers identification.	Expert Opin Ther Targets2016 Jun;20(6):705-20	Original Article
29	Mishima E, Suzuki T, Yamaguchi H, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Mitochondrial Acid 5 Binds Mitochondria and Ameliorates Renal Tubular and Cardiac Myocyte Damage.	J Am Soc Nephrol2016 Jul;27(7):1925-32	Original Article
30	Mori, Etsuro, Ikeda, Manabu, Iseki, Eizo, et al.	高次脳機能障害科	Adequacy of Using Consensus Guidelines for Diagnosis of Dementia with Lewy Bodies in Clinical Trials for Drug Development.	Dement Geriatr Cogn Disord2016;41(1-2):55-67	Original Article
31	Ishida, Masaharu, Hata, Tatsuo, Motoi, Fuyuhiko Naitoh, et al.	肝・胆・膵外科	Effect of Hospital Volume on Surgical Outcomes After Pancreaticoduodenectomy: A Systematic Review and Meta-analysis.	Ann Surg 2016 Apr;263(4):664-72	Original Article
32	Ishioka, Chikashi, Imai, Hiroo, Shirota, Hidekazu, et al.	腫瘍内科	Efficacy and Safety of Carboplatin and Etoposide Combination Chemotherapy for Extrapulmonary Neuroendocrine Carcinoma: A Retrospective Case Series.	Chemotherapy 2016;61(3):111-6.	Original Article
33	Saiki, Yoshikatsu, Nakatani, Takeshi, Fukushima, Norihide, et al.	心臓血管外科	The Registry Report of Heart Transplantation in Japan (1999-2014).	Circ J 2016;80(1):44-50	Original Article
34	Kunikata H, Nakazawa T.	眼科	Recent Clinical Applications of Laser Speckle Flowgraphy in Eyes with Retinal Disease.	Asia-Pacific journal of ophthalmology 2016 Mar-Apr;5(2):151-8.	Original Article
35	Shimosegawa, Tooru, Honda, Junya, Iijima, Katsunori, et al.	消化器内科	Estrogen Enhances Esophageal Barrier Function by Potentiating Occludin Expression.	Dig Dis Sci2016 Apr;61(4):1028-38	Original Article
36	Sugino, Shigekazu, Ishioka, Yoshiya, Hayase, Tomo, et al.	手術部	Intraoperative auditory evoked potential recordings are more reliable at signal detection from different sensor sites on the forehead compared to bispectral index.	J Clin Monit Comput 2017 Feb;31(1):117-122	Original Article
37	Nakazawa T, Kitaoka Y, Tanito M, et al.	眼科	Estimation of the Disc Damage Likelihood Scale in primary open-angle glaucoma: the Glaucoma Stereo Analysis Study.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 2016 Mar;254(3):523-8	Original Article

38	Itoi, Eiji, Yabe, Yutaka, Hagiwara, Yoshihiro, et al.	整形外科	Decreased elastic fibers and increased proteoglycans in the ligamentum flavum of patients with lumbar spinal canal stenosis.	J Orthop Res2016 Jul;34(7):1241-7	Original Article
39	Arai H, Furukawa K, Tomita N, et al.	老年科	Randomized double-blind placebo-controlled multicenter trial of Yokukansan for neuropsychiatric symptoms in Alzheimer's disease.	Geriatr Gerontol Int. 2017 Feb;17(2):211-218	Original Article
40	Arai, Yoichi, Kumondai, Masaki, Hosono, Hiroki, et al.	泌尿器科	Genetic Polymorphisms of <i>CYP2A6</i> in a Case-Control Study on Bladder Cancer in Japanese Smokers.	Biol Pharm Bull2016;39(1):84-9	Original Article
41	Tachi, Masahiro, Baba, Asuka, Ejima, Yutaka, et al.	形成外科	Anti-Allergic Drugs Tranilast and Ketotifen Dose-Dependently Exert Mast Cell-Stabilizing Properties.	Cell Physiol Biochem2016;38(1):15-27	Original Article
42	Itoi, Eiji, Sonofuchi, Kazuaki, Hagiwara, Yoshihiro, et al.	整形外科	Quantitative in vivo biocompatibility of new ultralow-nickel cobalt-chromium-molybdenum alloys.	J Orthop Res 2016 Sep;34(9):1505-13	Original Article
43	Aoki M, Watanabe H, Atsuta N, et al.	神経内科	A rapid functional decline type of amyotrophic lateral sclerosis is linked to low expression of TTN.	J Neurol Neurosurg Psychiatry2016 Aug;87(8):851-8	Original Article
44	Nakazawa T, Yoshida M, Kunimatsu-Sanuki S, et al.	眼科	Structure/function relationship between wide-scan binocular OCT images and the integrated visual field in glaucoma patients.	Clin Experiment Ophthalmol2016 Aug;44(6):526-8	Original Article
45	Naitoh T, Miyachi T, Nagao M, et al.	胃腸外科	Biliopancreatic limb plays an important role in metabolic improvement after duodenal-jejunal bypass in a rat model of diabetes.	Surgery2016 May;159(5):1360-71	Original Article
46	Itoi, E, Tanaka, H, Hatta, T, et al.	整形外科	Comparative study of treatment for distal radius fractures with two different palmar locking plates.	J Hand Surg Eur Vol2016 Jun;41(5):536-42	Original Article
47	Arai, Yoichi, Kawamorita, Naoki, Yoshikawa, Satoru, et al.	泌尿器科	Liposome Based Intravesical Therapy Targeting Nerve Growth Factor Ameliorates Bladder Hypersensitivity in Rats with Experimental Colitis.	J Urol 2016 Jun;195(6):1920-6	Original Article
48	Kaiho, Yasuhiro, Yamashita, Shinichi, Ito, Akihiro, et al.	泌尿器科	Clinical implications of intravesical recurrence after radical nephroureterectomy for upper urinary tract urothelial carcinoma.	Int J Urol2016 May;23(5):378-84	Original Article
49	Aoki M, Kaneko K, Sato DK, et al.	神経内科	Myelin injury without astrocytopathy in neuroinflammatory disorders with MOG antibodies.	J Neurol Neurosurg Psychiatry2016 Nov;87(11):1257-1259	Letter
50	Nakazawa T, Yui R, Kunikata H, et al.	眼科	Anterior chamber aqueous flare and optic nerve microcirculation in eyes with rhegmatogenous retinal detachment.	Acta Ophthalmol2016 Sep;94(6):e520-1	Letter

51	Aoki M, Akiyama T, Warita H, et al.	神経内科	Genotype-phenotype relationships in familial amyotrophic lateral sclerosis with FUS/TLS mutations in Japan.	Muscle Nerve2016 Sep;54(3):398-404	Original Article
52	Ito, Sadayoshi, Sato, Emiko, Mori, Takefumi, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Urinary angiotensinogen excretion is associated with blood pressure in obese young adults.	Clin Exp Hypertens 2016;38(2):203-8	Original Article
53	Takeshita N, Hasegawa M, Sasaki K, et al.	矯正歯科	In vivo expression and regulation of genes associated with vascularization during early response of sutures to tensile force.	J Bone Miner Metab2017 Jan;35(1):40-51	Original Article
54	Mitsuzuka K	泌尿器科	Editorial Comment to Prediagnostic prostate-specific antigen kinetics and the risk of biopsy progression in active surveillance patients.	Int J Urol.2016 Apr;23(4):317-8	Others
55	Takagi, Kiyoshi, Miki, Yasuhiro, Tanaka, Sota, et al.	病理部	Nucleobindin 2 (NUCB2) in human endometrial carcinoma: a potent prognostic factor associated with cell proliferation and migration.	Endocr J2016;63(3):287-99	Original Article
56	Satoh F, Iwakura Y, Ito S, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Renal Resistive Index Predicts Postoperative Blood Pressure Outcome in Primary Aldosteronism.	Hypertension 2016 Mar;67(3):654-60	Original Article
57	Sasano, Hironobu, Ohara, Nobumasa, Kaneko, Masanori, et al.	病理部	Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis Following Treatment for Cushing's Syndrome.	Intern Med2016;55(4):389-94	Original Article
58	Ohnuma S, Matsuda Y, Miura K, et al.	胃腸外科	SERPINI1 regulates epithelial-mesenchymal transition in an orthotopic implantation model of colorectal cancer.	Cancer Sci.2016 May;107(5):619-28	Original Article
59	Naitoh T, Hata T, Ishida M, et al.	胃腸外科	Telomerase activity in pancreatic juice differentiates pancreatic cancer from chronic pancreatitis: A meta-analysis.	Pancreatology 2016 May-Jun;16(3):372-81	Original Article
60	Nakano T, Ozawa Y, Kamei T, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Characteristics of Postoperative Recurrence in Lymph Node-Negative Superficial Esophageal Carcinoma.	World Journal of Surgery2016 Jul;40(7):1663-71	Original Article
61	Kinbara M, Bando K, Shiraishi D, et al.	矯正歯科	Mast cell histamine-mediated transient inflammation following exposure to nickel promotes nickel allergy in mice.	Exp Dermatol2016 Jun;25(6):466-71	Original Article
62	Niihori T, Higasa K, Miyake N, et al.	遺伝科	Human genetic variation database, a reference database of genetic variations in the Japanese population.	J Hum Genet2016 Jun;61(6):547-53	Original Article
63	Izumi S, Mori T, Takeuchi N, et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Anodal transcranial direct current stimulation over the auditory cortex improved hearing impairment in a patient with brainstem encephalitis.	J Int Med Res2016 Jun;44(3):760-4	Original Article

64	Harigae H, Yamaguchi K, Takanashi T, et al.	血液・免疫科	Xenotransplantation elicits salient tumorigenicity of adult T-cell leukemia-derived cells via aberrant AKT activation.	Cancer Sci 2016 May;107(5):638-43	Original Article
65	Ishii, Tomonori, Hirabayashi, Yasuhiko, Munakata, Yasuhiko, et al.	血液・免疫科	Clinical and structural remission rates increased annually and radiographic progression was continuously inhibited during a 3-year administration of tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis: A multi-center, prospective cohort study by the Michinoku Tocilizumab Study Group.	Mod Rheumatol 2016 Nov;26(6):828-835	Original Article
66	Nakazawa T, Inoue M, Himori N, et al.	眼科	The reduction of temporal optic nerve head microcirculation in autosomal dominant optic atrophy.	Acta Ophthalmol 2016 Nov;94(7):e580-e585	Original Article
67	Sasano, Hironobu, Saito, Ryoko, Fujishima, Fumiyoshi, et al.	病理部	A case of pulmonary adenocarcinoma harboring osteoclast-like giant cells: Its evaluation by immunohistochemical and genetic analyses.	Pathol Int 2016 Apr;66(4):224-9	Original Article
68	Sasano, Hironobu, McNamara, Keely M	病理部	Androgen and breast cancer: an update.	Curr Opin Endocrinol Diabetes Obes 2016 Jun;23(3):249-56	Original Article
69	Tachi, Masahiro, Miura, Chieko, Shimizu, et al.	形成外科	In vivo corrosion behaviour of magnesium alloy in association with surrounding tissue response in rats.	Biomed Mater 2016 Mar 7;11(2):025001	Original Article
70	Sasano, Hironobu, Asakawa, Masahiro, Yoshimoto, Takanobu, et al.	病理部	A Case of Cushing's Syndrome with Multiple Adrenocortical Adenomas Composed of Compact Cells and Clear Cells.	Endocr Pathol 2016 Jun;27(2):136-41	Original Article
71	Hideo Harigae, Aiko Kondo, Tohru Fujiwara, et al.	血液・免疫科	Identification of a novel putative mitochondrial protein FAM210B associated with erythroid differentiation.	Int J Hematol 2016 Apr;103(4):387-95	Original Article
72	Arai H, Yōshihara A, Fukatsu M, et al.	老年科	Subgroup differences in 'brain-type' transferrin and α -synuclein in Parkinson's disease and multiple system atrophy.	J Biochem. 2016 Aug;160(2):87-91	Original Article
73	Yamaguchi S, Takahashi M, Fujii T, et al.	高齢者歯科治療部	Contribution of each masticatory muscle to the bite force determined by MRI using a novel metal-free bite force gauge and an index of total muscle activity.	J Magn Reson Imaging 2016 Oct;44(4):804-13	Original Article
74	Nakazawa T, Sato K, Nishiguchi KM, et al.	眼科	Topical ocular dexamethasone decreases intraocular pressure and body weight in rats.	J Negat Results Biomed 2016 Mar 12;15:5.	Original Article
75	Hirano T, Kikuchi T, Tode N, et al.	呼吸器内科	OX40 ligand newly expressed on bronchiolar progenitors mediates infection and further exacerbates pneumonia.	EMBO Mol Med 2016 Apr 1;8(4):422-36.	Original Article

76	Arai H, Furukawa K, Ishiki A, et al.	老年科	Introduction and overview of the special issue "Brain imaging and aging": The new era of neuroimaging in aging research.	Ageing Res Rev. 2016 Sep;30:1-3	Original Article
77	Sasano, Hironobu, Yamazaki, Yuto, Nakamura, Yasuhiro, et al.	病理部	Comparison of the methods for measuring the Ki-67 labeling index in adrenocortical carcinoma: manual versus digital image analysis.	Hum Pathol 2016 Jul;53:41-50	Original Article
78	Ishioka, Chikashi, Kobayashi, Akihiro, Takahashi, Masanobu, et al.	腫瘍内科	Attainment of a Long-term Favorable Outcome by Sunitinib Treatment for Pancreatic Neuroendocrine Tumor and Renal Cell Carcinoma Associated with von Hippel-Lindau Disease.	Intern Med2016;55(6):629-34	Original Article
79	Nakano T, Ujiie N, Kamei T, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Thoracoscopic esophagectomy for esophageal cancer with situs inversus totalis: a case report and literature review.	General Thoracic Cardiovascular Surgery 2016 Jun;64(6):359-62	Original Article
80	Mori, Etsuro, Yasaka, Masahiro, Minematsu, Kazuo, et al.	高次脳機能障害科	Design and Rationale of the RELAXED (Recurrent Embolism Lessened by rivaroxaban, an Anti-Xa agent, of Early Dosing for acute ischemic stroke and transient ischemic attack with atrial fibrillation) Study.	J Stroke Cerebrovasc Dis2016 Jun;25(6):1342-8	Original Article
81	Naitoh T, Chiba H, Endo K, et al.	胃腸外科	A case of a ruptured submucosal aneurysm of the small intestine identified using double-balloon enteroscopy	Clin J Gastroenterol.2016 Apr;9(2):49-54	Original Article
82	Aoki M, Ichiyanagi N, Fujimori K, et al.	神経内科	Establishment of In Vitro FUS-Associated Familial Amyotrophic Lateral Sclerosis Model Using Human Induced Pluripotent Stem Cells.	Stem Cell Reports 2016 Apr 12;6(4):496-510	Original Article
83	Yoshimichi Imai, Ruta Kitanishi, Yoshikatsu Saiki, et al.	形成外科	Distraction osteogenesis of the sternum for thoracic expansion in a severe case of jeune syndrome : a preliminary report.	J. of plastic surgery and Hand Surgery2016 Jun;50(3):180-3	Original Article
84	Nakazawa T, Tsuda S, Tanaka Y, et al.	眼科	Real-time imaging of RGC death with a cell-impermeable nucleic acid dyeing compound after optic nerve crush in a murine model.	Exp Eye Res 2016 May;146:179-88	Original Article
85	Arai H, Hashimoto M, Inoue T, et al.	老年科	Differential effects of docosahexaenoic and arachidonic acid on fatty acid composition and myosin heavy chain-related genes of slow- and fast-twitch skeletal muscle tissues.	Mol Cell Biochem. 2016 Apr;415(1-2):169-81	Original Article
86	Kaiho, Yasuhiro, Mitsuzuka, Koji, Yamada, Shigeyuki, et al.	泌尿器科	Urinary straining contributes to inguinal hernia after radical retropubic prostatectomy.	Int J Urol2016 Jun;23(6):478-83	Original Article
87	Sugiura H, Hashimoto Y, Togo S, et al.	呼吸器内科	27-Hydroxycholesterol accelerates cellular senescence in human lung resident cells.	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol2016 Jun 1;310(11):L1028-41	Original Article

88	Ishioka, Chikashi, Imai, Hiroo, Komine, Keigo, et al.	腫瘍内科	Efficacy and Safety Assessment of Paclitaxel in Patients with Docetaxel-Resistant Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Chemotherapy 2016;61(5):262-8	Original Article
89	Aoki M, Akaishi T, Nakashima I, et al.	神経内科	Lesion length of optic neuritis impacts visual prognosis in neuromyelitis optica.	J Neuroimmunol 2016 Apr 15;293:28-33	Original Article
90	Egusa H, Takagi R, Ishimaru J, et al.	咬合修復科	Bioengineering a 3D integumentary organ system from iPS cells using an in vivo transplantation model.	Science Advances 2016 Apr 1;2(4):e1500887	Original Article
91	Mori, Etsuro, Odagiri, Hayato, Baba, Toru, et al.	高次脳機能障害科	On the Utility of MIBG SPECT/CT in Evaluating Cardiac Sympathetic Dysfunction in Lewy Body Diseases.	PLoS One 2016 Apr 7;11(4):e0152746	Original Article
92	Sasano, Hironobu, Ishida, Kazuyuki, Moriya, Takuya, et al.	病理部	Immunohistochemical analysis of steroidogenic enzymes in ovarian-type stroma of pancreatic mucinous cystic neoplasms: Comparative study of subepithelial stromal cells in intraductal papillary mucinous neoplasms of the	Pathol Int 2016 May;66(5):281-7	Original Article
93	Itoi, Eiji, Matsuzawa, Gaku, Sano, Hirotsuka, et al.	整形外科	Patient trends in orthopedic traumas and related disorders after tsunami caused by the Great East Japan Earthquake: An experience in the primary referral medical center.	J Orthop Sci 2016 Jul;21(4):507-511	Original Article
94	Ishioka, Chikashi, Tanakaya, Kohji, Yamaguchi, Tatsuro, et al.	腫瘍内科	Causes of Cancer Death Among First-Degree Relatives in Japanese Families with Lynch Syndrome.	Anticancer Res 2016 Apr;36(4):1985-9	Original Article
95	Une K, Waragai M, Adame A, et al.	老年科	Possible Involvement of Adiponectin, the Anti-Diabetes Molecule, in the Pathogenesis of Alzheimer's Disease.	J Alzheimers Dis. 2016 Apr 8;52(4):1453-9	Original Article
96	Harigae H, Sakurai K, Fujiwara T, et al.	血液・免疫科	Inhibition of human primary megakaryocyte differentiation by anagrelide: a gene expression profiling analysis.	Int J Hematol. 2016 Aug;104(2):190-9	Original Article
97	Sasano, Hironobu, Kubota-Nakayama, Fumie, Nakamura, Yasuhiro, et al.	病理部	Expression of steroidogenic enzymes and their transcription factors in cortisol-producing adrenocortical adenomas: immunohistochemical analysis and quantitative real-time polymerase chain reaction studies.	Hum Pathol 2016 Aug;54:165-73	Original Article
98	Sasano, Hironobu, Matsubara, Fumiaki, Katabami, Takuyuki, et al.	病理部	Immunohistochemical analysis of insulin-like growth factor 1 and its receptor in sporadic schwannoma/peripheral nerve sheath tumour.	J Int Med Res 2016 Jun;44(3):662-72	Original Article
99	Ichinose M, Foo J, Landis SH, et al.	呼吸器内科	Continuing to confront COPD international patient survey : Ecomic impact of COPD in 12 countries.	PLoS One 2016 Apr 19;11(4):e0152618	Original Article

100	Watanabe, Mika, Ogawa, Yoshikazu, Tominaga, Teiji	病理部	Intraparenchymal infiltration of Rathke's cleft cysts manifesting as severe neurological deficits and hypopituitarism: 2 case reports.	BMC Res Notes2016 Apr 19;9:225	Original Article
101	Nakazawa T, Omodaka K, Takahashi S, et al.	眼科	Clinical Factors Associated with Lamina Cribrosa Thickness in Patients with Glaucoma, as Measured with Swept Source Optical Coherence Tomography.	PLoS One2016 Apr 21;11(4):e0153707	Original Article
102	Hidaka H, Daisuke Yamauchi, Fumiyoshi Fujishima, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Osteoid osteoma of the temporal bone manifesting as first bite syndrome and a meta-analysis combined with osteoblastoma.	European archives of oto-rhino-laryngology2017 Feb;274(2):607-616	Original Article
103	Ichinose M	呼吸器内科	Assessment of the need for nitric oxide measurement in patients with respiratory diseases.	Respir Investig2016 May;54(3):137-8	Others
104	Hirano T, Yamada M, Igusa R, et al.	呼吸器内科	Two case of endobronchial aspergilloma complicated with primary and metastatic lung cancer : A case report and literature review.	Respir Investig 2016 May;54(3):211-5	Original Article
105	Aoki M, Oshima R, Hasegawa T, et al.	神経内科	ESCRT-0 dysfunction compromises autophagic degradation of protein aggregates and facilitates ER stress-mediated neurodegeneration via apoptotic and necroptotic pathways.	Sci Rep 2016 Apr 26;6:24997	Original Article
106	Yamaguchi, S, Okada, C, Watanabe, Y, et al.	高齢者歯科治療部	Evaluation of masticatory activity during unilateral single tooth clenching using muscle functional magnetic resonance imaging.	J Oral Rehabil2016 Aug;43(8):583-90	Original Article
107	Ishii, Tomonori, Koga, Tomohiro, Okada, Akitomo, et al.	血液・免疫科	Prognostic Factors Toward Clinically Relevant Radiographic Progression in Patients With Rheumatoid Arthritis in Clinical Practice: A Japanese Multicenter, Prospective Longitudinal Cohort Study for Achieving a Treat-to-Target Strategy.	Medicine (Baltimore)2016 Apr;95(17):e3476	Original Article
108	Itoi, Eiji, Chiba, Daisuke, Mori, Yu, et al.	整形外科	Prediction of pathological fracture of the femoral shaft with an osteolytic lesion using a computed tomography-based nonlinear three-dimensional finite element method.	J Orthop Sci2016 Jul;21(4):530-538	Original Article
109	Ichinose M, Fukuchi Y, Tatsumi K, et al.	呼吸器内科	Prevention of COPD exacebation by lysozyme : a double-blind, randomized, placebo-controlled study.	Int J of COPD.2016 Apr 21;11:831-8	Original Article
110	Oizumi T, Kiyama T, Tsuchiya M, et al.	歯科顎口腔外科	Phosphonocarboxylates Can Protect Mice against the Inflammatory and Necrotic Side Effects of Nitrogen-Containing Bisphosphonates by Inhibiting Their Entry into Cells via Phosphate Transporters.	Biol Pharm Bull 2016;39(5):712-20	Original Article
111	Shima K, Nemoto W, Tsuchiya M, et al.	矯正歯科	The Bisphosphonates Clodronate and Etidronate Exert Analgesic Effects by Acting on Glutamate- and/or ATP-Related Pain Transmission Pathways.	Biol Pharm Bull2016;39(5):770-7	Original Article

112	Mori, Etsuro, Baba, Toru, Kanno, Shigenori, et al.	高次脳機能障害科	Callosal Disconnection Syndrome Associated with Relapsing Polychondritis.	Intern Med2016;55(9):1191-3	Original Article
113	Itoi, Eiji, Hatta, Taku, Giambini, Hugo, et al.	整形外科	Quantified Mechanical Properties of the Deltoid Muscle Using the Shear Wave Elastography: Potential Implications for Reverse Shoulder Arthroplasty.	PLoS One2016 May 6;11(5):e0155102	Original Article
114	Mori, Etsuro, Ito, Ayahito, Fujii, Toshikatsu, et al.	高次脳機能障害科	Gender differences in ventromedial prefrontal cortex activity associated with valuation of faces.	Neuroscience 2016 Jul 22;328:194-200	Original Article
115	Itoi, Eiji, Hatta, Taku, Giambini, Hugo, et al.	整形外科	Comparison of Passive Stiffness Changes in the Supraspinatus Muscle After Double-Row and Knotless Transosseous-Equivalent Rotator Cuff Repair Techniques: A Cadaveric Study.	Arthroscopy2016 Oct;32(10):1973-1981	Original Article
116	Nakazawa T, Shiga Y, Kunikata H, et al.	眼科	Optic Nerve Head Blood Flow, as Measured by Laser Speckle Flowgraphy, Is Significantly Reduced in Preperimetric Glaucoma.	Curr Eye Res2016 Nov;41(11):1447-1453	Original Article
117	Takeda K, Kanai T, Kadoya N, et al.	放射線治療科	Evaluation of four-dimensional computed tomography (4D-CT)-based pulmonary ventilation: The high correlation between 4D-CT ventilation and 81mKr-planar images was found.	Radiother Oncol 2016 Jun;119(3):444-8	Original Article
118	Mori, Etsuro, Mamiya, Yasuyuki, Nishio, Yoshiyuki, et al.	高次脳機能障害科	The Pareidolia Test: A Simple Neuropsychological Test Measuring Visual Hallucination-Like Illusions.	PLoS One2016 May 12;11(5):e0154713	Original Article
119	Sasano, Hironobu, Miki, Yasuhiro, Hata, Shuko, et al.	病理部	Steroid and xenobiotic receptor-mediated effects of bisphenol A on human osteoblasts.	Life Sci 2016 Jun 15;155:29-35	Original Article
120	Niizuma K, Rashad S, Fujimura M, et al.	脳神経外科	Long-term follow-up of pediatric moyamoya disease treated by combined direct-indirect revascularization surgery: single institute experience with surgical and perioperative management.	Neurosurg Rev.2016 Oct;39(4):615-23	Original Article
121	Sasano, Hironobu, Katsushima, Hiroki, Fukuhara, Noriko, et al.	病理部	Non-biased and complete case registration of lymphoid leukemia and lymphoma for five years: a first representative index of Japan from an epidemiologically stable Miyagi Prefecture.	Leuk Lymphoma 2017 Jan;58(1):80-88	Original Article
122	Ito, Sadayoshi, Fushima, Tomofumi, Sekimoto, Akiyo, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Reduced Uterine Perfusion Pressure (RUPP) Model of Preeclampsia in Mice.	PLoS One 2016 May 17;11(5):e0155426	Original Article
123	Itoi, Eiji, Sano, Hiroataka, Tokunaga, Masako, et al.	整形外科	Comparison of fixation properties between coil-type and screw-type anchors for rotator cuff repair: A virtual pullout testing using 3-dimensional finite element method.	J Orthop Sci2016 Jul;21(4):452-457	Original Article
124	Sasano, Hironobu, Zhang, Lian, Yao, Min, et al.	病理部	Primary Ewing sarcoma/primitive neuroectodermal tumor in the adrenal gland.	APMIS2016 Jul;124(7):624-629	Case report

125	Ankyu S, Nakamura K, Harada A, et al.	咬合修復科	Fatigue analysis of computer-aided design/computer-aided manufacturing resin-based composite vs. lithium disilicate glass-ceramic.	Eur J Oral Sci.2016 Aug;124(4):387-95.	Original Article
126	Hidaka H, Yasuko Tatewaki, Maya Sakamoto, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Transient Hearing Loss and Objective Tinnitus Induced by Mouth Opening: A Rare Connection Between the Temporomandibular Joint and Middle Ear Space.	Otology & neurotology 2016 Aug;37(7):e217-21	Original Article
127	Nakazawa T, Hashimoto K, Kunikata H, et al.	眼科	The relationship between advanced glycation end products and ocular circulation in type 2 diabetes.	J Diabetes Complications 2016 Sep-Oct;30(7):1371-7	Original Article
128	Watanabe, Mika, Ogita, Shogo, Endo, Toshiki, et al.	病理部	Nasal cavity epithelioid hemangioendothelioma invading the anterior skull base.	Surg Neurol Int2016 May 6;7:53	Original Article
129	Ichinose M, Mullerova H, HLandis S, et al.	呼吸器内科	Health behaviors and their correlates among participants in the Continuing to Confront COPD International Patient Survey.	Int J of COPD.2016 Apr 27;11:881-90	Original Article
130	Takeda K, Yamamoto T, Kadoya N, et al.	放射線治療科	Renal atrophy after stereotactic body radiotherapy for renal cell carcinoma.	Radiat Oncol2016 May 26;11:72	Original Article
131	Nakanishi, C, Miyagi, S, Fujio, A, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Successful Case of Somatostatin Analog Stopping Gastrointestinal Bleeding, One of the Most Frequent Complications After Simultaneous Pancreas-kidney Transplantation: A Case Report.	Transplant Proc 2016 Apr;48(3):985-7	Original Article
132	Ito, Sadayoshi, Ogawa, Susumu, Takiguchi, Junko, et al.	腎・高血圧・内分泌科	The Reduction in Urinary Glutamate Excretion Is Responsible for Lowering Urinary pH in Pink Urine Syndrome.	Tohoku J Exp Med2016 Jun;239(2):103-10	Original Article
133	Shimosegawa, Tooru, Fukui, Hiroshi, Saito, Hidetsugu, et al.	消化器内科	Evidence-based clinical practice guidelines for liver cirrhosis 2015.	J Gastroenterol2016 Jul;51(7):629-50	Original Article
134	Aoki M, Ando D, Kobayashi J, et al.	神経内科	Cancer-related Stroke due to Mural Thrombus in the Extracranial Carotid Artery.	Intern Med2016;55(11):1497-9	Original Article
135	Tominaga T, Khalil AF, Iwasaki M, et al.	脳神経外科	Verbal Dominant Memory Impairment and Low Risk for Post-operative Memory Worsening in Both Left and Right Temporal Lobe Epilepsy Associated with Hippocampal Sclerosis.	Neurol Med Chir(Tokyo). 2016 Nov 15;56(11):716-723	Original Article
136	Nakazawa T, Tomiyama Y, Fujita K, et al.	眼科	Measurement of Electroretinograms and Visually Evoked Potentials in Awake Moving Mice.	PLoS One2016 Jun 3;11(6):e0156927	Original Article
137	Harigae H, Onodera K, Fujiwara T, et al.	血液・免疫科	GATA2 regulates dendritic cell differentiation.	Blood2016 Jul 28;128(4):508-18	Original Article

138	Sasano, Hironobu, Iwabuchi, Erina, Miki, Yasuhiro, et al.	病理部	In situ detection of estrogen receptor dimers in breast carcinoma cells in archival materials using proximity ligation assay (PLA).	J Steroid Biochem Mol Biol2017 Jan;165(Pt B):159-169	Original Article
139	Nakazawa T, Hariya T, Tanaka Y, et al.	眼科	Transparent, resilient human amniotic membrane laminates for corneal transplantation.	Biomaterials2016 Sep;101:76-85	Original Article
140	Ishioka, Chikashi, Takahashi, Masanobu, Chiba, Natsuko, et al.	腫瘍内科	OLA1 gene sequencing in patients with BRCA1/2 mutation-negative suspected hereditary breast and ovarian cancer.	Breast Cancer2017 Mar;24(2):336-340	Original Article
141	Takayama, Shin, Iwasaki, Koh	総合地域医療教育支援部	Systematic review of traditional Chinese medicine for geriatrics.	Geriatr Gerontol Int2017 May;17(5):679-688	Original Article
142	Hayashi, Hiroki, Aoki, Shuichi, Mizuma, Masamichi, et al.	肝・胆・膵外科	Surgical anatomy of the right hepatic artery in Rouviere's sulcus evaluated by preoperative multidetector-row CT images.	BMC Surg2016 Jun 8;16(1):40	Original Article
143	Sato H, Oe Y, Hayashi S, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Coagulation Factor Xa and Protease-Activated Receptor 2 as Novel Therapeutic Targets for Diabetic Nephropathy.	Arterioscler Thromb Vasc Biol.2016 Aug;36(8):1525-33	Original Article
144	Tachi M, Kanno E, Tanno H, et al.	形成外科	Reconsider of iodine in wound irrigation:the effect on Pseudomonas aeruginosa biofilm formation.	J Wound Care. 2016 Jun;25(6):335-9	Original Article
145	Sasano, Hironobu, Ito, Kiyoshi, Miki, Yasuhiro, et al.	病理部	In situ androgen and estrogen biosynthesis in endometrial cancer: focus on androgen actions and intratumoral production.	Endocr Relat Cancer2016 Jul;23(7):R323-35	Original Article
146	Mori, Etsuro, Ikeda, Manabu, Nakai, Kenya, et al.	高次脳機能障害科	Increased plasma donepezil concentration improves cognitive function in patients with dementia with Lewy bodies: An exploratory pharmacokinetic/pharmacodynamic analysis in a phase 3 randomized controlled trial.	J Neurol Sci2016 Jul 15;366:184-190	Original Article
147	Arai H, Suzuki H, Matsumoto Y, et al.	老年科	Hippocampal Blood Flow Abnormality Associated With Depressive Symptoms and Cognitive Impairment in Patients With Chronic Heart Failure.	Circ J. 2016 Jul 25;80(8):1773-80	Original Article
148	Tachi M, Takagi N, Kawakami K, et al.	形成外科	IL-17A promotes neutrophilic inflammation and disturbs acute wound healing in skin.	Exp Dermatol2017 Feb;26(2):137-144	Original Article
149	Saiki, Yoshikatsu, Masuda, Munetaka, Kuwano, Hiroyuki, et al.	心臓血管外科	Erratum to: Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2013 : Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg2016 Aug;64(8):496-500.	Others

150	Nakazawa T, Yukita M, Omodaka K, et al.	眼科	Brimonidine Enhances the Electrophysiological Response of Retinal Ganglion Cells through the Trk-MAPK/ERK and PI3K Pathways in Axotomized Eyes.	Curr Eye Res2017 Jan;42(1):125-133	Original Article
151	Nakanishi, C, Tokodai, K, Kawagishi, N, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Poor Long-Term Outcomes of Adult Liver Transplantation Involving Elderly Living Donors.	Transplant Proc2016 May;48(4):1130-3	Original Article
152	Nakanishi, C, Tokodai, K, Kawagishi, N, et al.	移植・再建・内視鏡外科	The Significance of Screening for HLA Antibodies in the Long-Term Follow-up of Pediatric Liver Transplant Recipients.	Transplant Proc 2016 May;48(4):1139-41	Original Article
153	Nakanishi, C, Miyagi, S, Kawagishi, N, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Relationship Between Bile Duct Reconstruction and Complications in Living Donor Liver Transplantation.	Transplant Proc2016 May;48(4):1166-9	Original Article
154	Shimizu K, Miyagi S, Miyazawa K	移植・再建・内視鏡外科	Resveratrol Prevents Warm Ischemia - Reperfusion Injury in LiverGrafts From Non Heart-Beating Doner Rats.	Transplantation Proceedings2016 May;48(4):1221-5	Original Article
155	Ito, Sadayoshi, Mishima, Eikan, Nishimiya, Kensuke, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Serious Hypocalcemia After Withdrawal of Vitamin D Analog in Bedridden Nonagenarians with Previous Thyroidectomy: A Report of Two Cases.	J Am Geriatr Soc2016 Jun;64(6):1374-6	Letter
156	Aoki M, Tateyama M, Shibuya S, et al.	神経内科	Pseudo-perifascicular atrophy in the healing phase of Jo-1 antisynthetase syndrome.	Neuromuscul Disord2016 Aug;26(8):521-2	Original Article
157	Ishioka, Chikashi, Shiono, Masatoshi, Takahashi, Shin, et al.	腫瘍内科	Current situation regarding central venous port implantation procedures and complications: a questionnaire-based survey of 11,693 implantations in Japan.	Int J Clin Oncol2016 Dec;21(6):1172-1182	Original Article
158	Shimosegawa, Tooru, Iwakiri, Katsuhiko, Kinoshita, Yoshikazu, et al.	消化器内科	Evidence-based clinical practice guidelines for gastroesophageal reflux disease 2015.	J Gastroenterol2016 6 Aug;51(8):751-67	Original Article
159	Watanabe, Mika, Shoji, Takuhiro, Saito, Ryuta, et al.	病理部	Sarcoma-like tumor originating from oligodendroglioma.	Brain Tumor Pathol2016 Oct;33(4):255-260	Original Article
160	Sasano, Hironobu, Onodera, Yoshiaki, Takagi, Kiyoshi, et al.	病理部	TACC2 (transforming acidic coiled-coil protein 2) in breast carcinoma as a potent prognostic predictor associated with cell proliferation.	Cancer Med2016 Aug;5(8):1973-82	Original Article
161	Mori S, Kouketsu A, Nogami S, et al.	歯科顎口腔外科	Clinical evaluations of autologous fibrin glue and polyglycolic acid sheets as oral surgical wound coverings after partial glossectomy	J Craniomaxillofac Surg 2016 Aug;44(8):964-8	Original Article

162	Aoki M, Aizawa H, Hideyama T, et al.	神経内科	Deficient RNA-editing enzyme ADAR2 in an amyotrophic lateral sclerosis patient with a FUS(P525L) mutation.	J Clin Neurosci 2016 Oct;32:128-9.	Original Article
163	Sasano, Hironobu, Azmahani, Abdullah, Nakamura, Yasuhiro, et al.	病理部	ERbeta in Merkel cell carcinoma: its possible roles in pathogenesis.	Hum Pathol 2016 Oct;56:128-33	Original Article
164	Sugino, Shigekazu, Postula, Marek, Janicki, Piotr Kazimierz, et al.	手術部	Targeted deep resequencing of ALOX5 and ALOX5AP in patients with diabetes and association of rare variants with leukotriene pathways.	Exp Ther Med 2016 Jul;12(1):415-421	Original Article
165	Harigae H, Takahashi N, Kameoka J, et al.	血液・免疫科	Causes of macrocytic anemia among 628 patients: mean corpuscular volumes of 114 and 130 fL as critical markers for categorization.	International Journal of Hematology 2016 Sep;104(3):344-57	Original Article
166	Nakazawa T, Yasuda M, Tanaka Y, et al.	眼科	Transcriptome profiling of the rat retina after optic nerve transection.	Sci Rep 2016 Jun 29;6:28736	Original Article
167	Watanabe K, Higashi D, Katsuno H, et al.	胃腸外科	Current State of and Problems Related to Cancer of the Intestinal Tract Associated with Crohn's Disease in Japan.	Anticancer Research 2016 Jul;36(7):3761-6	Original Article
168	Mori, E, Narita, W, Nishio, Y, et al.	高次脳機能障害科	High-Convexity Tightness Predicts the Shunt Response in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus.	AJNR Am J Neuroradiol 2016 Jun 30. [Epub ahead of print]	Original Article
169	Saiki, Yoshikatsu, Ono, Minoru, Sawa, Yoshiki, et al.	心臓血管外科	Japanese Multicenter Outcomes With the HeartMate II Left Ventricular Assist Device in Patients With Small Body Surface Area.	Circ J 2016 Aug 25;80(9):1931-6	Original Article
170	Ishii T, Kuriyama S, Yaegashi N, et al.	総合地域医療教育支援部	The Tohoku Medical Megabank Project: Design and Mission.	Journal of Epidemiology 2016 Sep 5;26(9):493-511	Original Article
171	Saiki, Yoshikatsu, Akiyama, Masatoshi, Hayatsu, Yukihiro, et al.	心臓血管外科	Graft placement with an omental flap for ruptured infective common iliac aneurysm in a patient with a continuous flow left ventricular assist device: alternative surgical approach avoiding driveline injury and pathogen identification by 16S ribosomal DNA gene analysis.	J Artif Organs 2016 Dec;19(4):383-386	Original Article
172	Itoi, Eiji, Chiba, Shinpei, Anada, Takahisa, et al.	整形外科	Effect of resorption rate and osteoconductivity of biodegradable calcium phosphate materials on the acquisition of natural bone strength in the repaired bone.	J Biomed Mater Res A 2016 Nov;104(11):2833-42	Original Article
173	Niihori T, Masamune A, Nakano E, et al.	遺伝科	Variants in the UBR1 gene are not associated with chronic pancreatitis in Japan.	Pancreatology 2016 Sep-Oct;16(5):814-8	Original Article

174	Tominaga T, Sato S, Iwasaki M, et al.	脳神経外科	T2 relaxometry improves detection of non-sclerotic epileptogenic hippocampus.	Epilepsy Res.2016 Oct;126:1-9	Original Article
175	Saito R, Kawaguchi T, Sonoda Y, et al.	脳神経外科	Impact of gross total resection in patients with WHO grade III glioma harboring the IDH 1/2 mutation without the 1p/19q co-deletion.	J Neurooncol.2016 Sep;129(3):505-514	Original Article
176	Mori, Etsuro, Kim, Min-Ji, Han, Chang-Wan, et al.	高次脳機能障害科	Physical Exercise with Multicomponent Cognitive Intervention for Older Adults with Alzheimer's Disease: A 6-Month Randomized Controlled Trial.	Dement Geriatr Cogn Dis Extra 2016 Jun 10;6(2):222-32	Original Article
177	Takeda K, Takahashi N, Yamamoto T, et al.	放射線治療科	Metabolic tumor volume on FDG-PET/CT is a possible prognostic factor for Stage I lung cancer patients treated with stereotactic body radiation therapy: a retrospective clinical study.	J Radiat Res 2016 Nov;57(6):655-661	Original Article
178	Aoki M, Shijo T, Nishiyama S, et al.	神経内科	A mismatch between MRI lesions and SPECT hypoperfusion in tacrolimus-related encephalopathy.	J Neurol Sci 2016 Aug 15;367:308-10	Case report
179	Nogami S, Yamauchi K, Martinez de la Cruz G, et al.	歯科顎口腔外科	Timed-release system for periosteal expansion osteogenesis using NiTi mesh and absorbable material in the rabbit calvaria.	J Craniomaxillofac Surg 2016 Sep;44(9):1366-72	Original Article
180	Arai H, Harada R, Furumoto S, et al.	老年科	Characterization of the radiolabeled metabolite of tau PET tracer 18F-THK5351.	European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, Springer. 2016 Nov;43(12):2211-2218	Original Article
181	Aoki M, Kikuchi A, Takeda A, et al.	神経内科	Brain Metabolic Changes of Cervical Dystonia with Spinocerebellar Ataxia Type 1 after Botulinum Toxin Therapy.	Intern Med 2016;55(14):1919-22	Original Article
182	Ishioka, Chikashi, Zhang, Xiaofei, Shimodaira, Hideki, et al.	腫瘍内科	CpG island methylator phenotype is associated with the efficacy of sequential oxaliplatin- and irinotecan-based chemotherapy and EGFR-related gene mutation in Japanese patients with metastatic colorectal cancer.	Int J Clin Oncol 2016 Dec;21(6):1091-1101	Original Article
183	Aoki M, Hadano S, Mitsui S, et al.	神経内科	Functional links between SQSTM1 and ALS2 in the pathogenesis of ALS: cumulative impact on the protection against mutant SOD1-mediated motor dysfunction in mice.	Hum Mol Genet 2016 Aug 1;25(15):3321-3340	Original Article
184	Niizuma K, Ogawa Y, Mugikura S, et al.	脳神経外科	Ischemic pituitary adenoma apoplexy- Clinical appearance and prognosis after surgical interve.	Clin Neurol Neurosurg.2016 Sep;148:142-6	Original Article
185	Shirato M, Nakamura K, Kanno T, et al.	咬合修復科	Antimicrobial activity of hydroxyl radicals generated by hydrogen peroxide photolysis against Streptococcus mutans biofilm.	Int J Antimicrob Agents,2016 Oct;48(4):373-80	Original Article

186	Akamatsu D, Goto H, Kamei T	移植・再建・内視鏡外科	Efficacy of iliac inflow repair in Patients with concomittant iliac and Superficial femorul artery occlusive disease.	Asian Journal of Surgery 2016 Jul 19. pii: S1015-9584(16)30176-2	Original Article
187	Nakazawa T, Kokubun T, Kunikata H, et al.	眼科	Quantification of the filtering bleb's structure with anterior segment optical coherence tomography.	Clin Experiment Ophthalmol 2016 Aug;44(6):446-54	Original Article
188	Sasaki H, Tanaka H, Wada M, et al.	小児外科	Analysis of the prognostic factors of long-term native liver survival in survivors of biliary atresia.	Pediatr Surg Int. 2016 Sep;32(9):839-43	Original Article
189	Watanabe, Mika, Endo, Toshiki, Narisawa, Ayumi, et al.	病理部	A study of prognostic factors in 45 cases of atypical meningioma.	Acta Neurochir (Wien) 2016 Sep;158(9):1661-7	Original Article
190	Asano N, Konishi H, Imatani A, et al.	消化器内科	Notch1 directly induced CD133 expression in human diffuse type gastric cancers.	Oncotarget 2016 Aug 30;7(35):56598-56607	Original Article
191	Ishii T, Nakayama M, Abe M, et al.	総合地域医療教育支援部	Development and Verification of a Mobile Shelter Assessment System "Rapid Assessment System of Evacuation Center Condition Featuring Gonryo and Miyagi(RASECC-GM)" for Major Disasters.	Prehosp Disaster Med, 2016 Oct;31(5):539-46.	Original Article
192	Saiki, Yoshikatsu, Suzuki, Tomoyuki, Saiki, Yuriko, et al.	心臓血管外科	Atrial natriuretic peptide induces peroxisome proliferator activated receptor gamma during cardiac ischemia-reperfusion in swine heart.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2017 Feb;65(2):85-95	Original Article
193	Takada T, Mikami A, Kitamura N, et al.	呼吸器内科	Efficacy and Safety of Long-term Sirolimus Therapy for Asian Patients with Lymphangioleiomyomatosis.	Ann Am Thorac Soc 2016 Nov;13(11):1912-1922.	Original Article
194	Aoki M, Kozu K, Suzuki H, et al.	神経内科	Multiple sclerosis lesion in the medulla oblongata in a patient with takotsubo cardiomyopathy.	Int J Cardiol 2016 Nov 1;222:980-1	Case report
195	Itoi, Eiji, Aizawa, Toshimi, Tanaka, Yasuhisa, et al.	整形外科	New diagnostic support tool for patients with leg symptoms caused by lumbar spinal stenosis and lumbar intervertebral disc herniation: A self-administered, self-reported history questionnaire.	J Orthop Sci 2016 Sep;21(5):579-85	Original Article
196	Sugino, Shigekazu, Postula, Marek, Janicki, Piotr K, et al.	手術部	Association of frequent genetic variants in platelet activation pathway genes with large-vessel ischemic stroke in Polish population.	Platelets 2017 Jan;28(1):66-73	Original Article
197	Mori, Etsuro, Kazui, Hiroaki, Yoshiyama, Kenji, et al.	高次脳機能障害科	Differences of Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia in Disease Severity in Four Major Dementias.	PLoS One 2016 Aug 18;11(8):e0161092	Original Article
198	Mori, Etsuro, Ikeda, Manabu, Nakagawa, Masaki, et al.	高次脳機能障害科	Pretreatment Cognitive Profile Likely to Benefit from Donepezil Treatment in Dementia with Lewy Bodies: Pooled Analyses of Two Randomized Controlled Trials.	Dement Geriatr Cogn Disord 2016;42(1-2):58-68	Original Article

199	Aoki M, Nishiyama A, Warita H, et al.	神経内科	Prominent sensory involvement in a case of familial amyotrophic lateral sclerosis carrying the L8V SOD1 mutation.	Clin Nuerol neurosurg 2016 Nov;150:194-196	Original Article
200	Saiki, Yoshikatsu, Takahara, Shingo, Kanda, Keisuke, et al.	心臓血管外科	Modification of a Standard Thoracoabdominal Incision to Preserve Collaterals to Adamkiewicz Artery.	Ann Thorac Surg2016 Sep;102(3):e241-e243	Original Article
201	Niizuma K, Sakata H, Fujimura M, et al.	脳神経外科	Development of Abnormal Hemispheric Vascular Networks Mimicking Cerebral Proliferative Angiopathy in a Child Originally Diagnosed with Deep-Seated Arteriovenous Fistula.	J Stroke Cerebrovasc Dis.2016 Oct;25(10):e200-4	Original Article
202	Nakazawa T, Takada N, Omodaka K, et al.	眼科	OCT-Based Quantification and Classification of Optic Disc Structure in Glaucoma Patients.	PLoS One Aug 24;11(8):e0160226	Original Article
203	Takagi, K, Hasegawa, K, Tagawa, M, et al.	病理部	Anti-tumor immunity elicited by direct intratumoral administration of a recombinant adenovirus expressing either IL-28A/IFN-lambda2 or IL-29/IFN-lambda1.	Cancer Gene Ther2016 Aug;23(8):266-77	Original Article
204	Yamashita S, Fujii S, Kamiyama Y, et al	泌尿器科	Impact of tissue sealing sheet on erectile dysfunction in a rat model of nerve-sparing radical prostatectomy.	J Sex Med.2016 Oct;13(10):1448-54	Original Article
205	Kojima I, Sakamoto M, Iikubo M, et al.	口腔診断科	Diagnostic performance of MR imaging of three major salivary glands for Sj?gren's syndrome.	Oral Diseases2017 Jan;23(1):84-90	Original Article
206	Shiro Mori, Tetsuya Kodama, Daisuke Matsuki, et al.	歯科顎口腔外科	New concept for the prevention and treatment of metastatic lymph nodes using chemotherapy administered via the lymphatic network.	Scientific Reports2016 Sep 1;6:32506	Original Article
207	Takefumi Oizumi, Kouji Yamaguchi, Koichiro Sato, et al.	歯科顎口腔外科	A Strategy Against the Osteonecrosis of the Jaw Associated with Nitrogen-Containing Bisphosphonates (N-BPs) : Attempts to Replace N-BPs with the Non-N-BP Etidronate.	Biol Pharm Bull 2016;39(9):1549-54	Original Article
208	Itoi, Eiji, Hatta, Taku, Giambini, Hugo, et al.	整形外科	Biomechanical Effect of Margin Convergence Techniques: Quantitative Assessment of Supraspinatus Muscle Stiffness.	PLoS One2016 Sep 1;11(9):e0162110	Original Article
209	Satoh F, Murakami K, Nakamura Y, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Pancreatic solitary fibrous tumor causing ectopic adrenocorticotrophic hormone syndrome.	Mol Cell Endocrinol2016 Nov 15;436:268-73	Original Article
210	Saiki, Yoshikatsu, Masuda, Munetaka, Okumura, Meinoshin, et al.	心臓血管外科	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2014 : Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg2016 Nov;64(11):665-697	Original Article
211	Satoh F, Nishikawa T, Omura M, et al.	腎・高血圧・内分泌科兼務	Calibration and evaluation of routine methods by serum certified reference material for aldosterone measurement in blood.	Endocr J2016 Dec 30;63(12):1065-1080	Original Article

212	Takayama S, Kojima T, Mizukami K, et al.	総合地域医療教育支援部 漢方内科	Screening Tool for Older Persons' Appropriate Prescriptions for Japanese: Report of the Japan Geriatrics Society Working Group on "Guidelines for medical treatment and its safety in the elderly".	Geriatr Gerontol Int. 2016 Sep;16(9):983-1001	Original Article
213	Numasaki M, Tsukamoto H, Tomioaka Y, et al.	老年科	A heterodimeric cytokine, consisting of IL-17A and IL-17F, promotes migration and Capillary-like tube formation of human cascular endothelial cells.	Tohoku J Exp. Med.2016 Sep;240(1):47-56	Original Article
214	Makiguchi T, Yamada M, Yoshioka Y, et al.	呼吸器内科	Serum extracellular vesicular miR-21-5p is a predictor of the prognosis in idiopathic pulmonary fibrosis.	Respir Res.2016 Sep 5;17(1):110	Original Article
215	Keiko Matsui, Naofumi Kanda, Tadashi Kawai, et al.	歯科顎口腔外科	Implantation of octacalcium phosphate collagen composites (OCP/Col) after extraction of canine deciduous teeth achieved undisturbed permanent tooth eruption.	Archives of Oral Biolog 2016 Dec;72:179-186	Original Article
216	Tominaga T, Abe T, Kawaguchi T, et al.	脳神経外科	[A case of Hydrocephalus in Listeria Meningitis Treated by Endoscopic Third Ventriculostomy].	No Shinkei Geka.2016 Sep;44(9):761-6	Original Article
217	Itoi, Eiji, Itoigawa, Yoshiaki, Hooke, Alexander W, et al.	整形外科	Repairing the Capsule to the Transferred Coracoid Preserves External Rotation in the Modified Latarjet Procedure.	J Bone Joint Surg Am2016 Sep 7;98(17):1484-9	Original Article
218	Kaiho Y, Yamashita S, Ito A, et al	泌尿器科	Phosphodiesterase type 5 inhibitor administered immediately after radical prostatectomy temporarily increases the need for incontinence pads, but improves final continence status.	Investig Clin Urol.2016 Sep;57(5):357-63	Original Article
219	Nakazawa T, Iwasaki K, Takamura Y, et al.	眼科	Comparing Trabeculectomy Outcomes between First and Second Operated Eyes: A Multicenter Study.	PLoS One2016 Sep 13;11(9):e0162569	Original Article
220	Niizuma K, Sugiyama S, Sato K, et al.	脳神経外科	Blood Flow Into Basilar Tip Aneurysms: A Predictor for Recanalization After Coil Embolization.	Stroke.2016 Oct;47(10):2541-7	Original Article
221	Takagi, Kiyoshi, Minemura, Hiroyuki, Sato, Ai, et al.	病理部	CITED2 in breast carcinoma as a potent prognostic predictor associated with proliferation, migration and chemoresistance.	Cancer Sci2016 Dec;107(12):1898-1908	Original Article
222	Tominaga T, Iwasaki M, Jin K, et al.	脳神経外科	Non-invasive Evaluation for Epilepsy Surgery.	Neurol Med Chir(Tokyo).2016 Oct 15;56(10):632-640	Original Article
223	Hitoshi Kuroda, Hitoshi Sugawara, Akira Ishii , et al.	総合地域医療教育支援部	Nocardia Intramuscular Abscess in an Elderly Patient.	Intern Med2016;55(18):2743-4	Original Article

224	Hideo Harigae, Tsuyoshi Fujita, Satoshi Ichikawa, et al.	血液・免疫科	Primary AL amyloidosis presenting with systemic lymphadenopathy with calcification.	Int J Hematol.2016 Dec;104(6):641-643	Case report
225	Naitoh T, Haruta H, Kasama K, et al.	胃腸外科	Long-Term Outcomes of Bariatric and Metabolic Surgery in Japan: Results of a Multi-Institutional Survey.	Obes Surg 2017 Mar;27(3):754-762	Original Article
226	Yamada M, Ueno T, Ikeda T, et al.	咬合修復科	Novel antioxidant capability of titanium induced by UV light treatment.	Biomaterials, 2016 Nov;108:177-86	Original Article
227	Saiki, Yoshikatsu, Kanda, Keisuke, Adachi, Osamu, et al.	心臓血管外科	Oxygenation of the cerebrospinal fluid with artificial cerebrospinal fluid can ameliorate a spinal cord ischemic injury in a rabbit model.	J Thorac Cardiovasc Surg 2016 Nov;152(5):1401-1409	Original Article
228	Harigae H, Kanehira M, Fujiwara T, et al.	血液・免疫科	An LPA1/3 Axis Governs Cellular Senescence of Mesenchymal Stromal Cells (MSCs) and Promotes Growth and Vascularization of Multiple Myeloma.	Stem Cells.2017 Mar;35(3):739-753.	Original Article
229	Tominaga T, Ogita S, Endo T, et al.	脳神経外科	Traumatic Spinal Perimedullary Arteriovenous Fistula Induced by a Cervical Glass Stab Injury.	World Neurosurg.2016 Dec;96:610.e9-610.e13	Original Article
230	Niizuma K, Sugiyama SI, Endo H, et al.	脳神経外科	Daughter Sac Formation Related to Blood Inflow Jet in an Intracranial Aneurysm.	World Neurosurg.2016 Dec;96:396-402	Original Article
231	Miyauchi E, Yamane Y, Shiono A, et al.	呼吸器内科	Treatments and outcomes of advanced/recurrent non-small cell lung cancer harboring the EGFR T790M mutation: a retrospective observational study of 141 patients in Japan.	Jpn J Clin Oncol 2016 Dec;46(12):1135-1142	Original Article
232	Niizuma K, Kohama M, Sugiyama S, et al.	脳神経外科	Difference in Transcranial Doppler Velocity and Patient Age between Proximal and Distal Middle Cerebral Artery Vasospasms after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Cerebrovasc Dis Extra. 2016;6(2):32-9.	Original Article
233	Watanabe, Mika, Miyashita, Minoru, Gonda, Kohsuke, et al.	病理部	Quantitative diagnosis of HER2 protein expressing breast cancer by single-particle quantum dot imaging.	Cancer Med 2016 Oct;5(10):2813-2824	Original Article
234	Ishiyama K, Nakamura K, Kanno T, et al.	咬合修復科	Bactericidal action of photodynamic antimicrobial chemotherapy (PACT) with photosensitizers used as plaque disclosing agents against experimental biofilm.	Biocont Sci, 2016;21(3):187-91	Original Article
235	Ito S, Torigoe A, Sato E, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Comparisons of amino acids, body constituents and antioxidative response between long-time HD and normal HD.	Hemodial Int 2016 Oct;20 Suppl 1:S17-S24	Original Article
236	Shishikura Y, Koarai A, Aizawa H, et al.	呼吸器内科	Extracellular ATP is involved in dsRNA-induced MUC5AC production via P2Y2R in human airway epithelium.	Respir Res.2016 Sep 27;17(1):121.	Original Article

237	Takayama S, Ishii S, Takahashi F, et al.	総合地域医療教育支援部 漢方内科	Questionnaire-Based Development of an Educational Program of Traditional Japanese Kampo Medicine.	Tohoku J Exp Med.2016 Oct;240(2):123-130.	Original Article
238	Suzukamo Y, Kotake K, Kai I, et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Social support and substitute voice acquisition on psychological adjustment among patients after laryngectomy.	European Archives of Oto-Rhino-Laryngology2017 Mar;274(3):1557-1565	Original Article
239	Aoki M, Kuroda H, Mukai Y, et al.	神経内科	Tardily accelerated neurologic deterioration in two-step thallium intoxication.	J Clin Neurosci 2016 Dec;34:234-236	Original Article
240	Nakazawa T, Yamanari M, Tsuda S, et al.	眼科	Estimation of Jones matrix, birefringence and entropy using Cloude-Pottier decomposition in polarization-sensitive optical coherence tomography.	Biomed Opt Express2016 Aug 19;7(9):3551-3573	Others
241	Niizuma K, Sugiyama SI, Endo H, et al.	脳神経外科	Computational Hemodynamic Analysis for the Diagnosis of Atherosclerotic Changes in Intracranial Aneurysms: A Proof-of-Concept Study Using 3 Cases Harboring Atherosclerotic and Nonatherosclerotic Aneurysms Simultaneously.	Comput Math Methods Med.2016;2016:2386031	Original Article
242	Ohnuma S, Kobayashi M, Funayama R, et al.	胃腸外科	Wnt- β -catenin signaling regulates ABCC3 (MRP3) transporter expression in colorectal cancer.	Cancer Sci. 2016 Dec;107(12):1776-1784	Original Article
243	Nakazawa T, Akaishi T, Nakashima I, et al.	眼科	Different etiologies and prognoses of optic neuritis in demyelinating diseases.	J Neuroimmunol2016 Oct 15;299:152-157	Original Article
244	Aoki M, Akaishi T, Konno M, et al.	神経内科	Intractable Hiccup in Demyelinating Disease with Anti-Myelin Oligodendrocyte Glycoprotein (MOG) Antibody.	Intern Med 2016;55(19):2905-2906	Original Article
245	Saiki, Yoshikatsu, Ohta, Mineto, Nakanishi, Chikashi, et al.	心臓血管外科	Surgical resection of recurrent extrahepatic hepatocellular carcinoma with tumor thrombus extending into the right atrium under cardiopulmonary bypass: a case report and review of the literature.	Surg Case Rep 2016 Dec;2(1):110	Original Article
246	Tominaga T, Yokosawa M, Yoshida M, et al.	脳神経外科	[A case of Thrombectomy to Treat Acute Occlusion of the Vertebral Artery due to a Fracture of the Lateral Mass of the First Cervical Vertebra].	No Shinkei Geka.2016 Oct;44(10):875-880	Original Article
247	Aoki M, Takai Y, Misu T, et al.	神経内科	Hypoxia-like tissue injury and glial response contribute to Balo concentric lesion development.	Neurology2016 Nov 8;87(19):2000-2005	Original Article
248	Arai H, Harada R, Furumoto S, et al.	老年科	Erratum to: Characterization of the radiolabeled metabolite of tau PET tracer 18F-THK5351.	Eur J Nucl Med Mol Imaging.2017 Jan;44(1):177.	Original Article

249	Takano-Yamamoto T, Fukunaga T, Takeshita N	矯正歯科	Gene Expression Analysis of CCN Protein in Bone Under Mechanical Stress	Methods Mol Biol2017;1489:283-308.	Original Article
250	Saiki, Yoshikatsu, Sato, Mitsuru, Kawamoto, Shunsuke	心臓血管外科	Pancreatic Arcade Artery Aneurysm-A Rare Complication after Replacement of Thoracoabdominal Aortic Aneurysm.	Ann Vasc Dis 2016;9(3):213-215.	Original Article
251	Ishii, Tomonori, Inui, Masanori, Sugahara-Tobinai, et al.	血液・免疫科	Tolerogenic immunoreceptor ILT3/LILRB4 paradoxically marks pathogenic auto-antibody-producing plasmablasts and plasma cells in non-treated SLE.	Int Immunol2016 Dec;28(12):597-604	Original Article
252	Muratsubaki T, Hattori T, Li J, et al.	心療内科	Relationship between job stress and hypo-high-density lipoproteinemia in Chinese workers: The Rosai Karoshi Study.	Chin Med J (Engl)2016 Oct 20;129(20):2409-2415.	Original Article
253	Sugino S, Bezinover D, Imamura-Kawasawa Y, et al.	手術部	Massive fulminant thrombosis during liver transplantation in a patient with a previously unknown antithrombin pathway mutation.	A A Case Rep2016 Dec 1;7(11):239-242	Original Article
254	Nakazawa T, Nagai N, Iwata S, et al.	眼科	Protective effects of sustained transscleral unoprostone delivery against retinal degeneration in S334ter rhodopsin mutant rats.	J Biomed Mater Res B Appl Biomater.2016 Nov;104(8):1730-1737	Original Article
255	Keiko Matsui, Tadashi Kawai, Yuji Tanuma, et al.	歯科顎口腔外科	Clinical safety and efficacy of implantation of octacalcium phosphate collagen composites in tooth extraction sockets and cyst holes.	Journal of Tissue Engineering2016 Oct 3;7:2041731416670770	Original Article
256	Itoi, Eiji, Hatta, Taku, Nobuta, Shingo, et al.	整形外科	Comparative Analysis of Surgical Options for Medial Collateral Ligament Repair in Terrible Triad Injury of the Elbow.	Orthop Rev (Pavia)2016 Sep 19;8(3):6666	Original Article
257	Kojima I, Iikubo M, Nishioka T, et al.	口腔診断科	Influence of voxel size and scan field of view on fracture-like artifacts from gutta-percha obturated endodontically treated teeth on cone-beam computed tomography images.	Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology and Oral Radiology2016 Nov;122(5):631-637	Original Article
258	Saiki, Yoshikatsu, Masaki, Naoki, Adachi, Osamu, et al.	心臓血管外科	Implanted pedicled autologous pericardium mimics vasculature tissue: Case report.	J Thorac Cardiovasc Surg2017 Jan;153(1):e11-e13	Original Article
259	Nakazawa T, Nishiguchi KM, Yokoyama Y, et al.	眼科	Analysis of Macular Drusen and Blood Test Results in 945 Macaca fascicularis	PLoS One.2016 Oct 24;11(10):e0164899	Original Article
260	Tamada T, Sugiura H, Takahashi T, et al.	呼吸器内科	Coexisting COPD in elderly asthma with fixed airflow limitation: assessment by DLco%predicted and HRCT	J Asthma2017 Aug;54(6):606-615	Original Article

261	Endo K, Liu J, Hong G, et al.	高齢者歯科治療部	A novel method of surface modification by electrochemical deoxidation : Effect on surface characteristics and initial bioactivity of zirconia	J Biomed Res B Appl Biomater 2016 Oct 26. doi: 10.1002/jbm.b.33805	Original Article
262	Ishii, Tomonori, Shirai, Tsuyoshi, Fujii, Hiroshi, et al.	血液・免疫科	Relapsing polychondritis complicated with myelodysplastic syndrome is resistant to the immunosuppression: comment on the article by Dion et al.	Arthritis Rheumatol 2017 Mar;69(3):682-683	Letter
263	Arai H, Kikuchi A, Okamura N, et al.	老年科	In vivo visualization of tau deposits in corticobasal syndrome by 18F-THK5351 PET.	Neurology. 2016 Nov 29;87(22):2309-2316	Original Article
264	Tominaga T, Chonan M, Suzuki Y, et al.	脳神経外科	Sturge-Weber syndrome with intracerebral hemorrhage: a case report.	Springerplus. 2016 Oct 7;5(1):1746	Original Article
265	Arai H, Ishiki A, Harada R, et al.	老年科	Tau imaging with [18 F]THK-5351 in progressive supranuclear palsy.	Eur J Neurol. 2017 Jan;24(1):130-136	Original Article
266	Ishioka, Chikashi, Kohyama, Aki, Fukuda, Michihiro, et al.	腫瘍内科	Reversibility of the thia-Michael reaction of cytotoxic C5-curcuminoid and structure-activity relationship of bis-thiol-adducts thereof.	Org Biomol Chem 2016 Dec 7;14(45):10683-10687	Original Article
267	Komiyama T, Ohi T, Miyoshi Y, et al.	高齢者歯科治療部	Association Between Tooth Loss, Receipt of Dental care, and Functional Disability in an Elderly Japanese Population : The Tsurugaya Project.	Journal of the American Geriatrics Society 2016 Dec;64(12):2495-2502	Original Article
268	Mori, Etsuro, von Kummer, Rudiger, Truelsen, Thomas, et al.	高次脳機能障害科	Desmoteplase 3 to 9 Hours After Major Artery Occlusion Stroke: The DIAS-4 Trial (Efficacy and Safety Study of Desmoteplase to Treat Acute Ischemic Stroke).	Stroke 2016 Dec;47(12):2880-2887	Original Article
269	Naitoh T, Aoki S, Mizuma M, et al.	胃腸外科	Aberrant activation of Notch signaling in extrahepatic cholangiocarcinoma: clinicopathological features and therapeutic potential for cancer stem cell-like properties.	BMC Cancer 2016 Nov 7;16(1):854	Original Article
270	Aoki M, Suzuki N, Mori-Yoshimura M, et al.	神経内科	Multicenter questionnaire survey for sporadic inclusion body myositis in Japan.	Orphanet J Rare Dis 2016 Nov 8;11(1):146	Original Article
271	Sato H, Li F, Fushima T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Nicotinamide benefits both mothers and pups in two contrasting mouse models of preeclampsia.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2016 Nov 22;113(47):13450-13455.	Original Article
272	Mishima E, Sato E, Mori T, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Metabolic alterations by indoxyl sulfate in skeletal muscle induce uremic sarcopenia in chronic kidney disease.	Scientific Reports 6 2016 Nov 10;6:36618	Original Article

273	Suzukamo Y, Nakada K, Takahashi M, et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Factors affecting the quality of life of patients after gastrectomy as assessed using the newly developed PGSAS-45 scale: A nationwide multi-institutional study.	World J Gastroenterol 2016 Oct 28;22(40):8978-8990.	Original Article
274	Nishijima Y, Akamatsu Y, Yang SY, et al.	脳神経外科	Impaired Collateral Flow Compensation During Chronic Cerebral Hypoperfusion in the Type 2 Diabetic Mice.	Stroke. 2016 Dec;47(12):3014-3021	Original Article
275	Ishii, Tomonori, Shoji, Noriaki, Endo, Yu, et al.	血液・免疫科	Dentin hypersensitivity-like tooth pain seen in patients receiving steroid therapy: An exploratory study.	J Pharmacol Sci 2016 Nov;132(3):187-191	Original Article
276	Satoh F, Nakamura Y, Yamazaki Y, et al.	腎・高血圧・内分泌科	Expression of CYP11B2 in Aldosterone-Producing Adrenocortical Adenoma: Regulatory Mechanisms and Clinical Significance.	Tohoku J Exp Med 2016 Nov;240(3):183-190	Original Article
277	Takeda K, Matsushita H, Kubozono M, et al.	放射線治療科	Definitive Chemoradiotherapy for Advanced Pulmonary Sarcomatoid Carcinoma.	Intern Med 2016;55(22):3325-3330	Original Article
278	Egusa H, Sato H, Niwano Y, et al.	咬合修復科	Efficacy and safety of a therapeutic apparatus using hydrogen peroxide photolysis to treat dental and periodontal infectious diseases.	J Toxicol Sci, 2016;41(6):793-799.	Original Article
279	Nakano T, Sato C, Yamada M, et al.	移植・再建・内視鏡外科	A laser-induced pulsed water jet for layer selective submucosal dissection of the esophagus.	Laser Therapy 2016 (in press). 2016 Oct 1;25(3):185-191	Original Article
280	Niibe K, Sato Y, Mabuchi Y, et al.	咬合修復科	Notch2 signaling regulates the proliferation of murine bone marrow-derived mesenchymal stem/stromal cells via c-Myc expression.	PLoS One, 2016 Nov 17;11(11):e0165946	Original Article
281	Aoki M, Akaishi T, Suzuki Y, et al.	神経内科	Response to treatment of myasthenia gravis according to clinical subtype	BMC Neurol 2016 Nov 17;16(1):225.	Original Article
282	Nakazawa T, Yamamoto K, Sato K, et al.	眼科	The neuroprotective effect of latanoprost acts via klotho-mediated suppression of calpain activation after optic nerve transection.	J Neurochem 2017 Feb;140(3):495-508	Original Article
283	Hirano T, Miyauchi E, Inoue A, et al.	呼吸器内科	Two cases of pseudo-achalasia with lung cancer : Case report and short literature review.	Respir Investig 2016 Nov;54(6):494-499.	Review
284	Arai H, Otoki Y, Kato S, et al.	老年科	Accurate quantitation of choline and ethanolamine plasmalogen molecular species in human plasma by liquid chromatography-tandem mass spectrometry.	J Pharm Biomed Anal. 2017 Feb 5;134:77-85	Original Article
285	Takayama S, Kobayashi S, Kaneko S, et al.	総合地域医療教育支援部 漢方内科	Improving the Quality of Postgraduate Education in Traditional Japanese Kampo Medicine for Junior Residents: An Exploratory Survey Conducted in Five Institutions in the Tohoku Area.	Tohoku J Exp Med. 2016 Nov;240(3):235-242	Original Article

286	Aoki M, Suwa Y, Suzuki N, et al.	神経内科	Sporadic Inclusion Body Myositis Manifesting as Isolated Muscle Weakness of the Finger Flexors Three Years after Disease Onset.	Intern Med2016;55(23):3521-3524	Original Article
287	S Izumi, H Ishikawa, T Muraki, et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Changes in stiffness of the dorsal scapular muscles before and after computer work : a comparison between individuals with and without neck and shoulder complaints.	Eur J Appl Physiol2017 Jan;117(1):179-187	Original Article
288	Nakazawa T, Nagai N, Koyanagi E, et al.	眼科	Long-Term Protection of Genetically Ablated Rabbit Retinal Degeneration by Sustained Transscleral Unoprostone Delivery.	Invest Ophthalmol Vis Sci.2016 Dec 1;57(15):6527-6538	Original Article
289	Ishioka, Chikashi, Shirota, Hidekazu, Klinman, Dennis M, et al.	腫瘍内科	IL4 from T Follicular Helper Cells Downregulates Antitumor Immunity.	Cancer Immunol Res2017 Jan;5(1):61-71	Original Article
290	Watanabe, Mika, Mano, Yui, Kanamori, Masayuki, et al.	病理部	Extremely Late Recurrence 21 Years after Total Removal of Immature Teratoma: A Case Report and Literature Review.	Neurol Med Chir (Tokyo) 2017 Jan 15;57(1):51-56	Case report
291	Nakazawa T, Maruyama K, Inaba T, et al.	眼科	Vitreous lavage fluid and bronchoalveolar lavage fluid have equal diagnostic value in sarcoidosis.	Medicine (Baltimore) 2016 Dec;95(49):e5531	Original Article
292	Arai, Yoichi, Kurobe, Masahiro, Kojima, Takahiro, et al.	泌尿器科	Development of RNA-FISH Assay for Detection of Oncogenic FGFR3-TACC3 Fusion Genes in FFPE Samples.	PLoS One2016 Dec 8;11(12):e0165109	Original Article
293	Tamada T, Kazama I	呼吸器内科	Lymphocyte Kv1.3-Channels in the Pathogenesis of Chronic Obstructive Pulmonary Disease : Novel Therapeutic Implications of Targeting the Channels by Commonly Used Drugs.	Allergy Asthma Clin Immunol 2016 Nov 29;12:60	Review
294	Aoki M, Baba T, Hosokai Y, et al.	神経内科	Longitudinal study of cognitive and cerebral metabolic changes in Parkinson's disease.	J Neurol Sci2017 Jan 15;372:288-293	Original Article
295	Kawase T, Yahata I, Kanno A, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Impact of Audio-Visual Asynchrony on Lip-Reading Effects -Neuromagnetic and Psychophysical Study.	PloS one 2016 Dec 28;11(12):e0168740	Original Article
296	Takeda K, Jingu K, Umezawa R, et al.	放射線治療科	Elective nodal irradiation is not necessary in chemoradiotherapy for postoperative loco-regional recurrent esophageal cancer	Jpn J Clin Oncol2017 Mar 1;47(3):200-205	Original Article
297	Shima K, Tsuchiya M, Oizumi T, et al.	矯正歯科	Inflammatory Effects of Nitrogen-Containing Bisphosphonates (N-BPs): Modulation by Non-N-BPs.	Biol Pharm Bull2017;40(1):25-33	Original Article
298	Saiki, Yoshikatsu, Fukushima, Norihide, Ono, Minoru, et al.	心臓血管外科	Registry Report on Heart Transplantation in Japan (June 2016).	Circ J 2017 Feb 24;81(3):298-303	Original Article

299	Karasawa H, Yamamura A, Miura K, et al.	胃腸外科	NDRG2, suppressed expression associates with poor prognosis in pancreatic cancer, is hypermethylated in the second promoter in human gastrointestinal cancers.	Biochem Biophys Res Commun.2017 Feb 26;484(1):138-143	Original Article
300	Nakazawa T, Kunikata H, Abe T	眼科	Heads-Up Macular Surgery with a 27-Gauge Microincision Vitrectomy System and Minimal Illumination.	Case Rep Ophthalmol 2016 Nov 29;7(3):265-269	Original Article
301	Nakano T, Kamei T, Onodera Y, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Thoracoscopic surgery in the prone position for esophageal cancer in patients with situs inversus totalis: A report of two cases.	International Journal of Surgical Case Report.2017;31:43-46	Case report
302	Aoki M, Ogawa R, Nakashima I, et al.	神経内科	MOG antibody-positive, benign, unilateral, cerebral cortical encephalitis with epilepsy.	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm 2017 Jan 16;4(2):e322	Original Article
303	K. Takeda, K. Sato, S. Dobashi, et al.	放射線治療科	Positional accuracy valuation of a three dimensional printed device for head and neck immobilisation.	Radiother Oncol 2016 Apr;119(1):126-127	Original Article
304	Saiki, Yoshikatsu, Kyo, Shunei, Imanaka, Kazuhito, et al.	心臓血管外科	Guidelines for Perioperative Cardiovascular Evaluation and Management for Noncardiac Surgery (JCS 2014)- Digest Version.	Circ J 2017 Jan 25;81(2):245-267	Original Article
305	Suzukamo Y, Takeuchi N, Mori T, et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Integration of Teaching Processes and Learning Assessment in the Prefrontal Cortex during a Video Game Teaching?learning Task.	Frontiers in Psychology 2017 Jan 9;7:2052	Original Article
306	Mori, Etsuro, Kanno, Shigenori, Saito, Makoto, et al.	高次脳機能障害科	A change in brain white matter after shunt surgery in idiopathic normal pressure hydrocephalus: a tract-based spatial statistics study.	Fluids Barriers CNS 2017 Jan 30;14(1):1	Original Article
307	Naitoh T, Kyakumoto Y, Mizuma M, et al.	胃腸外科	A Case of Successful Stomach-Preserving Pancreaticoduodenectomy with Celiac Artery Resection after Neoadjuvant Chemoradiation Therapy for Pancreatic Cancer with Hepatic Arterial Variation.	Gan To Kagaku Ryoho.2016 Nov;43(12):1966-1968	Original Article
308	Ohnuma S, Sato Y, Karasawa H, et al.	胃腸外科	Resection of a Huge Gastrointestinal Stromal Tumor of the Stomach Following Neoadjuvant Chemotherapy with Imatinib.	Gan To Kagaku Ryoho 2016 Nov;43(12):2216-2218	Original Article
309	Ohnuma S, Toyama S, Kudoh K, et al.	胃腸外科	A Case of Undifferentiated Carcinoma of the Sigmoid Colon That Responded to Paclitaxel and Carboplatin Chemotherapy.	Gan To Kagaku Ryoho 2016 Nov;43(12):2295-2297.	Original Article
310	Mori, Etsuro, Suzuki, Yumi, Hirayama, Kazumi, et al.	高次脳機能障害科	Changes in pupil diameter are correlated with the occurrence of pareidolias in patients with dementia with Lewy bodies.	Neuroreport 2017 Mar 1;28(4):187-192.	Original Article

311	Tominaga T, Ali HS, Endo T, et al.	脳神経外科	Intraspinal dissemination of intracranial hemangiopericytoma: Case report and literature review.	Surg Neurol Int.2016 Dec 12;7(Suppl 40):S1016-S1020	Original Article
312	Aoki M, Ishigaki S, Fujioka Y, et al.	神経内科	Altered Tau Isoform Ratio Caused by Loss of FUS and SFPQ Function Leads to FTL D-like Phenotypes.	Cell Rep 2017 Jan 31;18(5):1118-1131	Original Article
313	Ishii, Tomonori, Yasuda, Shinsuke, Ohmura, Kazumasa, et al.	血液・免疫科	Maintenance Treatment using Abatacept with Dose Reduction after Achievement of Low Disease Activity in Patients with Rheumatoid Arthritis (MATADOR) - A prospective, multicenter, single arm pilot clinical trial.	Mod Rheumatol 2017 Feb 2:1-20	Original Article
314	Yutaro Arata, Tomoyuki Endo, Yutaka Kagaya, et al.	卒後研修センター	Long-term efficacy of an extracorporeal membrane oxygenation simulation with a novel, low-cost vascular model "Endo-Circuit".	Acute Medicine & Surgery 2017 Jan;4(1):79-88	Original Article
315	Niihori T, Okamoto N, Nakao H, et al.	遺伝科	Patient with a novel purine-rich element binding protein A mutation.	Congenit Anom (Kyoto). 2017 Feb 6. [Epub ahead of print	Case report
316	Saiki, Yoshikatsu, Hasegawa, Tomomi, Masuda, Munetaka, et al.	心臓血管外科	Trends and outcomes in neonatal cardiac surgery for congenital heart disease in Japan from 1996 to 2010.	Eur J Cardiothorac Surg 2017 Feb 1;51(2):301-307	Original Article
317	Aoki M, Nagane Y, Murai H, et al.	神経内科	Social disadvantages associated with myasthenia gravis and its treatment: a multicentre cross-sectional study.	BMJ Open 2017 Feb 23;7(2):e013278	Original Article
318	Musha H, Hatta W, Koike T, et al.	胃腸外科	The Risk Factors for Metastasis in Non-Ampullary Duodenal Neuroendocrine Tumors Measuring 20 mm or Less in Diameter.	Digestion 2017;95(3):201-209	Original Article
319	Mori, Etsuro, Sasai-Sakuma, Taeko, Nishio, Yoshiyuki, et al.	高次脳機能障害科	Pareidolias in REM sleep behavior disorder: a possible predictive marker of Lewy body diseases?	Sleep 2017 Feb 1;40(2).	Original Article
320	Mori S, Sato T, Takemura T, et al.	歯科顎口腔外科	Monitoring of blood vessel density using contrast-enhanced high frequency ultrasound may facilitate early diagnosis of lymph node metastasis	Journal of Cancer 2017 Feb 25;8(5):704-715	Original Article
321	Abe M, Soga T, Obana N, et al.	総合地域医療教育支援部	Recommendation of Repeated Ammonia Tests for Intrahepatic Portal-Systemic Shunt Without Cirrhosis in Elderly Patients With Psychiatric Symptoms.	Japanese Clinical Medicine 2017 Mar 16;8:1179066017693597	Original Article
322	Tominaga T, Elkordy AM, Sato K, et al.	脳神経外科	Central Retinal Artery Occlusion after the Endovascular Treatment of Unruptured Ophthalmic Artery Aneurysm: A Case Report and a Literature Review.	NMC Case Rep J. 2016 May 19;3(3):71-74	Case report

323	Mori E	高次脳機能障害科	Cognitive Impairments of Dementia with Lewy Bodies.	Kosaka K. ed. Dementia with Lewy Bodies, Springer Japan, Tokyo2016,73-85	Original Article
324	Takeda K, Matsushita H, Ogawa T, et al.	放射線治療科	Association of Pretreatment Serum Albumin with Reduction in Oropharyngeal Squamous Cell Carcinoma Tumor Volume During Curative External Beam Radiation Therapy.	Int J Radiat Oncol Biol Phys2016 Oct,96(2S):E360-E361	Original Article
325	Ohnuma S, Sato J, Karasawa H, et al.	胃腸外科	A Successful Case of Conversion Therapy after Chemotherapy for Advanced Rectal Cancer with Inguinal Lymph Node Metastasis.	Gan To Kagaku Ryoho2016 Nov;43(12):2145-2147	Original Article
326	Kamoya T, Anada T, Shiwaku Y, et al.	矯正歯科	An oxygen-permeable spheroid culture chip (Oxy chip) promotes osteoblastic differentiation of mesenchymal stem cells.	Sensors and Actuators B2016,232:75-83	Original Article
327	Nogami S, Yamauchi K, Kataoka Y, et al.	歯科顎口腔外科	Cortical bone repositioning for horizontal alveolar bone augmentation; A case series.	International Journal of Periodontal and Restorative Dentistry[International Journal of Periodontal and Restorative Dentistry,(2016)]	Original Article
328	Egusa H, Manokawinchoke J, Osathanon T, et al.	咬合修復科	Hypoxia enhances osteogenic differentiation in retinoic acid-treated murine induced pluripotent stem cells.	Tissue Eng Regen Med2016,13(5):547-553	Original Article
329	Arai, Yoichi	泌尿器科	IJU this issue.	Int J Urol2016 Aug,23(8):639	Original Article
330	Yamada M, Fujino N, Ichinose M	呼吸器内科	Inflammatory responses in the initiation of lung repair and regeneration: their role in stimulating lung resident stem cells.	Inflammation and Regeneration2016 ,36:15	Original Article
331	Egusa H, Osathanon T, Manokawinchoke J, et al.	咬合修復科	Notch signaling partly regulates the osteogenic differentiation of retinoic acid-treated murine induced pluripotent stem cells.	J Oral Sci, in press.	Original Article
332	Nakano T, Nakagawa A, Kumabe T, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Pulsed laser-induced liquid jet: evolution from shock/bubble interaction to neurosurgical application.	Shock WavesJanuary 2017, Volume 27, Issue 1, pp 1-14	Original Article
333	Miyashita M, Gonda K, Tada H, et al.	乳腺・内分泌外科	Quantitative diagnosis of HER2 protein expressing.	Cancer Medicine 2016 Oct; 5(10): 2813-2824.	Original Article
334	Yoshihiro Kataoka, Kensuke Yamauchi, Masaji Saito, et al.	歯科顎口腔外科	Radicular cyst associated with anomalous tooth, suspicious of dens invaginatus: Report of two cases.	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and PathologyJuly 2016, 28(4):375-379	Case report

335	Arai H, Kojima T, Mizukami K, et al.	老年科	Report of the committee: Screening Tool for Older Persons' Appropriate Prescriptions in Japanese (STOPP-J) - Report of the Japan Geriatrics Society Working Group on "Guidelines for Medical Treatment and its Safety in the Elderly.	Geriatr Gerontol Int2016 Sep;16:983-1001	Original Article
336	Nakanishi C, Ohta M, Kawagishi N, et al.	移植・再建・内視鏡外科	Surgical resection of recurrent extrahepatic hepatocellular carcinoma with tumor thrombus extending into the right atrium under cardiopulmonary bypass.	Surgical Case Report2016 Dec;2(1):110	Original Article
337	Ichinose M, Motegi T, Takahashi T, et al.	呼吸器内科	The development and validation of a new questionnaire to address the gap between the actual and desired states in COPD patients.	Lung Dis Treat2016:2-3	Original Article

計 337 件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Kaiho, Yasuhiro, Nakagawa, Haruo, Arai, Yoichi	泌尿器科	[Artificial urinary sphincter after radical prostatectomy].	Nihon Rinsho・74 Suppl 3・474・479・2016	Original Article
2	Saiki, Yoshikatsu, Sasaki, Konosuke, Sato, Kiyoharu, 他	心臓血管外科	[Evaluation of Portable Coagulation Analyzer in Comparison with Conventional Hospital Laboratory Instrument with Stratification of International Normalized Ratios by Therapeutic Upper Limit].	Kyobu Geka・69・5・341・345・2016	Original Article
3	Saiki, Yoshikatsu, Katahira, Shintaro, Kawamoto, Shunsuke, 他	心臓血管外科	[Issues in Coronary Artery Bypass Grafting for Kawasaki Disease].	Kyobu Geka・69・5・331・336・2016	Original Article
4	Ishioka, Chikashi, Sato, Yoshihiro, Karasawa, Hideaki, 他	腫瘍内科	[Resection of a Huge Gastrointestinal Stromal Tumor of the Stomach Following Neoadjuvant Chemotherapy with Imatinib].	Gan To Kagaku Ryoho・43・12・2216・2218・2016	Original Article
5	海法 康裕, 中川 晴夫, 荒井 陽一	泌尿器科	【新前立腺癌学-最新の基礎研究と診断・治療-】前立腺癌の治療 外科治療 術後合併症とその対策 人工尿道括約筋植込術	日本臨床・74・増刊3 新前立腺癌学・474・479・2016	Original Article
6	武田 賢, 佐藤清和, 土橋 卓, 他	放射線治療科	3Dプリンタで作製した頭頸部放射線治療補助固定具の検討～従来固定具との固定精度及び線量特性比較調査～	日本放射線技術学会雑誌・73・1・57・65・2017	Original Article
7	武田 賢, 千葉瑞己, 角谷倫之, 他	放射線治療科	CBCTを用いた適応放射線治療	Japanese Journal of Radiology・35・9・2017	Original Article
8	中野 徹, 今野 卓朗, 藤島 史喜, 他	移植・再建・内視鏡外科	Charcot-Marie-Tooth diseaseに合併した食道神経鞘腫の1例	日本消化器外科学会雑誌・49・11・1059・1065・2016	Case report
9	石岡 千加史, 佐藤悠子, 藤森 研司, 他	腫瘍内科	DPCデータを用いたDPC算定病床におけるがん患者の緩和医療の質	Palliative Care Research・11・Suppl.・S316・2016	Original Article
10	海法康裕	泌尿器科	EDをあなどるなかれ 知っておきたい最近の話題 前立腺癌とED	臨床泌尿器・70・13・1028・1032・2016	Original Article
11	海法 康裕, 鈴木博文, 川守田直樹, 他	泌尿器科	HIFUによる尿道狭窄・尿失禁に対し経尿道的閉塞解除術後にAMS800植込術を施行した1例	泌尿器外科・29・9・1494・2016	Original Article
12	齋木 佳克, 坂爪公, 川本 俊輔, 他	心臓血管外科	Homograftを用いた手術症例の遠隔成績	日本外科学会定期学術集会抄録集・116回・OP・023-5・2016	Original Article

13	小嶋 郁穂, 若盛 隼, 小川 武則, 他	口腔診断科	MRIで悪性腫瘍箇所を同定し得た耳下腺多型腺腫由来癌の1例	頭頸部外科・26・3・389-393・2016	Original Article
14	Nakano T, Chiaki Sato C, Sakurai T, 他	移植・再建・内視鏡外科	Thoracoscopic esophageal repair with barbed suture material in a case of Boerhaave's syndrome.	Journal Thoracic Disease, 2016 Dec; 8(12): E1576-E1580.	Original Article
15	高山真, 岡田将平 (東北大学医学部), 小俣文弥, 他	総合地域医療教育支援部 漢方内科	医学生による北日本合同東洋医学研究会の発足とその活動報告(解説)	日本東洋医学雑誌・68・1・72・78・2017	Original Article
16	町田貴胤, 町田知美, 佐藤康弘, 他	心療内科	うつ病が疑われ心療内科に紹介された下垂体性副腎機能低下症3例の特徴	心身医学・Vol. 56 (2016)・No.11・1134-1139	Original Article
17	神田直典, 及川麻理子, 廣谷拓章, 他	歯科顎口腔外科	下顎に発生した周辺性象牙質形成性幻影細胞腫の1例	日本口腔外科学会雑誌・Vol. 63 (2017)・No. 5・251-255	Case report
18	今井啓道	形成外科	顔面骨骨折の治療戦略 下顎骨骨折	PEPARS・2016	Original Article
19	三塚浩二	泌尿器科	去勢抵抗性前立腺癌治療の今後を考える -日本に CRPC 標準療法とは?-	泌尿器外科・29・8・1339-1342・2016	Original Article
20	出江紳一, 西崎香苗, 深澤貴裕, 他	肢体不自由リハビリテーション科	頸椎椎弓形成術前後の筋力が頸部痛に及ぼす影響	日本脊髄障害医学会雑誌・29・1・20・23・2016	Original Article
21	出江紳一, 八島建樹, 高木敏行, 他	肢体不自由リハビリテーション科	磁気刺激による手関節背屈運動に関する研究	バイオメカニズム学会誌・40・2・103・109・2016	Original Article
22	町田知美, 町田貴胤, 田村太作, 他	心療内科	自閉症的特性を生かした食事の工夫が体重増加に効果的だった小児神経性やせ症患者の1例	心身医学・Vol. 56 (2016)・No. 5・460-466	Original Article
23	大泉文史, 高橋正任, 熊本裕行, 他	歯科顎口腔外科	新生児に生じた黒毛舌の1例	日本口腔外科学会雑誌・Vol. 62 (2016)・No.10・518-520	Case report
24	伊藤明宏, 川崎芳英, 椿井成彦, 他	泌尿器科	新前立腺学-最新の基礎研究と診断・治療-. VI. 臨床応用を目指した基礎研究. バイオマーカーの開発. 前立腺癌の糖鎖マーカーとしての disialosyl globopentaosyl ceramide (DSGb5).	日本臨床・74・3・196・200・2016	Original Article
25	渡辺和宏	胃腸外科	ストーマの基礎知識	消化器外科 Nursing・21・2・100・103・2016	Original Article

26	佐藤康弘、福土審	心療内科	ストレス関連疾患としての摂食障害 - 脳画像研究によるアプローチ -	心身医学・Vol. 57 (2017)・No. 8・790-796	Original Article
27	館正弘、黒沢是之、後藤孝浩、他	形成外科	セツキシマブ併用放射線治療後の喉頭温存・下咽頭喉頭部分切除術後に生じた咽頭皮膚瘻の治療経験	創傷・8・1・38・42・2017	Original Article
28	鳩山 恵一朗	移植・再建・内視鏡外科	腸閉塞を呈した尿管癌下行結腸転移の1例	日本臨床外科学会誌・Vol. 77 (2016)・No.12・2979-2983	Case report
29	伊藤明宏、山田成幸、荒井陽一	泌尿器科	特集 進行期精巣腫瘍の診療-難治症例に挑むく導入化学療法で寛解が得られない症例への対処>難治例に対する外科的治療	臨床泌尿器科・70・7・518・522・2016	Original Article
30	伊藤大亮	総合地域医療教育支援部	有酸素運動療法は一酸化窒素合成酵素の発現と活性を促進し、心腎連関における悪循環を是正する	東北医学雑誌・128・1・90・91・2016	Original Article
31	出江紳一、鈴木啓太、平岡崇、他	肢体不自由リハビリテーション科	ラット骨格筋に対する高頻度反復末梢性磁気刺激の安全性の検討 筋組織学的検査と血液生化学検査を用いた検討	Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science・6・56・63・2016	Original Article
32	森士朗、多田明日香、堀江佐知子、他	歯科顎口腔外科	リンパ行性薬剤送達法の開発	リンパ学・39・2・25・27・2016	Original Article
33	荒田 悠太郎、門馬靖武、石井 誠一、他	卒後研修センター	ロールプレイを取り入れた静脈採血検査のシミュレーション教育における医学生の学び	医学教育・47・Suppl・223・2016	Original Article
34	大沼 忍、石田 晶玄、坂田 直昭、他	胃腸外科	下腸間膜静脈周囲リンパ節一献体10例における肉眼的・顕微鏡的検索一	日本消化器外科学会雑誌・49・4・261・266・2016	Original Article
35	齋木 佳克、青木竜男、杉村 宏一郎、他	心臓血管外科	外科的血栓摘除術を施行した肺塞栓の1例	超音波医学・43・4・603・2016	Original Article
36	海法 康裕、川崎芳英、武田 詩奈子、他	泌尿器科	褐色細胞腫および傍神経節腫に対する到達法を考慮した腹腔鏡下手術の検討	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌・33・Suppl.1・S102・S102・2016	Original Article
37	齋木 佳克、川本俊輔、熊谷 紀一郎、他	心臓血管外科	感染性心内膜炎に対する外科治療 ガイドラインを検証する 感染性心内膜炎の手術適応の妥当性の検証	日本外科学会定期学術集会抄録集・116回・PD・42810・2016	Original Article
38	齋木 佳克、川本俊輔、高橋 誠、他	心臓血管外科	虚血性心筋症の外科治療成績	日本冠疾患学会雑誌・22・2・87・92・2016	Original Article

39	荒田 悠太郎, 鈴木千鶴, 門馬 靖武, 他	卒後研修センター	教職員等を対象とした食物アレルギー緊急時対応講習会の効果	医学教育・47・Suppl・111・111・2016	Original Article
40	海法 康裕, 米谷重俊, 川守田直樹, 他	泌尿器科	経皮生検により診断し拡大手術を行った再発精索血管肉腫の一例	泌尿器外科・29・9・1498・2016	Original Article
41	工藤 克昌, 佐藤純, 前田 晋平, 他	胃腸外科	経皮的ドレナージと経腸栄養による保存的治療で改善した十二指腸瘻の2例	日本腹部救急学会雑誌・37・1・69・74・2017	Original Article
42	海法 康裕, 川崎芳英, 伊藤 明宏, 他	泌尿器科	原発性アルドステロン症患者における夜間頻尿の検討	泌尿器外科・29・臨増・906・2016	Original Article
43	海法 康裕, 安達尚宣, 三塚 浩二, 他	泌尿器科	高齢者に対する膀胱全摘術の現状	泌尿器外科・29・臨増・914・2016	Original Article
44	井樋 栄二, 相澤俊峰, 小澤 浩司, 他	整形外科	腰部脊柱管狭窄症の保存療法 2年以上手術しなかった症例の検討	東北整形災害外科学会雑誌・59・1・20・23・2016	Original Article
45	山本 照子	矯正歯科	歯の移動とメカニカルストレス-骨細胞の働きと骨免疫因子-	日本歯周病学会会誌・58・4・213・228・2016	Original Article
46	中野 徹, 今野 卓朗, 藤島 史喜, 他	移植・再建・内視鏡外科	術前加療後に切除した食道類基底細胞癌 4 症例と術前未治療群 21 症例との臨床病理学的比較検討	日本消化器外科学会雑誌・49・10・963・970・2016	Original Article
47	荒井陽一, 伊藤明宏, 山下慎一	泌尿器科	上部尿路癌に対する根治的腎尿管全摘後の膀胱内再発	Japanese Journal of Endourology・29・1・85・90・2016	Original Article
48	海法 康裕, 山下慎一, 伊藤 明宏, 他	泌尿器科	上部尿路上皮癌における臨床病期分類と病理学的病期分類の一致率	泌尿器外科・29・臨増・906・2016	Original Article
49	荒井陽一, 山下慎一, 伊藤明宏, 他	泌尿器科	上部尿路上皮癌の予後に関する術式の影響	Japanese Journal of Endourology・29・1・91・96・2016	Original Article
50	齋木 佳克, 坂爪公, 齋藤 健貴, 他	心臓血管外科	植込み型補助人工心臓における後天性フォンウィルブランド病	日本血栓止血学会誌・27・2・246・2016	Original Article
51	中野 徹, 櫻井直, 亀井 尚	移植・再建・内視鏡外科	食道胃接合部癌の臨床的局在と臨床病理学的検討による治療戦略	癌の臨床・62・6・27・34・2016	Original Article

52	中野 徹, 亀井 尚, 桜井 直, 他	移植・再建・内視 鏡外科	食道癌の周術期栄養管理	外科・78・8・837・ 842・2016	Original Article
53	齋木 佳克, 青木 竜男, 杉村 宏一 郎, 他	心臓血管外科	心臓移植後に液性拒絶反応を呈した1例	超音波医学・43・ 4・602・2016	Original Article
54	齋木 佳克, 遠藤 洋一, 青木 竜男, 他	心臓血管外科	心臓移植後早期に拒絶反応を呈した1症 例	超音波検査技術・ 41・Suppl.・S151・ 2016	Original Article
55	下田 元, 佐藤 実	歯科顎口腔外科	診療行為実施前に突然一過性の意識消 失を呈した口腔外科外来症例	日本蘇生学会雑 誌・35・1・18・22・ 2016	Original Article
56	鈴鴨よしみ, 中野 渡達哉, 神先秀 人, 他	肢体不自由リハビ リテーション科	人工股関節置換術後の機能的脚長差が 健康関連QOLに及ぼす影響～パス解析を 用いた障害構造モデルの検討～	理学療法学・43・ 1・30・37・2016	Original Article
57	齋木 佳克, 坂爪 公, 堀内 久徳	心臓血管外科	人工心臓医療の現状と将来 血栓と出血と の闘い 補助人工心臓治療における出血合 併症と後天性フォンウィルブランド症候群	日本動脈硬化学 会総会プログラ ム・抄録集・48回・ 166・2016	Original Article
58	齋木 佳克, 清水 裕也, 宮崎 真理 子, 他	心臓血管外科	人工心肺を使用した心臓手術後のAKIに ついて考える 人工心肺を用いた体外循環 後急性腎障害のリスク解析と腎保護戦略の 考察	体外循環技術・ 43・3・265・2016	Original Article
59	海法康裕, 中川晴 夫, 荒井陽一	泌尿器科	人工尿道括約筋植込術	日本臨牀・74・ suppl 3・474・479・ 2016	Original Article
60	荒井陽一, 伊藤明 宏, 山下慎一	泌尿器科	腎盂尿管癌術後の膀胱内再発予防	泌尿器外科・29 (2016)・5・475・ 480・2016	Original Article
61	齋木 佳克, 片平 晋太郎, 川本 俊 輔, 他	心臓血管外科	川崎病に対する冠状動脈バイパス術の問 題点	胸部外科・69・5・ 331・336・2016	Original Article
62	海法 康裕	泌尿器科	前立腺がん 性機能治療の新たなる希望 臨床の見地から	日本性機能学会 雑誌・31・1・32・ 33・2016	Original Article
63	井樋 栄二, 栗島 宏明, 高橋 敦, 他	整形外科	大腿骨側ステムを使用しない拘束型人工 膝関節全置換術の短期成績	東北膝関節研究 会会誌・25・5・9・ 2016	Original Article
64	野上晋之介, 松井 桂子, 高橋 哲	歯科顎口腔外科	長期経過後再治療により顎裂骨移植部に インプラントを応用した片側唇顎口蓋裂成 人の1例	日本口蓋裂学会 雑誌・41・3・201・ 211・2016	Original Article

65	荒田 悠太郎, 加賀谷 豊, 石川 和信, 他	卒後研修センター	東北シミュレーション医学教育研究会の活動 地域におけるシミュレーション医学教育の普及を目指して	医学教育・47・Suppl・138・2016	Original Article
66	内藤 剛, 田中直樹, 宮地智洋, 他	胃腸外科	糖尿病合併重症肥満患者に対するスリーブバイパス術の効果.	外科と代謝・栄養・50・4・217・222・2016	Original Article
67	武田 賢, 山本貴也, 角谷倫之, 他	放射線治療科	頭頸部メルケル細胞癌の放射線治療経験	臨床放射線・61・13・1781・1786・2016	Original Article
68	武田 賢, 松下晴雄, 土橋卓, 他	放射線治療科	頭頸部癌適応放射線治療の適応確立に向けた基礎研究: 外部放射線治療期間中の肉眼的腫瘍体積変化と臨床因子間の関連調査	JASTRO NEWSLETTER・2・120・24・26・2016	Original Article
69	伊藤大亮, 上月正博, 小川佳子, 他	総合地域医療教育支援部	内部障害の予防・改善における身体活動の有用性 腎臓病に対する運動療法 一透析患者と保存期慢性腎疾患患者を対象に	体力科学・65・1・109・2016	Original Article
70	下田 元	歯科顎口腔外科	脳動脈瘤を合併した多発血管炎性肉芽腫症患者に対する口腔外科外来周術期の血圧管理	臨床麻酔・40・7・1065・1067・2016	Original Article
71	Watanabe Mika, Saito Ryoko, Fujishima Fumiyoshi, 他	病理部	破骨細胞様巨細胞を伴う肺腺癌の1例 免疫組織化学的解析と遺伝子解析	Pathology International・66・4・224・229・2016	Original Article
72	内藤 剛, 田中直樹, 井本博文, 他	胃腸外科	肥満症に対する外科治療の現状と展望.	Mebio・33・9・57・63・2016	Original Article
73	齋木 佳克, 熊谷 紀一郎, 神田 桂輔, 他	心臓血管外科	慢性大動脈解離に対する治療最前線 慢性大動脈解離に対するOpen surgeryの手術成績および遠隔成績	日本外科学会定期学術集会抄録集・116回・PD・42797・2016	Original Article
74	Watanabe Mika, Higashi Kenjiro, Ogawa Takenori, 他	病理部	幼児の黒色性神経外胚葉性腫瘍の臨床病理学的特徴 2症例報告	Auris・Nasus・Larynx・43・4・451・454・2016	Case report
75	齋木 佳克, 佐々木 康之輔, 佐藤 清春, 他	心臓血管外科	臨床と研究 Warfarin治療域上限からみた簡易型プロトロンビン時間測定装置の有用性	胸部外科・69・5・341・345・2016	Original Article
76	野上晋之介, 樋口 景介, 千葉雅俊, 他	歯科顎口腔外科	咬合挙上後に顎関節に激痛と急速な骨変形を生じた変形性顎関節症の1例	日本顎関節学会雑誌・28・2・151・157・2016	Original Article
77	海法 康裕, 鈴木 悠, 安達 尚宣, 他	泌尿器科	膀胱全摘後のリンパ節転移と考えられた骨盤内腫瘍	泌尿器外科・29・9・1497・2016	Original Article

計 77件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会後年の推進を図ることを目的とする。 「利益相反マネジメント推進体制」、「利益相反マネジメントの実施方法」	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回 (他インターネットスクールにて随時受講可能)
・ 研修の主な内容 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、医学系研究における利益相反マネジメント、臨床研究におけるモニタリングと監査についての考え方など。	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、また多くの高度医療設備の下、将来の専門医・指導医資格の取得を前提とした高度な医療の習得を行っています。高度医療機関として稀少症例、難症例を経験するのみならず、関連病院とも連携し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成することが可能です。また大学院で学位を併行して取得することも可能であり、研究医として社会に貢献することも可能です。

当院では、平成 30 年度から予定している新専門医制度による専門医研修に向け、19 の全ての基本領域において専門研修プログラムの整備を進めています。新専門医制度に関しては、現在初期臨床研修を実施している 2 年次医師が対象となりますが、当院は全領域で基幹施設としてプログラムを整備する予定です。初期臨床研修終了後、当院の専門研修プログラムを修了すれば、各基本領域の専門医資格試験を受験することが可能です。また、当院の専門研修プログラムでは、当院のみならず多くの関連病院にご協力いただき、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	85.83 人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	内科 (総合診療科)	准教授	23 年	
下川 宏明	循環器内科	教授	38 年	
青柳 哲史	感染症内科	講師	16 年	
伊藤 貞嘉	腎臓・内分泌内科	教授	39 年	
張替 秀郎	血液内科	教授	31 年	
石井 智徳	リウマチ科	特任教授	29 年	
片桐 秀樹	糖尿病・代謝内科	教授	30 年	
浅野 直喜	消化器内科	助教	18 年	
沖永 壮治	老年内科	准教授	26 年	
高山 真	漢方内科	准教授	21 年	
福土 審	心療内科	教授	34 年	
玉田 勉	呼吸器内科	講師	24 年	
石岡千加史	腫瘍内科	教授	34 年	
海野 倫明	肝臓・胆のう・膵臓外科	教授	32 年	
内藤 剛	胃腸外科	教授	27 年	
亀井 尚	移植・食道・血管外科	教授	26 年	
石田 孝宣	乳腺・内分泌外科	准教授	30 年	
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	27 年	
井樋 栄二	整形外科	教授	37 年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
館 正弘	形成外科	教授	32年	
岡田 克典	呼吸器外科	教授	29年	
山内 正憲	麻酔科	教授	27年	
八重樫伸生	産婦人科	教授	34年	
伊藤 明宏	泌尿器科	准教授	27年	
青木 正志	神経内科	教授	25年	
齋藤 竜太	脳神経外科	助教	18年	
松岡 洋夫	精神科	教授	39年	
笹原 洋二	小児科	准教授	26年	
和田 基	小児外科	准教授	24年	
和田 基	小児腫瘍外科	准教授	24年	
菊地 克子	皮膚科	講師	29年	
国松 志保	眼科	院内講師	24年	
香取 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	27年	
香取 幸夫	頭頸部外科	教授	27年	
上月 正博	リハビリテーション科	教授	36年	
高瀬 圭	放射線科	教授	28年	
入野田 崇	救急科	講師	22年	
渡辺 みか	病理診断科	准教授	27年	
山田 聡	歯科	教授	23年	
高橋 哲	歯科顎口腔外科	教授	34年	
福本 敏	小児歯科	教授	24年	
北浦 英樹	矯正歯科	准教授	26年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護実践を担う看護職員のキャリア開発やジェネラリストとしての看護実践能力向上のために、「看護実践能力（クリニカルラダー）」システムを導入し、看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の4領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組んでいる。

・研修の期間・実施回数

平成28年4月～平成29年3月 期間中52回開催

・研修の参加人数

期間中延べ 3, 103人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護師長や副看護師長を対象に、看護管理者が人を育成しながら、組織運営に係わる資質向のため、「看護実践の組織化能力（マネジメントラダー）」システムを導入し、目標管理、人間関係能力、看護の質評価・改善、教育・研究、倫理の5項目について、職位別の教育プログラムを組んでおり看護師長のマネジメントラダーレベル認定者は増加している。また看護師長・副看護師長研修では患者のケアプロセスの質を保障し、提供されるすべての医療サービスを統合する役割を担うクリニカル・ナース・リーダーについて学んだ。更に安全・安心で質の高い看護の提供のために導入したPNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）を推進するために研修を実施した。

・研修の期間・実施回数

平成28年9月10日（土）平成29年1月10日（火）・20日（金）・30日（月）

4回開催

・研修の参加人数

延べ 284人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 八重樫 伸生
管理担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史 ・ 医事課長 前田 光男

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書	総務課 医事課 医療情報室 各診療科 薬剤部 電子カルテ	診療記録（手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真等を含む）は、平成26年4月より電子カルテを原本とし、記載及びスキャン取込を行い管理している。紙媒体の診療記録は患者毎にファイリングし、ターミナルデジットファイリング法で一元管理を行っている。保管期間は、最終来院日より15年と定めている。診療記録の院外への持ち出しについては原則として禁止している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課及び医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	地域医療連携課
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	地域医療連携課
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	地域医療連携課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	地域医療連携課	
			患者数関係については、月毎に集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、月毎に集計し、紙・電子媒体で管理している。高度の医療の実績関係については、診療科・総務課等からデータをもらい、年度毎に一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。その他については、各部署で月毎や年度毎に管理している。	
			年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	地域医療連携課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	地域医療連携課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	地域医療連携課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	地域医療連携課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室

年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

電子ファイルで保管している(医薬品安全管理室内規及び医薬品安全管理手順書)

毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管している。

年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	地域医療連携課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	地域医療連携課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	地域医療連携課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報室
		医療安全管理部門の設置状況	地域医療連携課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	地域医療連携課 経営管理課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	地域医療連携課 医薬品安全管理室
		監査委員会の設置状況	地域医療連携課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	地域医療連携課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	地域医療連携課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	地域医療連携課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	地域医療連携課
		職員研修の実施状況	地域医療連携課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	地域医療連携課
		年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	
		毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管している。	
		年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 八重樫 伸生		
閲覧担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史 ・ 医事課長 前田 光男		
閲覧の求めに応じる場所	会議室		
閲覧の手続の概要			
閲覧については、諸記録毎の管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>『東北大学病院の医療に関する安全管理指針』</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 患者に対する十分なインフォームド・コンセント及びその同意に基づく医療従事者との良好な信頼関係のもとに、患者本位の全人的な医療及び安全な医療を提供する。(2) 医療における基本の徹底及びその質の向上を図るとともに、すべての医療従事者の意識改革及び啓発を図るため、教育・研修及び講演会等を定期的に開催する。(3) 医療従事者自らが、医療行為の基本的事項を日々点検・確認し、事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属責任者に報告するとともに、患者及び関係者に説明の上適切に対処し、速やかに事故内容等の検討及び再発の防止対策を講ずる。(4) 上記 3 つの事項を遂行するため、次に掲げる組織及び体制を整備する。<ol style="list-style-type: none">① 医療安全管理責任者 本院に、病院長を補佐し、医療安全推進委員会、医療安全推進室、医薬品安全管理室及び医療機器安全管理室を統括する者として医療安全管理責任者を置き、副病院長（医療安全担当）をもって充てる。② 医療安全推進委員会 本院における医療の安全管理体制の確保、医療事故等の防止対策に関する検討及びその推進並びに研修等を行う。③ 医療安全推進室 医療に関する安全管理指針に基づき、本院における医療事故の防止及び医療の質と安全性を一層向上させるため、その遂行に必要な組織全体のシステムを構築する。④ 専門部会 医療安全推進室の専門部会として下記部会を置き、専門の事項を調査審議するため専門委員若干人で構成し、具体的な事案に対応する。<ul style="list-style-type: none">イ マニュアル作成部会ロ 標準化推進部会ハ 広報・教育部会ニ インシデント審議部会⑤ リスクマネージャー会議 医療安全推進室の下部組織として、各診療科、看護部、各中央診療施設等及び事務部等の中核となる実務担当等で構成し、医療事故等の未然防止について具体的な安全対策を推進し、事故又はインシデントレポートの検証及び再発防止策の策定等を行う。⑥ 医薬品安全管理室 本院における医薬品の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。⑦ 医療機器安全管理室 本院における医療機器の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。⑧ インシデント対応委員会 本院において重大なインシデントが発生した場合に、直ち	

に当該インシデントの事実関係を確認し、適切かつ必要な対応策を検討する。また、患者・家族への対応について病院としての判断・見解を検討し、初期対応を決定する。

⑨ 医療事故調査委員会

医療安全推進委員会及び医療安全推進室とは別組織とし、医療事故の報告を受けた医療安全推進委員会委員長が必要と認めるときは、当該関係者を招集して医療事故の調査等を行う。

⑩ 特別医療事故調査委員会

病院長は、医療法第6条の10第1項に定める医療事故が発生したときは、当該関係者を招集して医療法第6条の11第1項に規定する医療事故調査等を行う。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- ・ 設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 開催状況：年 1 2 回
- ・ 活動の主な内容：

医療安全推進委員会

以下の内容についての審議及び報告を行う。

- (1) 医療に関する安全管理指針に関すること。
- (2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。
- (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
- (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
- (5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
- (6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。
- (7) 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
- (8) 前項の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
- (9) 前項の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
- (10) 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。
- (11) 前項に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。
- (12) その他医療の安全管理等に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2 5 回

- ・ 研修の主な内容：

- 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者対象医療安全講習会）

- 具体的事例を取り上げた職種横断的な演習（年5回）
- 医療安全管理全般に関する定期講演会（年1回）
- ブラッシュアップ研修（年4回）
- その他医療安全管理に関する研修会（随時）

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。
- 事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。
- 重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。
- 毎月の医療安全推進委員会において、月次インシデントの集計報告及び3b以上の事例の報告を行っており、院内のインシデントの発生状況の把握に努めていること。また、院内のインシデントから警鐘的な事例を毎月1例取り上げて、事案の分析や再発防止策の検討等を医療安全推進委員会で行っていること。
- 毎年度1回、全病棟及び外来棟に対し医療安全巡視を行い、医療安全に係る業務について適切に行われているかの確認及び指導を行っていること。また、全体巡視に加えて、GRM3名が、毎週、病棟を巡視しており、院内における医療が適正に実施されているかを適宜確認していること。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">●院内感染対策に関する基本的な考え方●感染対策のための委員会●感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針●感染症の発生状況の報告に関する基本方針●院内における感染症発生時の対応に関する基本方針●患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針●その他の感染対策の推進のために必要な指針『東北大学病院における感染対策の指針』 医療関連感染に対する、医療従事者の標準予防策ならびに手指衛生を始めとする基本的な感染対策の確実な実施を行うための指針である。具体的には以下のとおり。 <p>(1) 感染対策のための委員会</p> <ol style="list-style-type: none">①感染対策に関する委員会として病院長を含む感染対策委員会を設置する。感染対策委員会は、医療関連感染の発生防止、ならびに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議・決定する。②感染対策委員会の下部組織として感染対策実務委員会をおく。感染対策実務委員会は、院内の問題点を把握し、感染予防対策の実務を行い、各委員は委員会での決定事項を所属部署に周知する。③当院の感染対策全般について総合的な管理を行うため、感染管理室をおき、感染対策活動の総責任者として院内感染管理者をおく。④感染管理室の業務を職種横断的に遂行するための組織として、各職種からなるICT(Infection Control Team)をおき、感染に関する課題の抽出・解決、感染対策活動の周知徹底、各部署での教育等を行う。 <p>(2) 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none">①感染管理室ならびにICTが中心となり、全職員を対象に具体的な立案・実践を行う。②感染対策に関する必要な知識・技能を維持向上できるように、年2回以上の講習会を実施する。③ICTによる職場巡視、各部門の感染対策担当者による日々の活動を通じて、継続的な教育・啓発を実施する。 <p>(3) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none">①感染管理室ならびにICTは感染対策の実施のため、院内感染防止対策の立案、及び具体的な遵守事項を定めるマニュアルを作成する。②感染管理室は、微生物検査情報などをもとに院内における感染症発生動向について把握し、手指衛生の遵守、地域における病原体の伝播、抗菌薬使用状況なども踏まえた抗菌薬の適正使用について、ICTとともに機動的な感染対策を立案・実施する。③感染管理室は職員のワクチン接種など職業感染対策を積極的に推進するとともに、針刺し切創・体液曝露事例が発生した場合においては、情報の収集ならび感染防止に関する対応を行う。④感染対策委員会ならびに感染対策実務委員会は、感染管理室およびICTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応する。 <p>(4) 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none">①感染症の伝播ならびに集団感染事例が発生もしくは疑われる際には、第一に患者および職員の生命及び健康と安全を最優先に考え行動する。②患者ならびに家族への連絡・説明は速やかに、主治医もしくは当該科の上席医師が率直に事実を話すとともに、事実のみを客観的かつ正確に記録する。また患者ならびに家族への	

<p>説明内容などについて詳細に診療録等に記録する。</p> <p>③当該部署は状況について感染管理室へ報告する。感染管理室はICTとともに情報の収集並びに当面の対策について立案・実施し、病院長に報告する。</p> <p>④死亡又は重大な障害が発生した場合、又はその疑いがある場合には事務部長は病院長の指示を仰ぎ、速やかに所轄警察署・保健所に届出をし、報告を行う。</p> <p>⑤集団感染事例が発生した場合は、速やかに事故原因の究明、今後の対応策等を検討する。調査は感染対策委員会の構成員に加え、関係部署を加えて構成する。又必要に応じて、外部の専門家を加え、客観的な判断を加えることに努める。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。 ●重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。 ●院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。 ●院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。 ●医療関連感染の発生防止、ならびに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議決定すること。 ●感染管理室およびICTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年38回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション） ●院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するインターネット研修会） ●感染管理全般に関する定期講演会（年8回） ●その他感染管理に関する研修会（随時） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>「感染対策の指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し、更には毎月の感染対策委員会において、サーベイランス対象菌種検出症例数の月次報告を行っており、院内の感染症の発生状況の把握に努めている。</p> <p>また、医師・看護師・薬剤師、臨床検査技師の4職種が、毎週、火曜日に全病棟30部署のラウンドを実施し、金曜日には外来・中央診療部門をラウンドすることによって、感染症防止対応が適切に行われているかの確認及び指導を行っている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年45回
・ 研修の主な内容： ・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修 ・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修 ・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： ・ 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務 ・ 医薬品の管理に関する業務 ・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務 ・ 患者に対する与薬 ・ 未承認等医薬品の使用に関すること	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 疑義照会事例、副作用報告事例、医薬品添付文書改訂に伴う注意事項等の医薬品情報を収集し、院内の医薬品の使用状況や注意事項を周知 ・ 医薬品安全管理室の指示のもと、薬剤師が病棟(月1回)及び外来診療科(2ヶ月に1回)の巡視を実施 ・ 医薬品安全管理室巡視を年2回実施 ・ 未承認等医薬品を使用した診療科に対し未承認等医薬品使用状況報告書の提出を依頼し、使用状況を把握(H29年度分はH30年6月実施予定)	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 0 回
・ 研修の主な内容： ○新規導入機器は購入依頼時に研修対象者をリスト作成し、機器使用前の研修を実施 ○医療機器の有効性・安全性に関する事項 ○医療機器の使用法に関する事項 ○医療機器の保守点検に関する事項 ○医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する事項 ○医療機器の使用に関しての法令遵守に関する事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： ○始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 ○外部委託定期点検 上記保守点検について ① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年度の把握及び記録 ② 保守点検実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検の見直し	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ○未承認等医療機器を使用した診療に関しての届出、治験・臨床研究に関しては倫理委員会の情報から使用状況の情報収集。 ○添付文書等の管理 ○医療機器に係る安全性情報の収集と病院管理者への報告 ○毎月第一木曜日の「医療機器点検の日」実施による医療機器の点検及び院内の意識啓発	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	① 有・無								
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として医療安全担当副病院長 (医師) が、医療安全管理部門 (医療安全推進室)、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>									
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	② 有 (1 名) ・無								
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>手順書に基づき医薬品情報を収集し、緊急度に応じた周知を実施している。また、必要に応じて院内の医薬品の使用状況について調査し、改善が必要とされる事項については、医療安全推進委員会等を通じて周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品安全管理室が未承認等医薬品に関する担当部門として規定されており、診療科から申請された未承認等医薬品の使用条件等について審議している。未承認等医薬品のうち、未承認新規医薬品及び院内製剤については、未承認新規医薬品評価委員会を開催し、使用の条件等に関する意見を聴取している。また、臨床試験薬については特殊薬品として薬剤部で管理しており、未承認等の医薬品について把握している。これらの情報及び処方状況を管理するシステムを構築し定期的に処方状況等について確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有) ・無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <table data-bbox="159 1747 1455 1964"><tr><td>(所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長)</td><td>(所属： ， 職種)</td></tr><tr><td>(所属： ， 職種)</td><td>(所属： ， 職種)</td></tr><tr><td>(所属： ， 職種)</td><td>(所属： ， 職種)</td></tr><tr><td>(所属： ， 職種)</td><td>(所属： ， 職種)</td></tr></table>		(所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)
(所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長)	(所属： ， 職種)								
(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)								
(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)								
(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)								

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常診療において原則として説明すべき事項 ・説明は原則として主治医が行うこと ・説明は原則として患者本人に行うこと ・説明の方法 ・説明の記録方法 	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録に必要な事項の記載があるか、記載内容に齟齬がないか等確認の上、各診療科において記載の質の向上がなされるよう指導している。 なお、チェックシートを使用して、医師経過記録、入院診療計画書、インフォームド・コンセント、手術（侵襲的処置含む）記録、病名整理、退院時要約の評価を実施している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（2）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>◎医療安全推進室</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療安全推進委員会に係る事務に関すること。 (2) 医療事故、インシデント及び死亡事例の収集及び分析に関すること。 (3) 医療の安全管理に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。 (4) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (5) 事故その他の医療安全推進室において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施、その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく院内に勤務する者への必要な指導に関すること。 (6) 医療に係る安全管理に係る連絡調整に関すること。 (7) 医療の質の向上及び医療に係る安全の確保のための対策の推進に関すること。 (8) 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び院内に勤務する者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。 <p>なお、手術オカレンスと血管造影・心カテの造影剤アレルギー及び被ばく量について、医療安全推進</p>	

室がモニタリングを行い、毎月の状況を医療安全推進委員会に報告している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)
- ・活動の主な内容：
 - ・高難度新規医療技術を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
 - ・体制に変更があった場合の確認について
 - ・高難度新規医療技術評価委員会について
 - ・報告及び通知について
 - ・実施状況等の確認について
 - ・センター長及び病院長への報告について
 - ・病院長からの停止命令について
 - ・審査資料等の保管について
 - ・秘密の保持について
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)
- ・活動の主な内容：
 - ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
 - ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の廃止等について
 - ・未承認新規医薬品評価委員会について
 - ・報告及び通知について
 - ・使用状況等の確認について
 - ・センター長及び病院長への報告について
 - ・審査資料等の保管について
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回（第1回目：平成29年7月6日。年度内に2回目を開催予定）</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以下に掲げる事項について病院長に対し報告を求め、必要に応じて実地監査を行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> イ 医療安全管理に係る体制 ロ 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務の状況 ハ 医療安全推進室の業務の状況 ニ 医療に係る安全管理のための委員会の業務の状況 ホ その他医療安全管理に関して必要な事項 ・ 必要に応じ、総長又は病院長に対し、医療安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。 ・ その結果を公表すること。 <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・ 公表の方法： 東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三浦 誠	東北医科薬科大学	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・(無)	1
嶋森 好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・(無)	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・(無)	1
原 忠篤	秋田大学		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	有・(無)	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年630件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年70件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

死亡報告については、毎月、医療安全推進室が死亡の原因や死亡と手術との関連性の検証結果、解剖やAiの結果等について医療安全推進委員会に報告している。

3b以上の事例についても、毎月、医療安全推進室が内容を検証し、インシデントの原因や対策等の詳細を医療安全推進委員会に報告すると共に、必要に応じて医療安全推進委員会でも改善策の検討を行っている。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り
(有(病院名：) 無(平成29年度は高知大学を予定))
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ
(有(病院名：) 無(平成29年度は神戸大学を予定))
- ・技術的助言の実施状況：未実施

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

地域医療連携センター内に、相談に応じる窓口を設置しており、相談担当者が対応している。
必要に応じて、相談担当者からセンター長、副センター長、センター担当看護師長、医療安全管理者又は対応責任者と相談の上、適切に対処している。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有・無)
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (有・無)
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有・無)

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ・医療安全研修、ブラッシュアップ研修、新規採用者オリエンテーションでの研修、医療安全講演会での警鐘事例研修等を実施しており、e-learningの活用も行っている。
- ・平成29年9月22日に特定研修と題して特定機能病院の医療安全管理に関する事項等をメインにした研修を実施。なお、実施後の学習効果の測定は、毎年実施しているトリビア編（マークシートによる回答）に今年度から問題の項目を追加することで対応を予定している。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

国立大学附属病院長会議が実施する研修に参加する予定としている。

平成29年7月1日に実施された一般社団法人全国医学部長病院長会議主催の「医療事故の調査などに関するシンポジウム」には、医療安全管理責任者が参加している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：平成27年2月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科スタッフの紹介、受信手続きについて掲載している。 また、併せて病院広報誌の刊行や市民公開講座などを定期的開催するほか、Datefmエフエム仙台とタイアップした番組「Hessoラヂオ」により本院の様々な情報を地域に発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院ではがんセンターや小児医療センターなど、関連する複数の診療科からなる組織を設置し、患者に対し効率的かつ安全で高度な治療を行える診療体制を整備している。	

(様式第 8)

東北病医 第 209 号
平成 29 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

東北大学病院
八重樫 伸生

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施する研修に参加する予定である。

平成 29 年 7 月 1 日に実施された一般社団法人全国医学部長病院長会議主催の「医療事故の調査などに関するシンポジウム」には医療安全管理責任者が参加している。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（3）名、専任（0）名、兼任（2）名
うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（2）名
うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名
うち看護師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

従前から配置している。